

# 学校規模適正化に関するアンケート調査 結果報告書

令和4年3月

高根沢町学校規模適正化検討委員会 会議資料

高根沢町教育委員会事務局学校教育課

## 目次

1 アンケート調査の概要	2
2 保護者向けアンケート調査	3
3 教職員向けアンケート調査	27
4 町民向けアンケート調査	49
5 共通設問の比較	73
6 集計結果まとめ	78

# 1 アンケートの概要

## 1 調査の主な目的

高根沢町立小中学校の適正規模・適正配置等を検討するに当たり、保護者、教職員、町民の教育環境に関する意識や考えを把握し、検討の基礎資料とすることを目的として実施するものです。

## 2 実施内容

(1) 実施時期 令和4年1月

### (2) アンケート調査票

タイトル：「高根沢町立小中学校の教育環境に関するアンケート調査票」

保護者・教職員・町民を対象に、共通設問を含む3種類のアンケート調査票を作成して実施しました。

### (3) 調査・回収方法

種別	調査対象	調査・回収方法
保護者	小中学校の児童生徒の保護者	学校を通じて配布・回収
	1,803名 ※兄弟等の重複分を除く人数	
教職員	小中学校の教職員	
	162名	
町民	高根沢町在住の20歳以上の町民（無作為抽出）	郵送により配布・回収
	2,000名	

※ 単純集計のほか、属性によるクロス集計による結果のうち特徴的なものをピックアップして掲載しています。

## 2 保護者向けアンケート調査

- (1) 実施時期 令和4年1月  
 (2) 対象 町内小中学校児童生徒の保護者(1,803名)  
 (3) 回答数 1,156名  
 (4) 回答率 64.1%

### 問1・問2【回答者の属性】

#### ■住所

大字等	回答数	%	大字等	回答数	%
飯室	12	1.1%	下柏崎	3	0.3%
石末	125	11.0%	寺渡戸	5	0.4%
太田	17	1.5%	中阿久津	16	1.4%
大谷	16	1.4%	中柏崎	5	0.4%
柿木沢	0	0.0%	西高谷	5	0.4%
上阿久津	2	0.2%	花岡	49	4.3%
上柏崎	2	0.2%	平田	93	8.2%
上高根沢	45	3.9%	伏久	11	1.0%
亀梨	3	0.3%	文挾	23	2.0%
栗ヶ島	7	0.6%	宝積寺	361	31.7%
桑窪	16	1.4%	宝石台	105	9.2%
光陽台	219	19.2%	合計	1,140	100%

#### ■お子さんの学校名、学年、人数

※学校名の集計のみ

	阿久津 小学校	中央 小学校	東 小学校	上高根沢 小学校	北 小学校	西 小学校	阿久津 中学校	北高根沢 中学校	総計
回答数	340	86	73	59	98	268	159	61	1,144
%	29.7%	7.5%	6.4%	5.2%	8.6%	23.4%	13.9%	5.3%	100.0

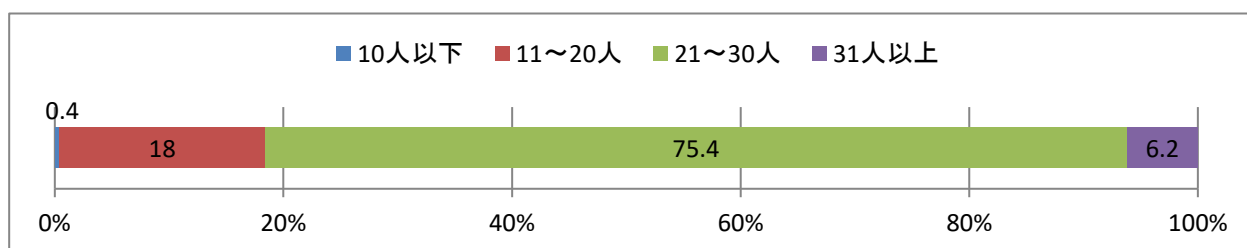
問3：栃木県内の小学校・中学校では、1学級35人を上限に学級を編成しています。

例：1学年35人の場合 ⇒ 1学級

1学年36人の場合 ⇒ 18人ずつ2学級

現状、町内では、各学校の規模により1学級6人から1学級35人まで、様々な学級がありますが、教育環境として1学級の人数はどの程度が望ましいと思いますか？（1つに○）

	10人以下	11～20人	21～30人	31人以上	総計
回答数	5	206	865	71	1,147
%	0.4%	18%	75.4%	6.2%	100%

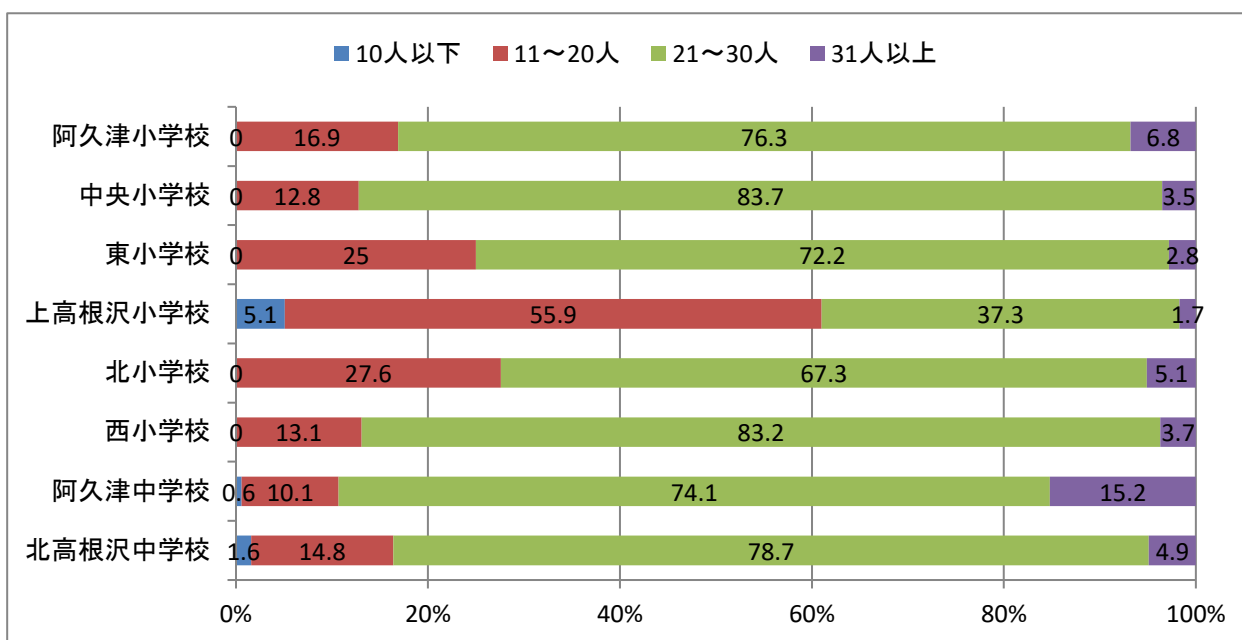


●教育環境として望ましい1学級の人数は、【21～30人】と回答した保護者の割合が75.4%と最も高くなっています。

【属性による集計分析】

○お子さんの在籍する学校ごとの集計

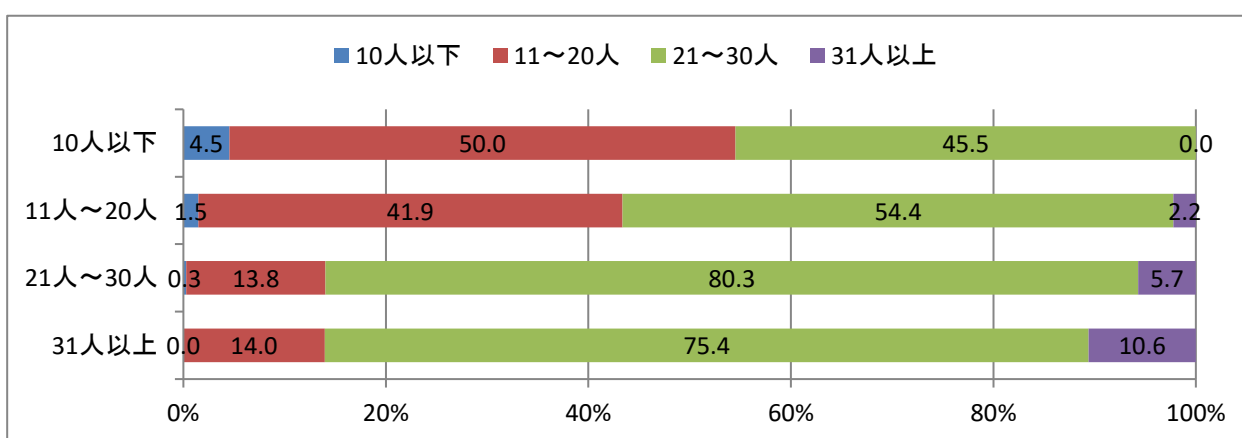
		10人以下	11～20人	21～30人	31人以上	総計
阿久津小学校	回答数	0	57	258	23	338
	%	0%	16.9%	76.3%	6.8%	100%
中央小学校	回答数	0	11	72	3	86
	%	0%	12.8%	83.7%	3.5%	100%
東小学校	回答数	0	18	52	2	72
	%	0%	25%	72.2%	2.8%	100%
上高根沢小学校	回答数	3	33	22	1	59
	%	5.1%	55.9%	37.3%	1.7%	100%
北小学校	回答数	0	27	66	5	98
	%	0%	27.6%	67.3%	5.1%	100%
西小学校	回答数	0	35	223	10	268
	%	0%	13.1%	83.2%	3.7%	100%
阿久津中学校	回答数	1	16	117	24	158
	%	0.6%	10.1%	74.1%	15.2%	100%
北高根沢中学校	回答数	1	9	48	3	61
	%	1.6%	14.8%	78.7%	4.9%	100%



●学校ごとに集計した場合、上高根沢小学校以外は、【21～30人】の回答が最も多くなっています。上高根沢小学校の保護者のみ【11～20人】の回答が最も多くなっているのは、上高根沢小学校が20人以下の小規模学級を希望する者が多く通う小規模特認校であることを反映したものと考えられます。

○お子さんが在籍する学級の規模ごとの集計

		10人以下	11～20人	21～30人	31人以上	総計
10人以下の学級	回答数	1	11	10	0	22
	%	4.5%	50%	45.5%	0%	100%
11～20人 "	回答数	2	57	74	3	136
	%	1.5%	41.9%	54.4%	2.2%	100%
21～30人 "	回答数	2	99	577	41	719
	%	0.3%	13.8%	80.3%	5.7%	100%
31人以上 "	回答数	0	33	178	25	236
	%	0%	14%	75.4%	10.6%	100%

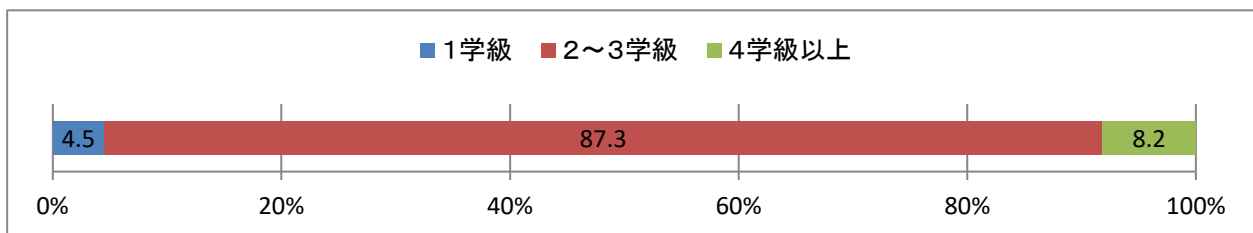


●在籍する学級の規模ごとに集計した場合、「10人以下の学級」の保護者のみ、【11～20人】の回答が最も多くなっています。また、「11人～20人の学級」の保護者も、【11～20人】の回答割合が41.9%と高く、現状と同じ小規模な学級規模を望んでいる保護者が一定数いる結果となっています。

### 《小学校の学級数》

問4：小学校の学級数について、法令では「1学年あたり2～3学級（1学校あたり12～18学級）を標準とする」となっていますが、1学年の学級数はどの程度が望ましいと思いますか？（1つに○）

	1学級	2～3学級	4学級以上	総計
回答数	51	992	93	1,136
%	4.5%	87.3%	8.2%	100%



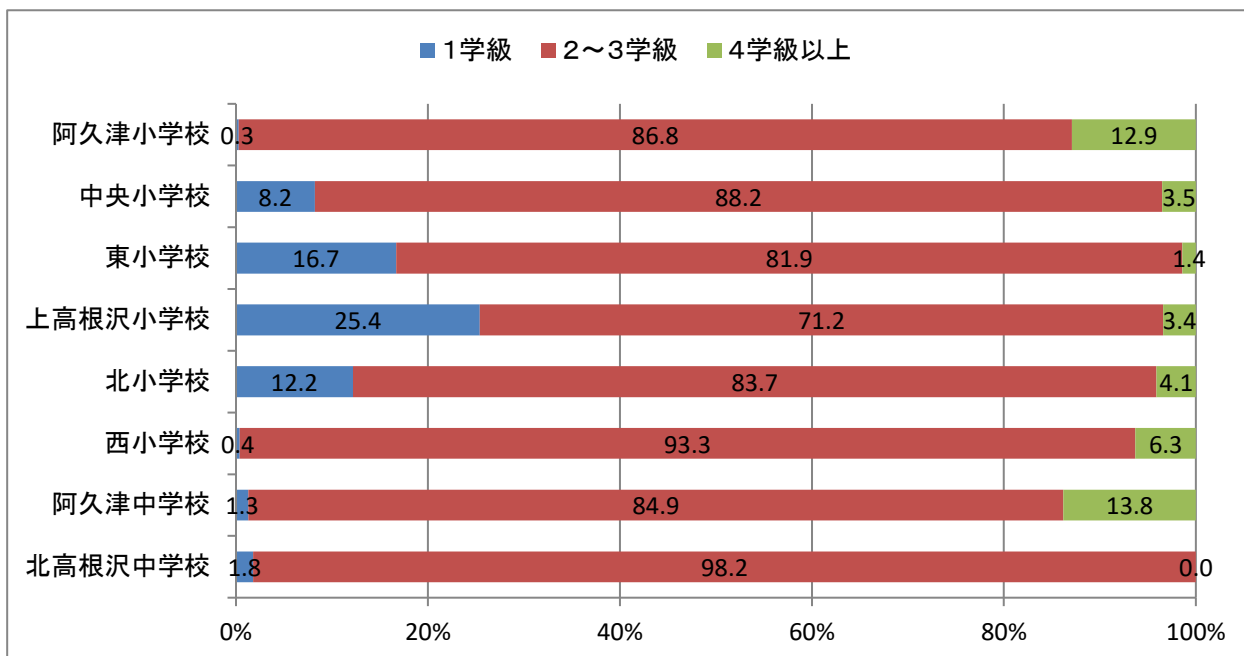
●望ましい「1学年の学級数」は、【2～3学級】と回答した割合が87.3%と最も高くなっています。



【属性による集計分析】

○お子さんの在籍する学校ごとの集計

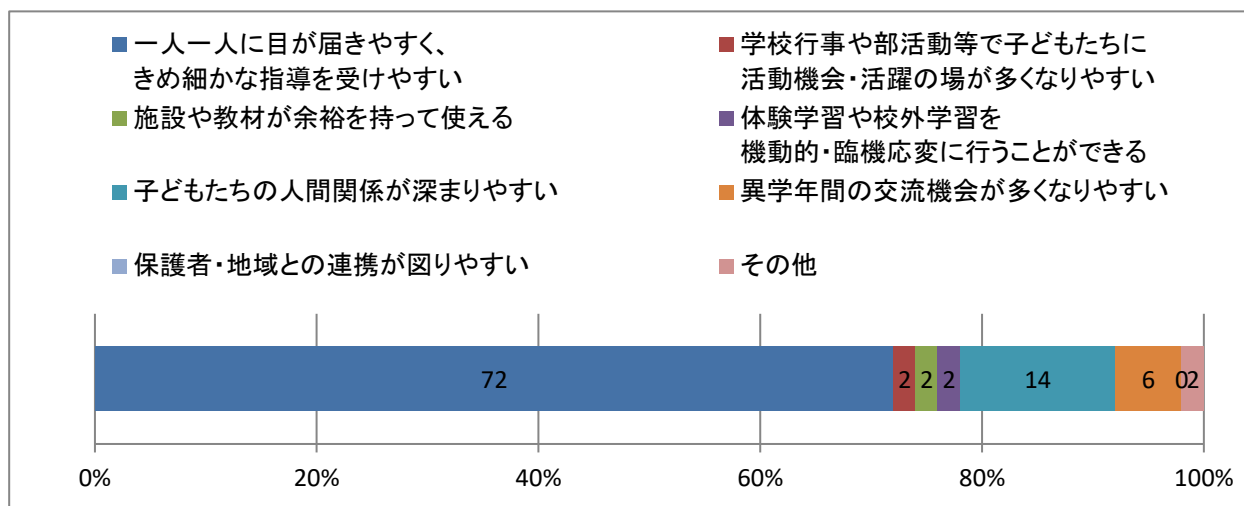
		1学級	2～3学級	4学級以上	総計
阿久津小学校	回答数	1	295	44	340
	%	0.3%	86.8%	12.9%	100%
中央小学校	回答数	7	75	3	85
	%	8.2%	88.2%	3.5%	100%
東小学校	回答数	12	59	1	72
	%	16.7%	81.9%	1.4%	100%
上高根沢小学校	回答数	15	42	2	59
	%	25.4%	71.2%	3.4%	100%
北小学校	回答数	12	82	4	98
	%	12.2%	83.7%	4.1%	100%
西小学校	回答数	1	250	17	268
	%	0.4%	93.3%	6.3%	100%
阿久津中学校	回答数	2	129	21	152
	%	1.3%	84.9%	13.8%	100%
北高根沢中学校	回答数	1	55	0	56
	%	1.8%	98.2%	0%	100%



●学校ごとに集計した場合、どの学校においても【2～3学級】と回答した割合が最も高くなっていますが、現在小規模校・過小規模校の区分にある4つの小学校（中央・東・上高・北）においては、【1学級】と回答した保護者が一定数いることから、現状と同じ学校環境を望む保護者が一定数いることが分かります。

問4-1：問4で、1学年あたり「1学級」と回答した方は、そういう一番大きな理由をお答えください。（1つに○）

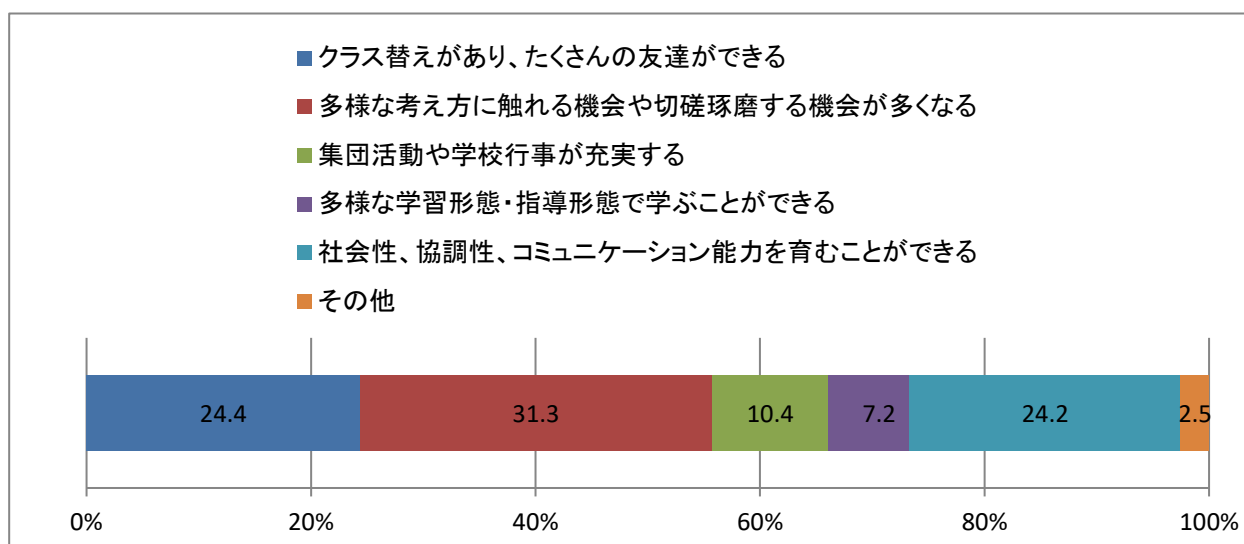
	一人一人に目が届きやすく、きめ細かな指導を受けやすい	学校行事や部活動等で子どもたちに活動機会・活躍の場が多くなりやすい	施設や教材が余裕を持って使える	体験学習や校外学習を機動的・臨機応変に行うことができる	子どもたちの人間関係が深まりやすい	異学年間の交流機会が多くなりやすい	保護者・地域との連携が図りやすい	その他	総計
回答数	36	1	1	1	7	3	0	1	50
%	72%	2%	2%	2%	14%	6%	0%	2%	100%



●小学校の望ましい「1学年の学級数」を「1学級」と回答した50名のうち、そういう一番大きな理由としては、【一人一人に目が届きやすく、きめ細かな指導を受けやすい】が36名、次に【子どもたちの人間関係が深まりやすい】が7名となっています。

問4-2：問4で、1学年あたり「2～3学級」または「4学級以上」と回答した方は、その思う一番大きな理由をお答えください。（1つに〇）

	クラス替えがあり、たくさんの友達ができる	多様な考え方に触れる機会や切磋琢磨する機会が多くなる	集団活動や学校行事が充実する	多様な学習形態・指導形態で学ぶことができる	社会性、協調性、コミュニケーション能力を育むことができる	その他	総計
回答数	263	337	112	77	260	27	1,076
%	24.4%	31.3%	10.4%	7.2%	24.2%	2.5%	100%

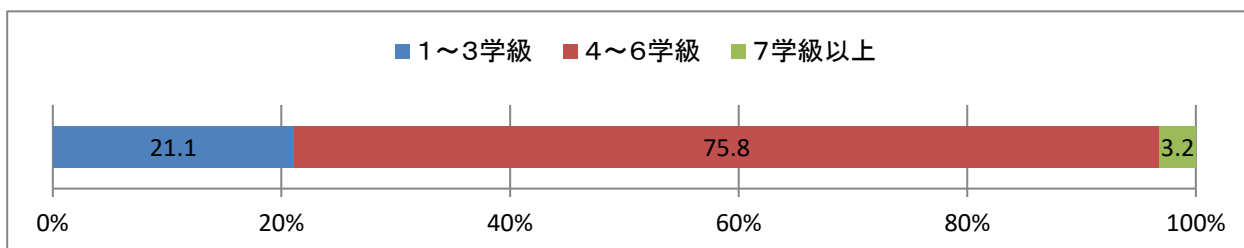


●「2～3学級」または「4学級以上」を望む一番大きな理由は、【多様な考え方に触れる機会や切磋琢磨する機会が多くなる】で31.3%、次に【クラス替えがあり、たくさんの友達ができる】(24.4%)、【社会性、協調性、コミュニケーション能力を育むことができる】(24.2%)と続いています。

### 《中学校の学級数》

問5：中学校の学級数について、法令では「1学年あたり4～6学級（1学校あたり12～18学級）を標準とする」となっていますが、どの程度の学級数が望ましいと思いますか？（1つに○）

	1～3学級	4～6学級	7学級以上	総計
回答数	227	817	34	1,078
%	21.1%	75.8%	3.2%	100%

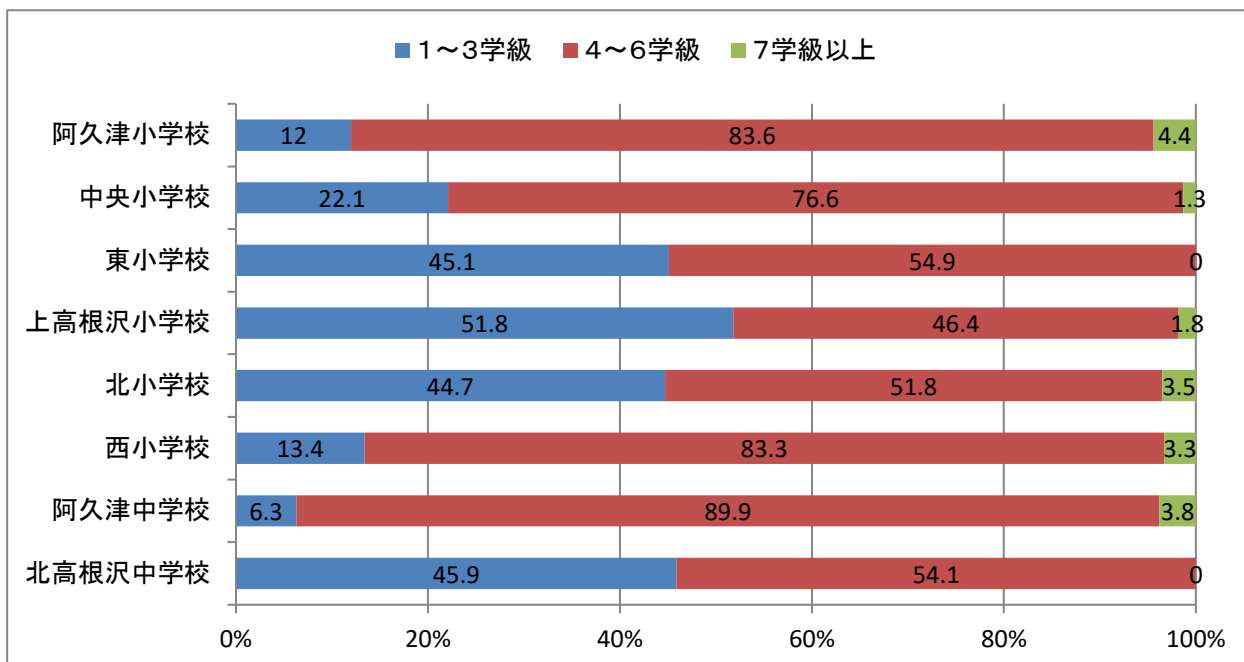


●望ましい学級数は、【4～6学級】と回答した割合が75.8%と最も高く、次に【1～3学級】が21.1%となっています。

【属性による集計分析】

○お子さんの在籍する学校ごとの集計

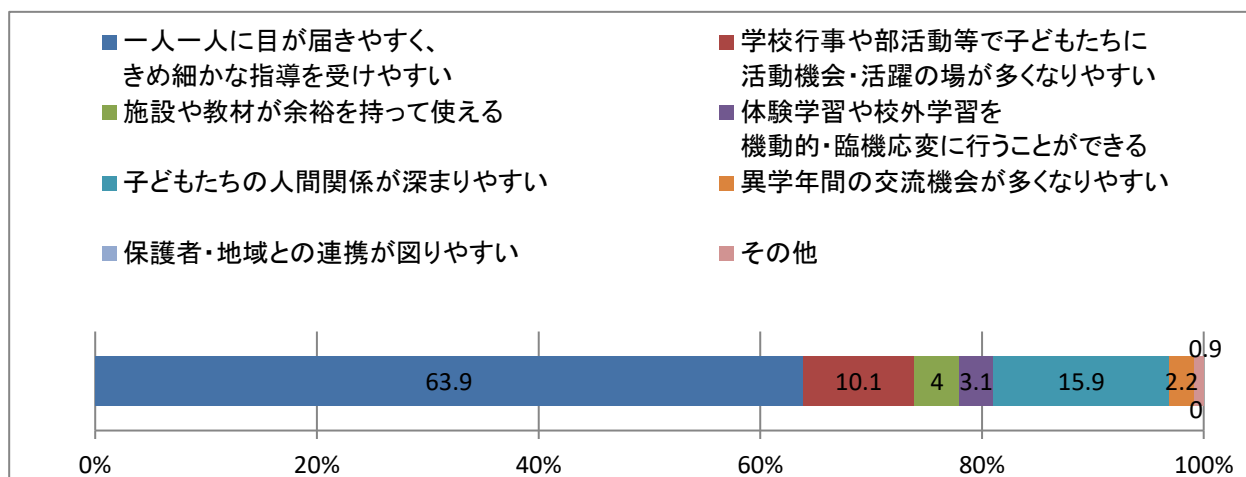
		1～3学級	4～6学級	7学級以上	総計
阿久津小学校	回答数	38	265	14	317
	%	12%	83.6%	4.4%	100%
中央小学校	回答数	17	59	1	77
	%	22.1%	76.6%	1.3%	100%
東小学校	回答数	32	39	0	71
	%	45.1%	54.9%	0%	100%
上高根沢小学校	回答数	29	26	1	56
	%	51.8%	46.4%	1.8%	100%
北小学校	回答数	38	44	3	85
	%	44.7%	51.8%	3.5%	100%
西小学校	回答数	33	205	8	246
	%	13.4%	83.3%	3.3%	100%
阿久津中学校	回答数	10	143	6	159
	%	6.3%	89.9%	3.8%	100%
北高根沢中学校	回答数	28	33	0	61
	%	45.9%	54.1%	0%	100%



●学校ごとに集計した場合、現在小規模校・過小規模校の区分にある4つの小学校と北高根沢中学校において、中学校における望ましい学級数を【1～3学級】と回答した保護者が多くいることから、「小学校における望ましい学級」と同様に、現状と同じ規模の学校環境を望む保護者が多くいることが分かります。

問5-1：問5で、1学年あたり「1～3学級」と回答した方は、そういう一番大きな理由をお答えください。（1つに○）

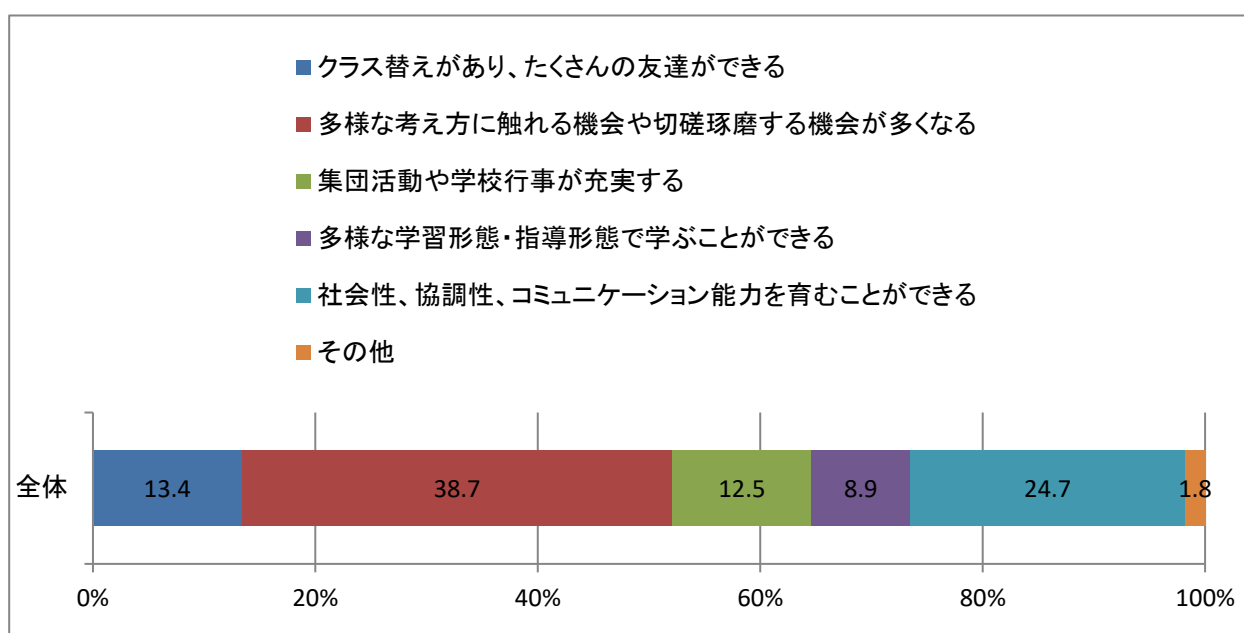
	一人一人に目が届きやすく、きめ細かな指導を受けやすい	学校行事や部活動等で子どもたちに活動機会・活躍の場が多くなりやすい	施設や教材が余裕を持って使える	体験学習や校外学習を機動的・臨機応変に行うことができる	子どもたちの人間関係が深まりやすい	異学年間の交流機会が多くなりやすい	保護者・地域との連携が図りやすい	その他	総計
回答数	145	23	9	7	36	5	0	2	227
%	63.9%	10.1%	4%	3.1%	15.9%	2.2%	0%	0.9%	100%



●中学校「1～3学級」を望む一番大きな理由は、【一人一人に目が届きやすく、きめ細かな指導を受けやすい】で63.9%、次に【子どもたちの人間関係が深まりやすい】で15.9%となっています。

問5-2：問5で、1学年あたり「4～6学級」または「7学級以上」と回答した方は、その思う一番大きな理由をお答えください。（1つに〇）

	クラス替えがあり、たくさんの友達ができる	多様な考え方に触れる機会や切磋琢磨する機会が多くなる	集団活動や学校行事が充実する	多様な学習形態・指導形態で学ぶことができる	社会性、協調性、コミュニケーション能力を育むことができる	その他	総計
回答数	113	327	106	75	209	15	845
%	13.4%	38.7%	12.5%	8.9%	24.7%	1.8%	100%



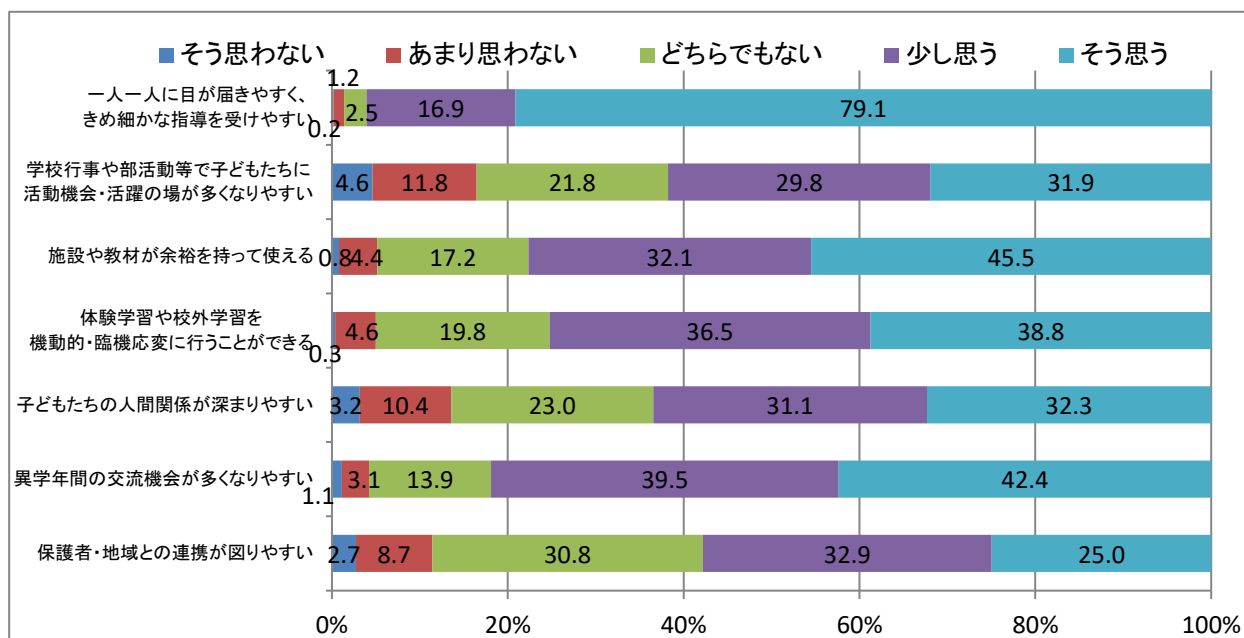
●中学校「4～6学級」または「7学級以上」を望む一番大きな理由は、【多様な考え方に触れる機会や切磋琢磨する機会が多くなる】で38.7%、次に【社会性、協調性、コミュニケーション能力を育むことができる】で24.7%となっています。

問6：1学年あたりの学級数が少ない、または1学級あたりの人数の少ない小規模な学校のメリット・デメリットについて、あなたのお考えをお聞かせください。

(項目ごとにあなたの考えに近いもの1つに○)

【メリット】

メリット		そう思わない	あまり思わない	どちらでもない	少し思う	そう思う	総計
一人一人に目が届きやすく、きめ細かな指導を受けやすい	回答数	2	14	29	194	907	1146
	%	0.2%	1.2%	2.5%	16.9%	79.1%	100%
学校行事や部活動等で子どもたちに活動機会・活躍の場が多くなりやすい	回答数	53	135	249	341	365	1143
	%	4.6%	11.8%	21.8%	29.8%	31.9%	100%
施設や教材が余裕を持って使える	回答数	9	50	197	368	521	1145
	%	0.8%	4.4%	17.2%	32.1%	45.5%	100%
体験学習や校外学習を機動的・臨機応変に行うことができる	回答数	4	53	226	417	443	1143
	%	0.3%	4.6%	19.8%	36.5%	38.8%	100%
子どもたちの人間関係が深まりやすい	回答数	36	119	262	355	369	1141
	%	3.2%	10.4%	23%	31.1%	32.3%	100%
異学年間の交流機会が多くなりやすい	回答数	13	35	158	450	482	1138
	%	1.1%	3.1%	13.9%	39.5%	42.4%	100%
保護者・地域との連携が図りやすい	回答数	31	99	350	374	284	1138
	%	2.7%	8.7%	30.8%	32.9%	25%	100%



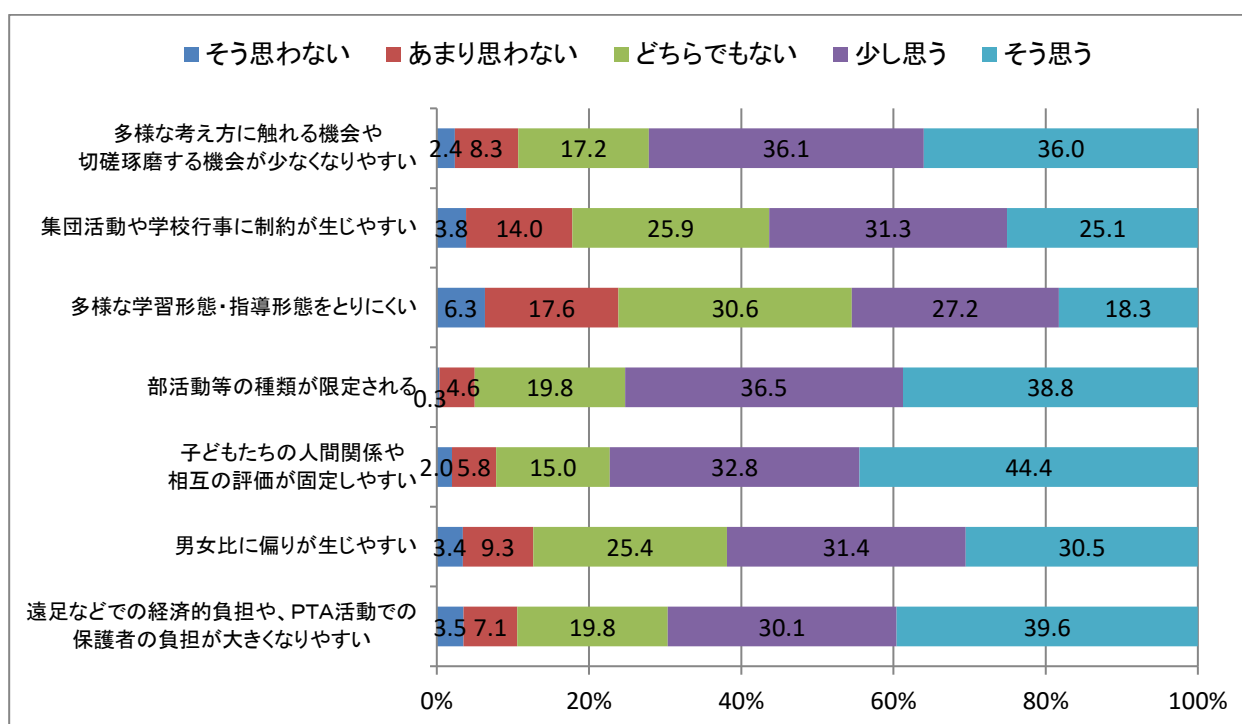
●小規模な学校のメリットについては、全ての項目に対して、【そう思う】・【少し思う】を合わせた回答が過半数を超えており、メリットとして認識されている結果となっています。

特に【一人一人に目が届きやすく、きめ細かな指導を受けやすい】は、96.1%となっており、【そう思う】のみの割合も最も高くなっていることから、最大のメリットと感じている結果となっています。



## 【デメリット】

デメリット		そう思わない	あまり思わない	どちらでもない	少し思う	そう思う	総計
多様な考え方に触れる機会や切磋琢磨する機会が少なくなりやすい	回答数	27	95	196	412	411	1,141
	%	2.4%	8.3%	17.2%	36.1%	36%	100%
集団活動や学校行事に制約が生じやすい	回答数	44	160	296	358	287	1,145
	%	3.8%	14%	25.9%	31.3%	25.1%	100%
多様な学習形態・指導形態をとりにくい	回答数	72	200	349	310	208	1,145
	%	6.3%	17.6%	30.6%	27.2%	18.3%	100%
部活動等の種類が限定される	回答数	4	53	226	417	443	1,143
	%	0.3%	4.6%	19.8%	36.5%	38.8%	100%
子どもたちの人間関係や相互の評価が固定しやすい	回答数	23	66	171	375	508	1,143
	%	2%	5.8%	15%	32.8%	44.4%	100%
男女比に偏りが生じやすい	回答数	39	106	291	359	349	1,144
	%	3.4%	9.3%	25.4%	31.4%	30.5%	100%
遠足などでの経済的負担や、PTA活動での保護者の負担が大きくなりやすい	回答数	40	81	226	344	453	1,144
	%	3.5%	7.1%	19.8%	30.1%	39.6%	100%

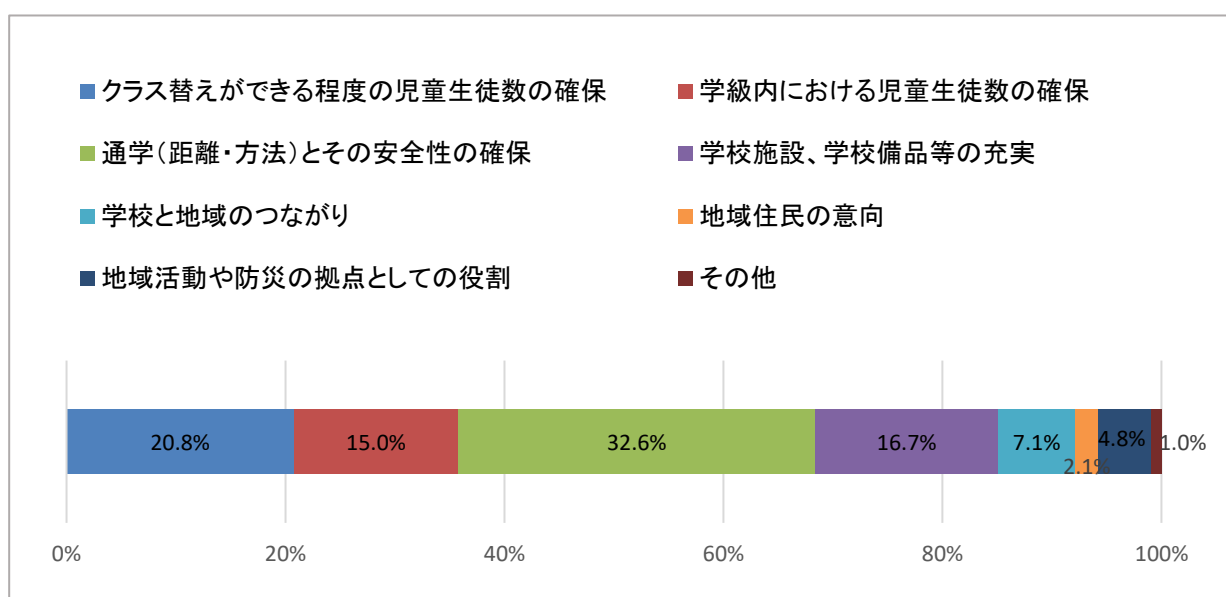


●小規模な学校のデメリットについては、【多様な学習形態・指導形態をとりにくい】の項目を除き、【そう思う】・【少し思う】を合わせた回答が過半数を超えており、デメリットとして認識されている結果となっています。

特に、【そう思う】・【少し思う】を合わせた回答割合から、【子どもたちの人間関係や相互の評価が固定しやすい】、【部活動等の種類が限定される】、【多様な考え方に触れる機会や切磋琢磨する機会が少くなりやすい】などをデメリットと感じている保護者が多い結果となっています。

問7：学校の適正な規模や配置を検討するにあたり、特に配慮すべきことは何ですか？  
（3つ以内に○）

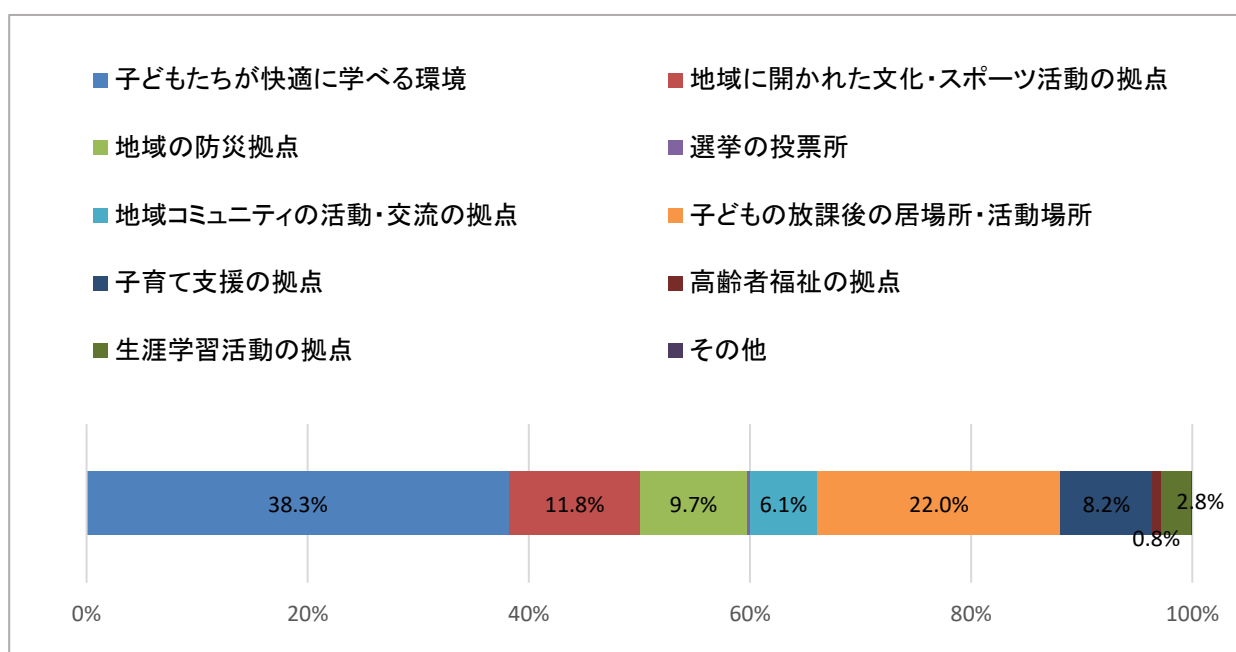
	クラス替えができる程度の児童生徒数の確保	学級内における児童生徒数の確保	通学（距離・方法）とその安全性の確保	学校施設、学校備品等の充実	学校と地域のつながり	地域住民の意向	地域活動や防災の拠点としての役割	その他	総計
回答数	600	433	942	481	204	61	138	28	2,887
%	20.8%	15.0%	32.6%	16.7%	7.1%	2.1%	4.8%	1.0%	100.0%



●学校の適正な規模や配置を検討するにあたって特に配慮すべきことは、【通学（距離・方法）とその安全性の確保】と回答した割合が最も高く 32.6%となっています。次に【クラス替えができる程度の児童生徒数の確保】（20.8%）、【学校施設、学校備品等の充実】（16.7%）と続いています。

問8：今後、地域において学校に期待される役割や機能のうち、特に重要なものは何ですか？（3つ以内に○）

	子どもたちが快適に学べる環境	地域に開かれた文化・スポーツ活動の拠点	地域の防災拠点	選挙の投票所	地域コミュニティの活動・交流の拠点	子どもの放課後の居場所・活動場所	子育て支援の拠点	高齢者福祉の拠点	生涯学習活動の拠点	その他	総計
回答数	1,069	329	272	6	170	616	230	22	78	2	2,794
%	38.3%	11.8%	9.7%	0.2%	6.1%	22.0%	8.2%	0.8%	2.8%	0.1%	100.0%



●地域において学校に期待される役割や機能のうち特に重要なことは、【子どもたちが快適に学べる環境】と回答した割合が最も高く 38.3%となっており、次に【子どもの放課後の居場所・活動場所】が 22.0%となっています。

問9：学校の適正な規模や配置の検討に関してご意見があればお聞かせください。

(自由記述欄)

138名分(原文ママ)

1	自分が都市部の育ちで第二次ベビーブーム世代のため小学校は1学年5クラス、中学校は7クラス、高校はなんと12クラスありました。子供の頃からたくさんの人の中で学び、「世の中はいろんな人がいる」「いろんな先生がいる」ことを知ったのは今でも大きな財産です。小規模のメリットもあるのは重々承知ですが、教員1人から受ける影響が良くも悪くも大きくなることは覚えておかななくてはいいと思います。
2	小・大規模どちらにも良い点・悪い点があるので、均一化する必要はないように思う。それぞれにある問題点の中で、学生数の問題がある場合は、ならずとも一つの解決策のように思うが、通学ルートのことや、子ども達の気持ちも配りよすると、ありがたい。
3	小学校で1クラスあたりの人数が30名以上になることは望ましくない。多人数になると担任教師の負担も増え、目が行き届かなくなると思う。また、学校は子供たちの為の施設であり、高齢者福祉・生涯学習活動の拠点として利用すべきではないと思う。
4	子供達が、安全に快適に勉強ができる、安全に通学できる場所にあるといいと思います。(交通量が少ない、周囲が静か)。
5	過小規模校、小規模校は児童数減少に伴い統廃合したほうが良いと思う。多人数の中で学ぶことは、多様な考えに触れる機会も多く、視野も広くなると思う。
6	今後子供の数が減っていくことも考え、統廃合をすることが望ましいと思います。町民3万人に対し小学校が6校は多すぎると思います。
7	実際の現場を見て、小規模でも大規模でも、担当する先生によって、変わると感じています。子ども達の和や親と学校の連携、歩み寄りなど、規模の違いというよりは担任の先生の違いでメリットがよりメリットへ、デメリットが先生によってよりデメリットへもなりメリットにもなると思います。上高小地区のお子様は、広域を選択することができず、部活動の選択肢もなく、不平等だと感じる方もおられるでしょう。北中は、さらに、部活の種類が減り、阿久津中との差は大きく、北中の存在意義は不明と感じています。中学校は、均等に2校にするか、町民広場など町の中央に1校にしてもよいと思っています。せっきゃく、町立という小さな単位の集りなので教育の場は独自のものが出しやすいでしょう。よろしくおねがいします。
8	○よりよい望ましい教育環境を実現することは大事なことです。学校の維持、運営にかかる経費を、子ども達が将来負担することになるので、統廃合の流れはやむをえない。○問8の3～9の機能は、地域に必要だと思うが、そのために学校を残すのではなく地域共生社会の実現、重層的支援体制整備の観点からも、社会参加、地域づくりの拠点として、また防災拠点として、全庁的に学校の検討と別に検討していただきたい。
9	子どもの人口減少に伴って学校統廃合を進めるのは理解できるが、現状でも子どもの数に対して教員の数などが少なく、しっかり1人1人に目が届く状況ではないと思います。生徒の為にも、先生方の為にも、配慮が行き届く余裕を持った教育現場が確保されることを考慮しつつ統廃合の検討が進む事を望みます。
10	1学級34～35人は、先生の負担が大きいと思います。生徒も質問や意見(発表など)の機会が減るので、20人前後が良いと思います。
11	大きすぎる規模の学校は、目が届かない点が増えそうです。丁度良い規模を調整するのはむずかしいかもしれませんが、1学級内の人数だけでもキープして欲しいです。
12	学校の規模や配置によって、学ぶ内容に大きな差が出ないようにして頂きたいと思います。
13	支援級児童の安全な居場所が少ない。放ディでキャンセル待ちになることが多く、長期休み(夏休み、冬休み等)は、朝8時半からしかあずけられないので、正社員での仕事は絶望的。特に母子家庭での生活は厳しいので親が働ける環境をつくって欲しいです。
14	○現場の子供や教員の意見を重視すべき。○子供の学力に応じたクラス分けも必要。
15	現在、阿久津小学校の一年生は1学級35人ですが多すぎると思います。授業参観に行くと、教室が、ぎゅうぎゅうです。せめて、30人程度にしてもらえると、いいんじゃないでしょうか？
16	プリント類の電子化

17	適正な規模や配置の考えについては、上記に○をした通りですが、入学以降変わらず心配している事は、通学路です。ほぼ安全な通りはない地域の方面なので、交通安全面が気に掛かります。歩道が非常に狭かったり、信号待ちでも多くの児童が待つスペースが道路上にないので危険だったりします。
18	子どもたちがすこやかに成長するためにある程度以上の児童生徒数を確保することが望まれます。子どもたちは、互いに影響し合いながら、また先生たちをはじめとする周囲の大人たちの影響を受けながら成長していきます。好ましい関わり合いと大人たちが温かく見守れる、規模や配置を模索していただけると幸いです。
19	中学校が2校に対して、小学校が6校は多い感じがします。私自身、小学校は1学級1クラスで6年間を過ごしましたが、中学校で3クラスになった時、少し戸惑いました。小学校の時からクラス替え等で多くのお友達と接する機会があるといいのではないかと思います。多様な考え方や感じ方に触れ、社会性・協調性を育むことができるのではないかと思います。
20	小学校、低学年が通う学校と高学年が通う学校と成長に合わせて通えと、安心する。特に発達障害の子供が小さな子供をイジメない様に。
21	子供たちの意見もきいてみたい。小規模の良さや、人数が多いことでの楽しみ方など、子供たちにプレゼンしてもらってはどうか。
22	子供達の意見は聞きましたか？当事者は子供達です。
23	小人数校から大規模校へ引越しを期に転校してきました。子どもは当初人の多さに戸惑っていましたが、今では人間関係や学習面の多様化が楽しんで生活しています。(クラス替えで新しい友達も増えたり、習熟度のクラス学習があったり。)小人数で学習のバラつきがあると、1人の先生だけでは対応が難しくクラス運営で先生も難しさを感じているようでした。人間関係も固定されるのできゆうくつな関係に前の学校のお友達は悩む話を聞くようです。スクールバス等で通学するのも良いのではないのでしょうか？
24	国の法改正が必要かもしれませんが、外国(欧米)に比べ、一クラスの人数が多すぎて、教師の負担が重く、一人一人に目が届きづらい。一斉学習についていけない子が学習のおくれを生じる、と感じます。アメリカの小学校にいれていたとき、一学級の児童数が少なくて、とても良かったです。小・中・高すべて人数が多すぎると思います。一クラス人数を減らしつつ、3クラスぐらいある学校作りを望みます。小規模校で一クラス、人間関係の難しさも耳にします。
25	今後の生徒減少にともなう学校の統廃合を見すえ、今の段階からスクールバスの適用拡大などの対策を打ちはじめた方が良いと思います。(統廃合の話が出てから「通学が課題だ」と言い出すのではおそすぎる)
26	不登校児童が勉強できる環境(例、不登校児童のための学校の設立)統廃合して廃校になる校舎の利用等
27	最近、ニュース等で、切りつけ事件や放火騒ぎが取り上げられています。参考資料で将来推計でもし学校数が少なくなってしまうのであればその分、防犯にも力を入れていただけると幸いです。
28	学校の配置について。歩道が確保されていない道を通学路にしてほしくない。区画整理がされて、安全な場所に配置してほしい。現在の場所は学校周辺の道が細すぎる。送迎にも向いていない。
29	中学校に入った時に部活動の選択肢が多い方が良いので、やはりそれなりの生徒数が必要ではないかと思います。
30	一番気がかりであるのは学区と通学路(通学方法)です。学区のため一番近い学校に通えず、通学距離がある方へ行かなくてはいけないのは、危険が増すし子供にとって負担だけです。児童数の確保や人数の分散に重きをおいてあまり考えていないのが正直なところです。
31	社会に出た時に、様々な場面に対応できるように、ある程度の人数を確保し、集団生活や多様性を学べると思う。
32	私自身出身地は違えどいわゆる「小規模な学校」卒です。(中学校1学年30人弱全校生100人ぐらい)どうしても部活動の選択肢が限られてくる(男女とも常設部は2つのみ、他は任意の特設部)ただ、通学方法や学区のことを考えると限界があるのかなと思います。学区の組み替えなどで規模を適正化、通学方法の検討などが必要と思われます。
33	地域の児童数に合わせて学校数を適切に減らし、限られた税金を配分、老朽化した校舎を修繕すべきと考えます。安全性及び、児童の学校への満足度、魅力の向上に直結すると考えます。
34	特に阿中、阿小周辺の道がせまいのが気になります。歩道も中途半端、通勤時と登校時間がかぶってしまうときはしばらく待ってからようやく出だす感じです。行事の後、今でこそコロナで少なくなりましたが、我が子が通っていてもあの渋滞は厳しいです。

35	今阿小の1年に在学しており、とても人数が多く1人1人に目がいつているのか不安に思うことがあります。低学年のときは、人数が少ないとありがたいです。
36	・現在の阿久津小1年生は1クラスの人数が多く担任の先生の負担が大きく大変だと思うので、4クラスにしてはどうでしょうか？その方が先生に余裕ができて、子供たちへの対応も今以上に良いものになると思います。・以前、菅元首相がスクールバスを全国展開するとおっしゃいましたが高根沢ではどうなっていますか？高根沢は線路もあり、細い道も多いので危険な通学路がたくさんあると思います。なかなか難しいとは思いますが現在スクールバスの対象外の地域でも、スクールバスを検討してほしいです。
37	・目が行き届く・安全
38	道路が狭い為、スクールバスの適応。
39	学校の適正な規模や配置の為には保護者も協力するべきだと考えています。そこで、保護者にも親としての自覚を持つようにながしてほしい。子供よりも、ルールを守れない親が多いから子供たちも問題児などといわれてしまうと思うので、親子さんの方がカウンセリングや、思いやり、自己中心的な考えをあらためてもらえるような機会などあったらよりよい学校づくりになると考えています。
40	現状はコロナのため難しいが、部活動以外の通常の授業の中でも他の学校との交流があれば社会性・交友関係の育成は小規模校でも可能ではないかと思う。(共同での工作や社会の時間の調査・発表など)
41	高根沢町の小、中学校に通っていましたが、特に良いと思っていた。又、思う所がなく、このままではさらに学校が減っていくのだらうと思います。規模、配置も大切かと思いますが、他方面でも色々画策して頂けたらな、と思います。
42	・学区制度の廃止。(中学校への進学先は通学距離、安全を優先すべきである。なぜ近くの中学ではなく遠く、道中も危険な中学校へわざわざ通わせるのか？学区だからという意見ではなく、明確な説明がほしい。)
43	無理に上高小学校に子供を集めても他の学校(地区)の子供が減るので地域での交流、子供会への入会が無くなるので近所でも全然知らない関係という人が増えてしまった。
44	どんな規模、配置になっても一人一人への教育はきちんと行ってほしいです。行きたい小学校に行けるような(えらべるような)システムがあるとよいと思っています。
45	○第一に子供たちが安心安全に学校生活を送れる事が大切だと思う。○通学路の安全性も、今一度、見直していただきたい。
46	現時点で、小学校から中学校にかわる時の児童の人数の変動が大きいと少ない小学校から行く子の友達関係の面でとても不安があります。中学生頃となると友達グループもできているでしょうし、思春期もあり、なかなか学校になじめずに学校生活を楽しむ事、あるいは勉強の面にも影響がでくる可能性は十分にあるのではないのでしょうか。
47	保護者の意見ばかり気にしていると、つけあがる保護者が出てくると思います。何でも学校へ連絡して、自分の思う様にされる方がいます。それでは困ります。
48	昔のままの学区ではなく、児童数を考慮し、平均的になる様にする事も必要だと思う。(小学校の統合も含めて)。
49	小規模校でクラス替えもないまま6年間を過ごす事は、仲が深まるというメリットよりも、デメリットの方が大きいと思う。子ども達の人間関係、親同士のつながりにとっても、2~3学級での運営が望ましいと思う。そのためには、合併というのも一つの選択肢に入ると思う。校舎やトイレ、プールなど、毎日子ども達が安全に安心して学習生活をおくるための管理が行き届くようにも対応してほしい。
50	通学路、特に朝、通勤時の車が多く通る場所があり、ガードレールや信号機をつけて頂きたいです。中央小近くのファミリーマートの脇道が細く、歩くスペースや、横断する時に大人がいないと困難に感じます。
51	市街化調整区域のせいで家を建てるのに厳しい制限があり、長男ですら家を建てて住むのが難しい状態で、これでは子供の数は増えないです。周囲に友達も少なく、公園もなく、子ども達が安全に遊べ学べる環境がないです。
52	小規模校でも現在先生の数が足りてないと感じます。先生の数を十分確保して学校規模も考えてほしい。先生に遠足のバス代など徴収するからなりたい人が増えないのではないのでしょうか。
53	学区を無くしてほしい。例えば、中央小を北高中と阿中に分けなくて欲しい。花岡地区は、北小に行きたかったが、中央小になり、阿中に行きたいと思っても北高中になってしまう。

54	1学級しかなく、その中でも10人未満である学校もあると思います。町内で通学バスを運行しているのであれば近すぎる場所に何校もあるのは無意味だと思います。学区も近いはずなのにわざわざ遠い学校の学区になるなら町内で統合し、子どもたちが快適に子どもたちらしく過ごせる学校を創って下さい。
55	以下のような理由から、小・中学校の統廃合を望みます。○学校は、防災の拠点とよく言われるが、高齢化社会においては、徒歩でアクセスできる公民館等の方が地域の防災の拠点として利用される（東日本大震災の時も、実際にそうであった）。そうであれば、学校を地域ごとに置き、小規模化を招いている今の状態を改善する方に向かっても良いのではないか。○「子ども達に目が届く」という小規模校の利点は、子ども同志がコミュニケーションがうまく取れず、不登校になったり、保健室にしか登校できないでいる。この点を教育委員会や町はどの程度理解しているか。○子ども達の中に小規模校である「北高根沢中学校」へ進学する子は、「かわいそう」「部活が十分にできない」という見方があり、実際にやり取りがある。同じ町内で格差の意識が生まれる現状は問題である。
56	将来的に学校の統廃合等も出て来るのではないかと思う。遠方の子の為に、スクールバスを導入して欲しい。
57	その先の高校や社会を考えると、ある程度、大きな規模を経験することは必要と思います。
58	・地域性もあるかとは思いますが、クラス替えはあった方が良いのかなと思います。（人間関係を、考えて）
59	・生徒数に応じた広さの校庭があるといい。・他校の保護者（スポーツ活動の送迎時）が分かりやすい位置の駐車場。
60	地域で確保できる教員数に応じて対応していけばいいと思う。
61	児童数の減少が分かっているのであれば、小規模校を廃校にし、経費をバスなどの交通費として使用した方が良くと思います。
62	町民の数を増やせば良いと思います。（特に人の少ない地域に）地価が高い割に高根沢は不便なので、地価に見合った便利さにするか不便さに納得のいく価格にする必要が有ると思います。
63	小人数の小学校は、小しずつまとめ統合して、より人数を均等していくべき、バスが出せない訳ではないので、無駄に学校があると思う。（例）さくら市喜連川の小学校は、1校しかない。
64	学校ごとに、大規模、小規模、授業スタイルに特徴をもたせ、自由に選択して学校を決められたら、どんな子も楽しく通学できそう。
65	・子供達が、安心、安全に登下校出来る環境作りをしてもらいたいです。
66	安全かつ交通の便、通いやすさが重要！ハザードマップの安全なところが良い大型車両が入りやすいこと。（遠足バスなど）登下校の道路整備、全く安全じゃない。道幅etc
67	通学に関しては町のバスなどを使って、どの地域の子供達にも平等な環境を整えてほしい。
68	各小学校や、阿久津・北中学校区の児童数の差は、現状の高根沢町の政策では埋まることはないと思われる。（農振制度により、宅地転用が容易ではない為、絶対的に戸数が増えにくい。）それであれば、各小中学校の特性を活かした上で、上高小の様に学区域外からの児童を受け入れ、保護者と児童がニーズに沿った学校を選ぶという方法も良いのではないかと考える。
69	安全に通えるのであれば統合、バス通学も良いと思います。ただ、祖父母同居していない共働き家庭では、学童と学校は必ずセットになってくるので、1学年の人数が増えた事により、学童で「あずかって頂ける学年が2年生まで」等と減らされてしまう事も不安です。（何年生だとしても、小学生を1人です番させるのは本当に不安です。）子供達が行きも帰りも安全に、孤独な子を増やさない教育環境を望みます。
70	児童数の減少で、学校のありかたが問題にあるとは思いますが、勉強の高学歴化が進む中にある社会において、1人1人が適正に学べるようにしていただきたいです。
71	学校の役割は人間としての人格を形成するとともに、国家社会の形成者として必要な資質・能力の基礎を身につけ、一人前の社会人を育てることだと思います。問8にさまざまな役割等が記載されていますが、本来の役割が達成できるような規模や配置をお願いします。※同性の同級生が学校にいないというのは正直心配です…
72	町内に1校くらい小規模校があるのは、特色ある教育を行えていいと思う。小学校は1クラス20人前後で2クラス以上あるとがいいと思う。
73	直接学校の検討には関係ありませんが他校、学区外の友達とも放課後や休日に遊べる駐輪場、駐車場がある、バスケットボールや、サッカーなどができ、走りまわれる、広い公園を整備していただけたらと思います。

74	児童・生徒数が少ない学区は、市街化調整区域があり、アパートや分譲住宅地がないため、子育て世代の人口増加が望めないと思います。小規模校を統廃合することも必要かと考えますが、学区が広範囲となり学校と地域のつながりという点からはあまり好ましくないのではないのでしょうか。小規模校を残し、学校行事(例えば学校対抗で運動会を行うなど)で交流するのも良いのでは。
75	地域によって人数にバラつきがあり、時に子どもたちの支援に関して不平等さを感じてしまいます。少人数だから手厚いとか大人数だから見落とされるとか、反対に言えば、少人数だと競い合いが低いし、大人数だと仲間意識や社会性も高まるなど…メリット・デメリットがそれぞれにあります。何より子どもたちが平等に学べる工夫は必要だと思います。デメリットを補う工夫をしていく事を求めます。学校同士の意見交換や実態の把握、町全体としての統一など考えられる事を実践し、運営できると良いのかなと思います。
76	1学年あたりの学級数を2〜3学級にして、学級内の人数を少なくして、よりきめ細やかな指導が受けられるようにしてもらいたいと考えています。
77	誰一人取り残さない教育のためのご検討を、お願いします。大規模校だから、小規模校で得られるメリットが消滅、または減少するのではなく、大規模校においても、きめ細やかな指導ができる人員配置が、できるような工夫をしてほしいと思います。また、統合後に転校する子どもが生じると思うので、これらの子どもたちと、保護者の十分なサポートをケアを行えるようにして欲しいです。高根沢町の教育ビジョンにどれだけ近づくことができるのかを検討時から視野に入れて下さい。統合後の変化を評価できるようにKPIの設定をお願いします。パンフレットにある「町全体の学校運営のあり方・方向性」に関するアンケートの実施もお願いします。保護者に声の届くPRをして下さい。
78	小規模すぎると、関係や役割が固定化するので、クラス替が出来る少数だと学びやすい環境ができるかなと思います少数だけでなく、少数に対応した柔軟さを求めます
79	あまり遠いと困ると思います。
80	通学にバスを利用しているが、朝7:00(少し前)なので、早すぎる。学校側では、7:30以降の通学と言っているようですが、7:30前に着いてしまう。家が、学校から遠いので、仕方がないのかもしれないが、睡眠時間を考えると、もう少し遅くても良いのでは？(7:20で十分です。)学校の適正化(まとめる)をするのであれば、こういう家庭が増える事になり、家庭、子供達の負担も増える事になります。小規模なので、休み時間遊具を使えたり走り回ったりとしっかりと体を動かさせます。学校へは楽しく通っています。クラスの友達とも仲良くしているようです。
81	子どもたちの中には大集団が苦手な子もいると思います。クラスや学校の数として一定として決めるのではなく親側からも選択できる特例校は1つはあってほしいと思います。全ての学校が同じ規模、同じ内容では、特色もなくみりよくを感じません。ただ人がいないというだけで大きな学校ばかりになってしまわないでほしいと思います。
82	保護者向けの説明会やアンケートは実施している様ですが、子供達の意見はきかれないのでしょうか？低学年の児童は難しくても高学年であったり中学生の子供達は少なからず自分の学校に対して良い所、悪い所はあげられると思います。さらには、高根沢町内勤務の先生方も意見はあるはずで、先生の立場だから発言できないのもおかしいと思います。違った形でももっと意見をきき入れた方が良くないかと…。
83	町作りをするにあたって大切なのは学校である。学校を中心として人々が集まり生活環境が成り立つ。子育て世代にとって学校の無い地域は定住するに値しないのと同時に何の魅力もない過疎地域になってしまう。それだけ学校とは地域にとって大切な施設である。一定地域に学校を配置しなければならない。
84	徒歩通学が少ない今、改めて、学区の見直しで、規模は改善できると思います。まずそこから、うごいて下さい。
85	住民全員の意見を取入れる事は不可能だと思いますが、そうであったとしても、全地域全世代からの意見が集められ議論にかけられる様なプロセスが踏まれることを望みます。形だけの会ぎは、もうけっこうです。
86	コロナウイルスと共に歩む現在、小規模校にて運営が可能な限り続けるべき。数年後の運営が難しい学校に関しては統合が望ましいが、感染症の観点からみると小規模校の必要性は重要であるように思う。
87	阿中学区と北中学区の人数差を平均的にできるといいなと思う。
88	小規模校では、先生目の行き届くメリットはあるが、友人関係に大きく影響すると思う。子供たち同士が密に関わることができるメリットはあるが、相性が良くない子とはなれられないデメリットもあるため、小規模校で統合して、クラス替えができるくらいの人数確保が必要だと思う。



89	今後を考えれば、適正の人数でいいと思いますが、今はコロナとか感染症が怖いので、人数が多くなりすぎても怖いなど感じてしまいます。
90	限られた友達との交流だけでなく、多様な考え方を認められるようクラス替えができる程度の児童・生徒数の確保が望ましいと思います。それがイジメ対策にもなるかと存じます。
91	小規模特認校には、一度入学したら転校できないという決まりがあると聞きました。生徒数を維持する、あるいは学校を維持するための決まりでしたら、ない方が良い決まりなのではないかと思いました。いじめなど、いろいろなケースがあると思いますので、あくまでも子ども主体のルール作りをしてほしいと思います。
92	先生方が、1人1人に目を配って頂ければ、人数はそれなりに多くても問題ないと思います。
93	小規模校ならではの良さもあるし、デメリットもあると思うので多い、少ないで一概に良し悪しを決めにくく難しい課題だと思います。与えられた環境で子供たちは柔軟に適応していき、そのパーソナリティもそれぞれ個性を持って活躍できる場があると思うので…地域に根づき安心して学習や活動ができる場が学校であってほしいと私は思います。
94	近隣の市町村の統廃合の時のメリット、デメリットもあったと聞いているので、高根沢町に合った形に適正な規模や配置にしていってほしい。
95	1クラスの人数が増えすぎると、子どもたちへのフォローが難しくなりそうなので、そこは出来る限り少人数にしていきたいです。また、先生方への負担が増えることも防いでいきたいです。子ども達がのびのびと過ごせる環境を作っていただけますと幸いです。
96	“子どもたちは未来の宝である”ということのを忘れずに、また迷ったときはココへ戻って考えていて頂きたいと強く思います。
97	東小と上高を統合して、上高は「しおらんで」のように遊べる施設へしてもよいのかと思います。(人数が少ないので)。また、中学校では、阿中と北中を選択できるようにしてほしいです。阿中だとかなりの人数がいるので人数のかたよりをへらした方がちゃんと教育を受けられるようになると思います。
98	☆1人1人が、学習を理解できる環境づくり。☆高学年は、皆が部活に入るというシステムを復活するのは、難しいか、コロナ化もあり、子ども同士の関わる機会が乏しい気がする。
99	子どもの気持ち、先生の気持ちが正面からぶつかり合いすぎない風通しの良い環境になってほしい。バランスとか、効率とか、そのようなものだけで決められないと考える。歩いて通える治安も考えたい。
100	小学校の統廃合が必要となるのではないかな？中学校の特別支援も北中にも作るべき。
101	確かに「学校の適正な規模」というのはあると思うが、それを理由とした学校の配置(＝統廃合)を行うのはやめて欲しい。運営コストや先生の採用難等、総合的な判断ならやむなし。しかし議論を尽くして欲しい。パンフに阿久津のプールは「使用不可」と記載あったが、修理して欲しい。学ぶ環境が阻害されている。
102	小規模クラス→先生方1人1人の負担が多くなりやすい。職員の数が少ないので、何かあった時に大変だと思う。複数クラス→担任の先生+αの配置をお願いしたい。特に、新任や臨時採用の先生方へのフォローを望みます。子どもの人数だけでなく、働く方たちの負担軽減と、それによって児童一人一人へ目を向けやすくなったり充実した活動が出来るようになって欲しい。
103	低学年のうち、1クラスの人数を少なくして欲しい。保護者(親)からすると、1クラスの人数を少なくする事によって、一人一人の目が届きやすく、安心感がある為、まだ小さい低学年のうち、心配なので考慮いただけたらなと思います。
104	学校の適正な規模についてですが、導く先生にもよると思うので、何とも言えません。栃木県だけで、一生生きていくには、小規模で良いと思いますが、今は、何が正解かわからない世界となり、多様性を求められています。他県、他市町村が、どのようなとりくみをしているか、この町には、何が起きているか、考えていただければと思います。
105	小学校のクラス人数を、低学年・高学年で定員を分けると良いと思う。低学年1～3年:定員24人まで 高学年4～5年:35人
106	子供の数が将来的に減っていくので、1クラスの人数上限を減らして、今の学校数やクラス数を維持してほしい。その方が、お金(予算)はかかるかもしれないが、子供達や先生・保護者にとってよりよい教育ができると思う。
107	阿久津中学校は登校時交通面で危険箇所が多い。特に線路沿いの道は車の通りも多い上、道幅も狭く危険と感じる。重いリュックを背負っての通学は自転車バランスも崩れやすく不安を感じる。
108	安全な通学経路を確保してもらいたい。

109	(基本は学区内で通えるのがいいのですが)○子どもの人数も減りつつあるので学区と決めずに、たとえば、○○小学校(定員○名)のように大きな定員数を決めて、自由にかよえるといいのでは?そして、学区外からの希望の場合は「たんたん号」のような、バス←(もう上高小で使っているとは思いますが)などで交通(通学)をつかってしたりするのもいいと思います。大人数より小人数の学校で勉強したい子が沢山のクラスで学ぶのも小人数より大人数の学校で勉強したい子が小人数の学校で学ぶのも苦にならない選択が出来るといいのかもしれないね。
110	○小学校6校あるのに中学校が2校しかないのが信じられません。人数、クラスが多くなりすぎて、1人1人にきちんと目が届くのか心配です。○阿久津中学校までの通学路が危険すぎます。○更衣室が無いから…と、制服の下に体育着を着用して登校する…など、今まで何も対応出来ていないのはなぜですか中学校ふやしてほしいです。
111	現在、児童の人数が阿中学区(主に阿小・西小)に集中していて、上高根沢にもう少し生徒が増えれば良いと思います。学校行事や体育の授業、部活動、それにPTAで人数が少ないと負担が大きく、活動内容も限られてしまう為です。
112	先生が体調を崩された時、すぐ対応出来る様中学でも各クラス2人(休んでも自習にならず)体制で授業し、子供一人一人にも目が届く様になってほしい。(先生にもゆとりをもたせて授業を行なってほしいです。)
113	学校でなくともよいかもしれないが、不登校、発達に不安のある子が行ける場所は必要だと思います。
114	小規模校を維持するために他校より費用がかかるならば、小規模校は統廃合して減らした方が良いと思う
115	小規模校から大規模中学校に入学した際、馴染むのに時間が掛かることを耳にします。我が家は阿小→阿中なので、悩むことはなかったけれど、実体はどういうことなのか、教育現場はきちんと把握し、問題解決をする必要があると思います。
116	・新しくなった東小学校をもっと有効に利用して欲しい。北中との小中一貫のメリットを活かして、もっと魅力ある学校にして欲しい。学区の再編や、学区外からの入学などで人数を確保し、新校舎が有効に使われる事を望みます。
117	・小学校…東小、上高は統合し、他の学校はそのまま。スクールバス運行。吹奏楽、合唱など小規模校は今までできなかったのも他校と一緒にできるチャンスを与えてほしい。・中学校…統合。部活が少なすぎる。制服、体操着ヘルメットなど各校ちがいきすぎる制服は変えて小学生も着なくなる制服に。
118	子が低学年だったら、また違う視点を持ったかもしれません。
119	先生方にふたんがない様にしてほしい。地域とのむすびつきは大切だが、それをになうのに先生方でなくても良いと思う。
120	過小規模の上高根沢小やその他小規模校は統廃合を検討するべきだと思います。スクールバスや、タクシーなどの登下校の方法についても町や、保護者の負担のバランスを考えた運営をされた方がよいと思います。小規模校であっても、十分な指導を受けていないと感じる事があります。どんな規模であっても、学校には1人1人に責任を持っていただきたいです。
121	スクールバスなどを利用し、学校間でバランスの良い人数の学校になると良い。(差が生じない様に)少子化の時代に合った学校の数を減らすことも検討すべきだと思う。
122	新しい東小は子供達にはとても不評でした。←「行政の良いように」ではなく「子供達のより良いように」動いて下さい。・中学校の生徒数が町内で半分ずつの割合になるよう学区等含め検討して欲しいです。部活等で阿中に生徒が流れている現状があります。・小学校においてはクラス替えができる生徒数の確保のため統合もありかと考えます。空いてしまう学校はイエナプラン等の導入や、ひよこの家のようなフリースクールとした特徴をはっきり打ち出した学校として再編はどうでしょうか?アメリカン?インターナショナルスクールみたいなものもおもしろいと思う。・子供を増やすために人口が増える政策も考えて欲しいです。例えばもっと家を建てられる条件がゆるくなること農業をしてみたい人向けに農地と土地を売り出す空き屋を町で買とりグランディアハウスのような所で土地を分譲する(旧東小跡地などいいかも)農地を簡単に宅地にできるようがんばって下さい。
123	北高根沢中学校生の部活動の選択が無く、阿久津中学校へ進学する子が多くなってきている。小さな町に2つも中学校は必要ないのではないかと。そして、そんな町に小学校が6校ある必要もないと思う。町民広場の辺りに一校に統合して子どもの人数を多く活気あふれる場が良いと思う。
124	長い目で見て規模の適正化の検討は必要であると思う。しかしながら、今、現在～近い将来を考えると、トイレをきれいにしてほしいし、せめて洋式化にし、かたよりが無い程度にはしてほしいと思います。

125	部活動の選択肢が少ない。やりたい部活動を自由に選べて活動できるようにしていただきたい。
126	人数の差によってメリット・デメリットがある事は仕方ないことだと思います。しかし、子どもが皆平等に教育を受けてほしいと言う願いがあります。少ない学校での工夫・大きな学校での工夫は常に必要であるし、意見交換の場など設け、それぞれの学校での活動、指導内容の統一、交流など考えられる事を実践していただきたいです。このままでは差が広がる一方です。
127	すでに阿中、北中学区では学業や部活動での格差は歴然です。早急に進めて頂きたいと思います。子供達の学び場をよりよいものにするを第一に考えて頂きたい。高校進学に向け子供達が希望を持って仲間で切磋琢磨できる環境を作してほしいです。
128	中学校に関してになってしまいますが、どうせなら町民ホールあたりに阿中・北中を合併して一つの中学校を建てたら良いのではないのでしょうか。その際、町役場と生涯学習課も1つの建物にしてもらえると良いと思います。正直車ありきの考えなら、役場と生涯学習課が別の場所でも構わないのですが、利用しにくい事は事実です。
129	不登校の子供達や、何かしら事情をかかえてる子供達が学校で過ごせる場所をつくってほしい。今の学校には、そこまでの配りよがされてないので、一日中、家で過ごす事になってしまって、生活のリズム、集団生活など、人と接する事が少なくなってしまう、適応できなくなってしまうので…。
130	生徒数が多く、クラス替えがあるのはいいが、生徒によっては、一番仲良しの子とクラスが離れ、不登校になったり、クラスに行かずに保健室登校になってしまっている子が多いので、北高根沢中だけでなく、他の学校も配慮すべきです。不登校が多過ぎます。
131	学校規模適正化という点だけを抜き出して議論していることに違和感を感じます。教育は、高根沢町としてどういった町をつくりたいかというビジョンを実現するための、重要な一要素であると考えます。従いまして、現在、教育委員会が主体となって議論されていますが、町が主体となって考え方をつくった上で議論を進めるべきだと思います。学校規模適正化は教育をより良い方向にもっていくための、一手段であって目的ではありません。ビジョンや目的がない状態で手段の議論が先行しているように感じます。もっと、上流で議論した上で進めるテーマだと考えます。
132	クラス替えのない小規模校では子ども親も人間関係が固定し、幅が広がりにくいように感じる。いろいろな人がいて、いろいろなことがあっても、「そのままの自分でいいんだ」と思えたり、周りの人に対してもそう思い合えたりする環境を子どもたちには作ってあげたい。
133	阿久津中への進学は西小、阿小のみにし、北・東・上高・中央は北高中へ進学、という学区にしたらどうだろうと思う。人数の偏りが部活動数にも影響し、年々活動規模も縮小されてしまっている(北中)。部活がやりたいから阿中へ進学、を認めているのも偏りに拍車をかける一因ではと思う。まずは学区を見直しし、人数確保が最優先では。
134	学校について考える前に町として子どもを産んで育てやすい環境を考えるべきだと思う。現に他の市町から転居して、小、中と子ども達を通学させましたが、子育て支援の少なさや、学校職員の子育て支援の理解不足や知識不足感をかんじました。
135	地域の方や大人の意見は色々あると思いますが、第一に子ども達の生活、学習の事を考えて下さればありがたいと思います。何事にも良悪はあると思います。(スクールバスも安全ですが体力低下しますし…)
136	同じ町内での学校の人数が違いすぎてすごく不満です。もう少し分ける事は出来ると思います。差がありすぎます。
137	2つの中学校に通う地域の範囲を検討したのが良いと思う。
138	少人数ゆえに統合するのも、やむなしとは思いますが、新しい施設をつくる際大人の視点で物事を考えてしまうと、利便性や、機能性が先に考えられた施設となってしまうのは、子供たちにとっては、不幸な事。彼ら、彼女らが毎日生活する場は、一見大人からすればムダが多いものがあるが、遊びが豊かになり、心が豊かになり、人間関係や活動が豊かになるものだと思う。(小学校は特に)「ゆとりがあること」を考えの中において検討してほしい。

### 3 教職員向けアンケート調査

- (1) 実施時期 令和4年1月
- (2) 対象 町内小中学校の教職員（162名）
- (3) 回答数 151名
- (4) 回答率 93.2%

#### 問1～問4【回答者の属性】

##### ■勤務している学校

	阿久津 小学校	中央 小学校	東 小学校	上高根沢 小学校	北 小学校	西 小学校	阿久津 中学校	北高根沢 中学校	総計
回答数	28	13	12	10	14	28	28	16	149
%	18.8%	8.7%	8.1%	6.7%	9.4%	18.8%	18.8%	10.7%	100.0%

##### ■現在の職名

	校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	助教諭	事務職員	総計
回答数	8	8	103	8	9	7	8	151
%	5.3%	5.3%	68.2%	5.3%	6.0%	4.6%	5.3%	100.0%

##### ■年齢

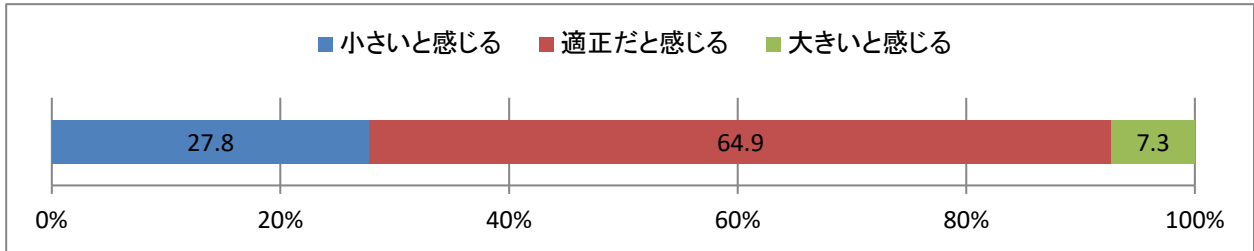
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	総計
回答数	31	20	32	63	5	151
%	20.5%	13.2%	21.2%	41.7%	3.3%	100.0%

##### ■「小規模校（学級数が1校あたり11学級以下）」、または「適正規模校もしくは大規模校（学級数が1校あたり12学級以上）」での勤務経験

	両方での勤務経験がある	「小規模校」での勤務経験のみ	「小規模校」での勤務経験はない	総計
回答数	109	14	28	151
%	72.2	9.3	18.5	100.0

問5：あなたは、現在勤務している学校の規模についてどう感じていますか？  
 (1つに〇)

	小さいと感じる	適正だと感じる	大きいと感じる	総計
回答数	42	98	11	151
%	27.8%	64.9%	7.3%	100%

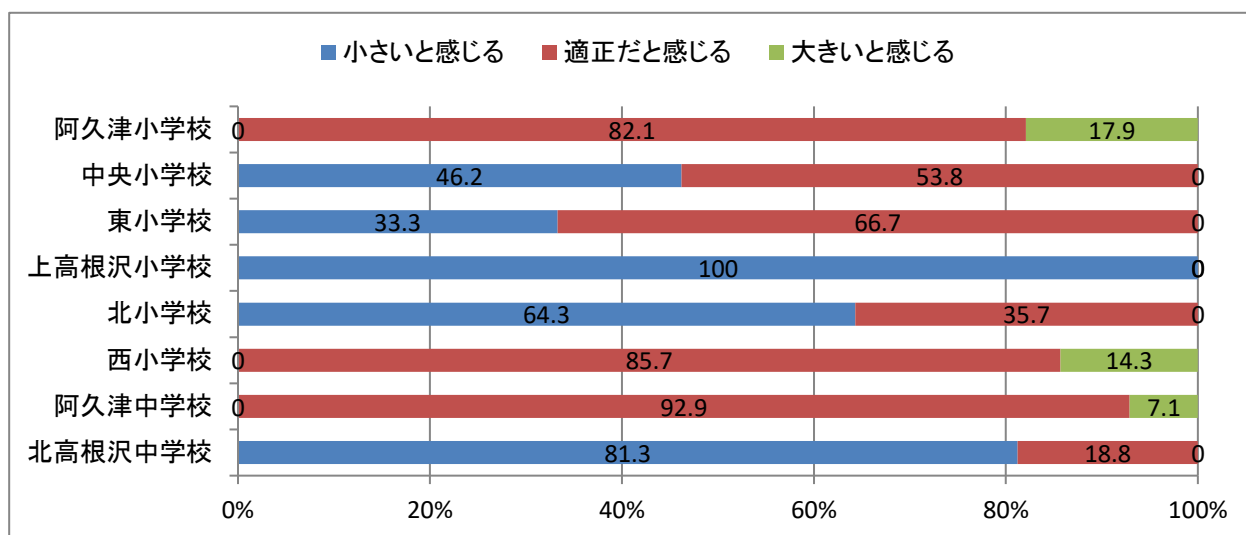


●学校規模について【適正だと感じる】の割合は64.9%となっています。次に【小さいと感じる】の割合が27.8%となっています。

【属性による集計分析】

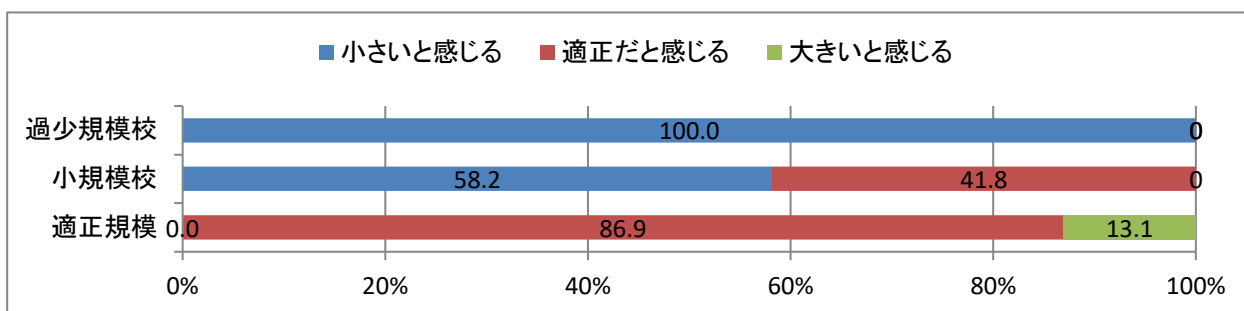
○勤務する学校ごとの集計

		小さいと感じる	適正だと感じる	大きいと感じる	総計
阿久津小学校	回答数	0	23	5	28
	%	0%	82.1%	17.9%	100%
中央小学校	回答数	6	7	0	13
	%	46.2%	53.8%	0%	100%
東小学校	回答数	4	8	0	12
	%	33.3%	66.7%	0%	100%
上高根沢小学校	回答数	10	0	0	10
	%	100%	0%	0%	100%
北小学校	回答数	9	5	0	14
	%	64.3%	35.7%	0%	100%
西小学校	回答数	0	24	4	28
	%	0%	85.7%	14.3%	100%
阿久津中学校	回答数	0	26	2	28
	%	0%	92.9%	7.1%	100%
北高根沢中学校	回答数	13	3	0	16
	%	81.3%	18.8%	0%	100%



○勤務する学校の規模ごとの集計

		小さいと感じる	適正だと感じる	大きいと感じる	総計
過小規模校	回答数	10	0	0	10
	%	100%	0%	0%	100%
小規模校	回答数	32	23	0	55
	%	58.2%	41.8%	0%	100%
適正規模校	回答数	0	73	11	84
	%	0%	86.9%	13.1%	100%



●勤務する学校ごとに集計した場合、阿小・西小・阿中では、【適正だと感じる】と回答した割合が8割を超えて高くなっている一方で、それ以外の学校では【小さいと感じる】との回答が一定数あり、特に上高小では100%、北高中では81.3%の教職員が【小さいと感じる】と回答しています。

●勤務する学校の規模ごとに集計した場合、過小規模校では100%、小規模校では58.2%の教職員が【小さいと感じる】と回答しています。

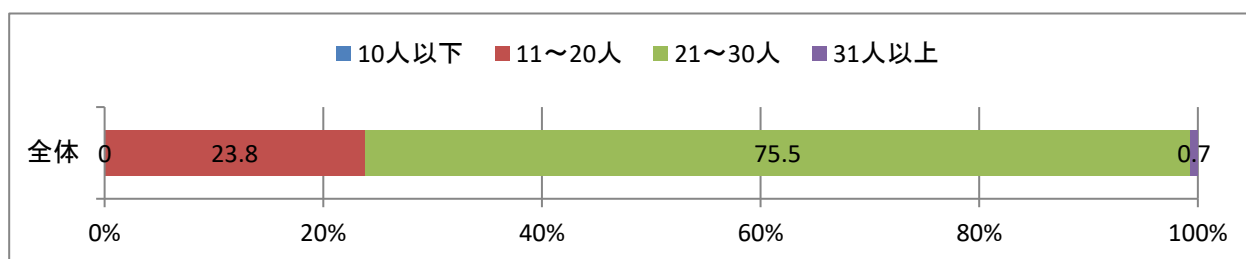
問6：栃木県内の小学校・中学校では、1学級35人を上限に学級を編成しています。例：

1学年35人の場合 ⇒ 1学級

1学年36人の場合 ⇒ 18人ずつ2学級

現状、町内では、各学校の規模により1学級6人から1学級35人まで、様々な学級がありますが、教育環境として1学級の人数はどの程度が望ましいと思いますか？（1つに○）

	10人以下	11～20人	21～30人	31人以上	総計
回答数	0	36	114	1	151
%	0%	23.8%	75.5%	0.7%	100%



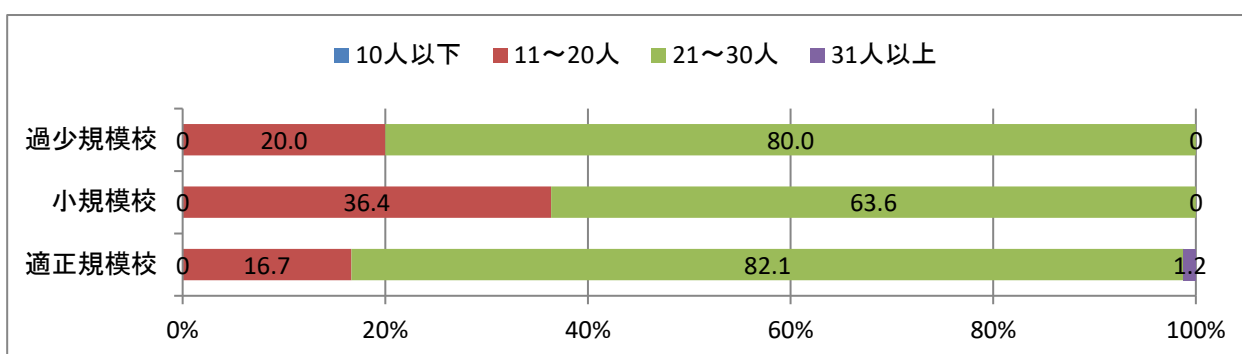
●教職員の回答による望ましい1学級の人数は、【21～30人】の割合が75.5%と最も高く、次に【11～20人】が23.8%となっています。また、【10人以下】の回答はありませんでした。



【属性による集計分析】

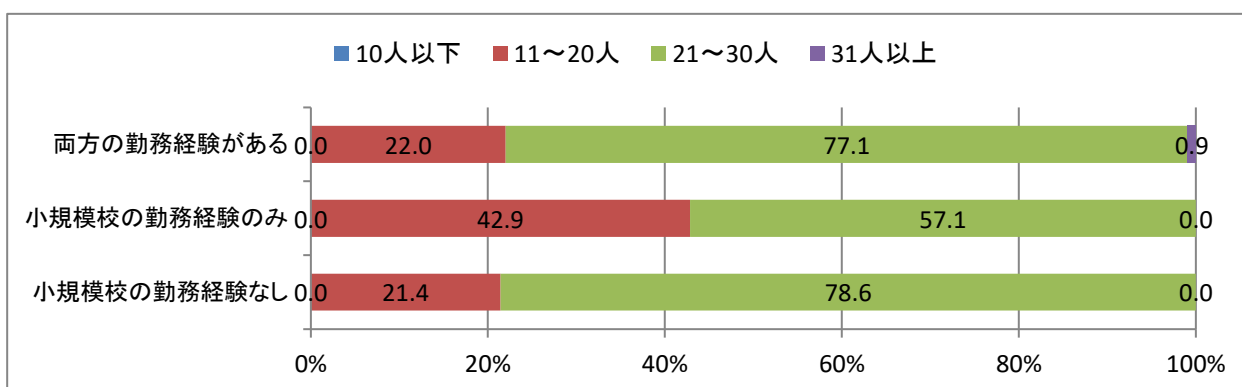
○勤務する学校の規模ごとの集計

		10人以下	11～20人	21～30人	31人以上	総計
過小規模校	回答数	0	2	8	0	10
	%	0%	20%	80%	0%	100%
小規模校	回答数	0	20	35	0	55
	%	0%	36.4%	63.6%	0%	100%
適正規模校	回答数	0	14	69	1	84
	%	0%	16.7%	82.1%	1.2%	100%



○学校規模（小規模 or 適正・大規模）による勤務経験ごとの集計

		10人以下	11～20人	21～30人	31人以上	総計
両方での勤務経験がある	回答数	0	24	84	1	109
	%	0%	22%	77.1%	0.9%	100%
「小規模校」での勤務経験のみ	回答数	0	6	8	0	14
	%	0%	42.9%	57.1%	0%	100%
「小規模校」での勤務経験はない	回答数	0	6	22	0	28
	%	0%	21.4%	78.6%	0%	100%



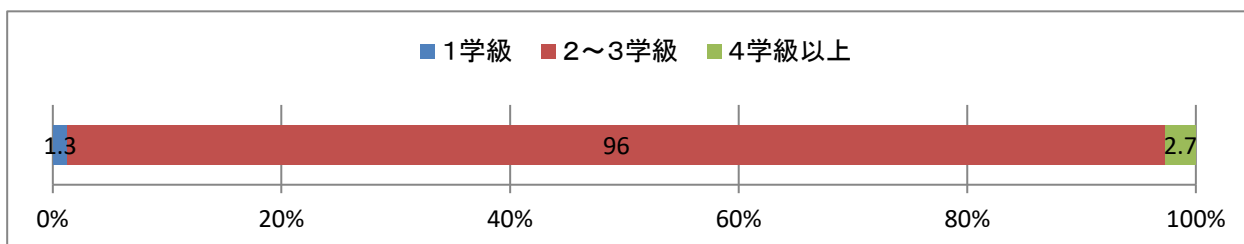
●勤務する学校の規模ごとに集計した場合、過小規模校・適正規模校に勤務する教職員と比較して、小規模校に勤務する教職員は、【11～20人】と回答した割合が36.4%と高くなっており、現状と同じ小規模な学校環境を望む教職員が多くいる結果となっています。

●学校規模（小規模 or 適正・大規模）による勤務経験ごとに集計した場合、「小規模校の勤務経験のみの教職員」は、【11～20人】と回答した割合が42.9%となっており、「適正規模校・大規模校での勤務経験がある教職員」と比較して高くなっています。「適正規模校・大規模校での勤務経験がない教職員」は、小規模な学級規模を望む割合が高いという結果となりました。

《小学校の学級数》

問7：小学校の学級数は、法令では「1学年あたり2～3学級（1学校あたり12～18学級）を標準とする」となっていますが、1学年の学級数はどの程度が望ましいと思いますか？（1つに○）

	1学級	2～3学級	4学級以上	総計
回答数	2	144	4	150
%	1.3%	96%	2.7%	100%



●教職員の回答による望ましい学級数は、【2～3学級】と回答した割合が96.0%と極めて高くなっています。

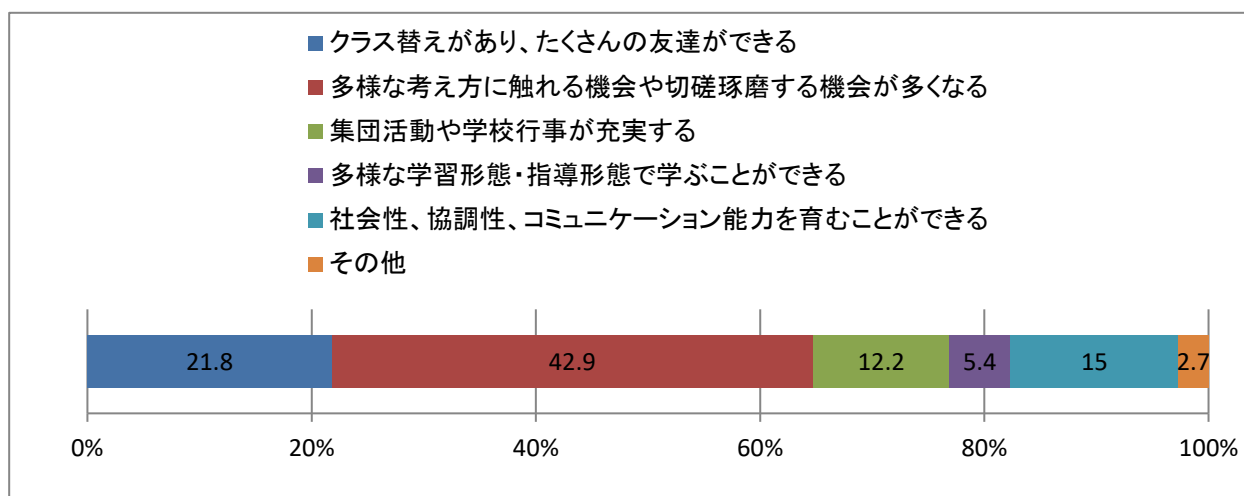
問7-1：問7で、1学年あたり「1学級」と回答した方は、そう思う一番大きな理由をお答えください。（1つに○）

	一人一人に目が届きやすく、きめ細かな指導を受けやすい	学校行事や部活動等で子どもたちに活動機会・活躍の場が多くなりやすい	施設や教材が余裕を持って使える	体験学習や校外学習を機動的・臨機応変に行うことができる	子どもたちの人間関係が深まりやすい	異学年間の交流機会が多くなりやすい	保護者・地域との連携が図りやすい	その他	総計
回答数	1	1	0	0	0	0	0	0	2
%	50%	50%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%

●1学年あたり「1学級」と回答した教職員2名のうち、【一人一人に目が届きやすく、きめ細かな指導を受けやすい】、【学校行事や部活動等で子どもたちに活動機会・活躍の場が多くなりやすい】に、それぞれ1名ずつ回答がありました。

問7-2：問7で、1学年あたり「2～3学級」または「4学級以上」と回答した方は、そう思う一番大きな理由をお答えください。（1つに〇）

	クラス替えがあり、たくさんの友達ができる	多様な考え方に触れる機会や切磋琢磨する機会が多くなる	集団活動や学校行事が充実する	多様な学習形態・指導形態で学ぶことができる	社会性、協調性、コミュニケーション能力を育むことができる	その他	総計
回答数	32	63	18	8	22	4	147
%	21.8%	42.9%	12.2%	5.4%	15%	2.7%	100%

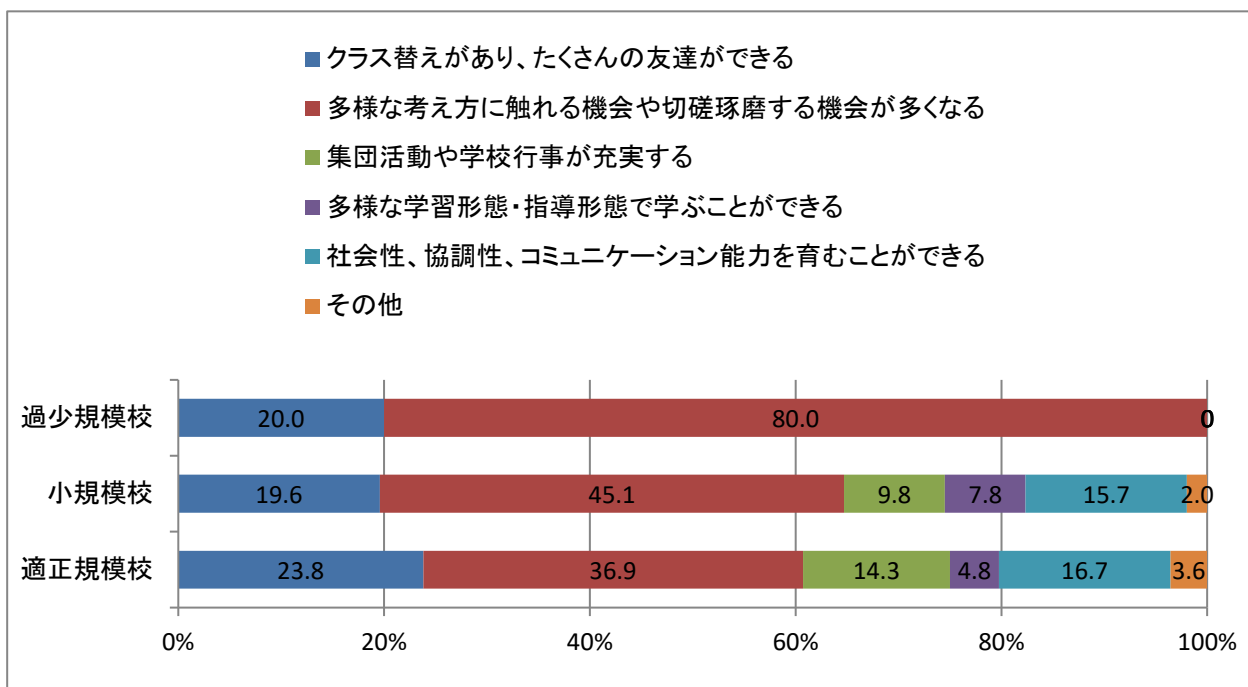


●小学校「2～3学級」または「4学級以上」を望む一番大きな理由は、【多様な考え方に触れる機会や切磋琢磨する機会が多くなる】と回答した割合が42.9%、次に【クラス替えがあり、たくさんの友達ができる】(21.8%)、【社会性、協調性、コミュニケーション能力を育むことができる】(15.0%)と続いています。

【属性による集計分析】

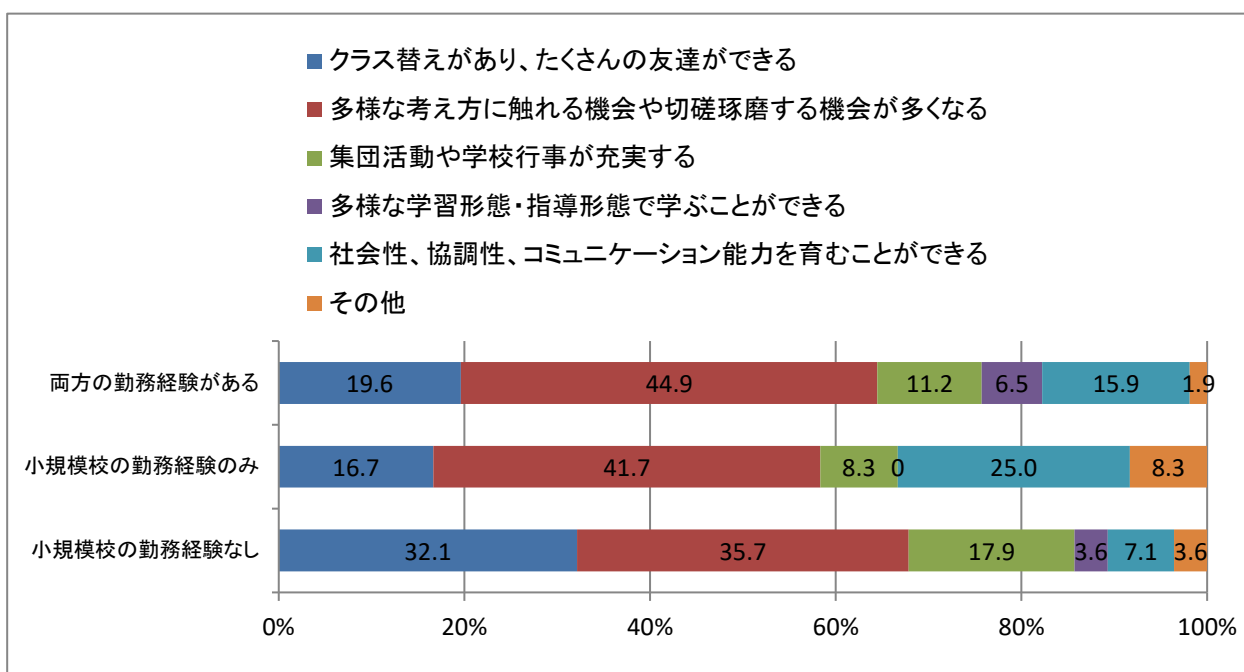
○勤務する学校の規模ごとの集計

		クラス替えがあり、たくさんの友達ができる	多様な考え方に触れる機会や切磋琢磨する機会が多くなる	集団活動や学校行事が充実する	多様な学習形態・指導形態で学ぶことができる	社会性、協調性、コミュニケーション能力を育むことができる	その他	総計
過小規模校	回答数	2	8	0	0	0	0	10
	%	20%	80%	0%	0%	0%	0%	100%
小規模校	回答数	10	23	5	4	8	1	51
	%	19.6%	45.1%	9.8%	7.8%	15.7%	2%	100%
適正規模校	回答数	20	31	12	4	14	3	84
	%	23.8%	36.9%	14.3%	4.8%	16.7%	3.6%	100%



○学校規模（小規模 or 適正・大規模）による勤務経験ごとの集計

		クラス替えがあり、たくさんの友達ができる	多様な考え方に触れる機会や切磋琢磨する機会が多くなる	集団活動や学校行事が充実する	多様な学習形態・指導形態で学ぶことができる	社会性、協調性、コミュニケーション能力を育むことができる	その他	総計
両方での勤務経験がある	回答数	21	48	12	7	17	2	107
	%	19.6%	44.9%	11.2%	6.5%	15.9%	1.9%	100%
「小規模校」での勤務経験のみ	回答数	2	5	1	0	3	1	12
	%	16.7%	41.7%	8.3%	0%	25%	8.3%	100%
「小規模校」での勤務経験はない	回答数	9	10	5	1	2	1	28
	%	32.1%	35.7%	17.9%	3.6%	7.1%	3.6%	100%



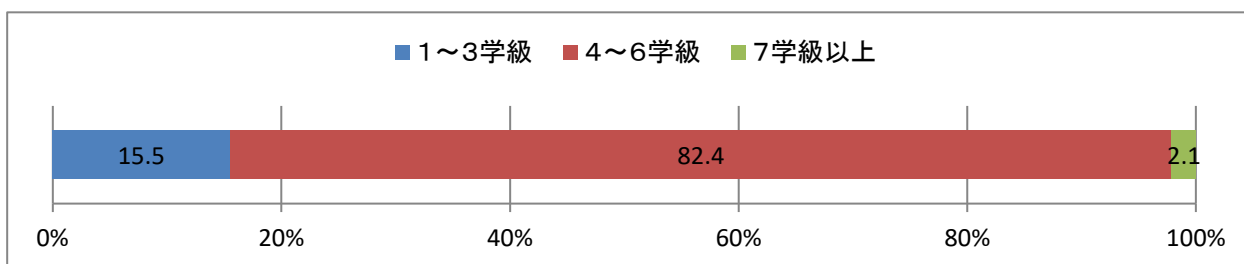
●勤務する学校の規模ごとに集計した場合、特に、過小規模校では、【多様な考え方に触れる機会や切磋琢磨する機会が多くなる】と回答した割合が8割超と高くなっています。

●学校規模（小規模 or 適正・大規模）による勤務経験ごとに集計した場合、「小規模校での勤務経験がない教職員」は、小規模校での勤務経験がある教職員と比較して、【クラス替えがあり、たくさんの友達ができる】と回答した割合が高くなっています。

《中学校の学級数》

問8：中学校の学級数は、法令では「1学年あたり4～6学級（1学校あたり12～18学級）を標準とする」となっていますが、どの程度の学級数が望ましいと思いますか？（1つに○）

	1～3学級	4～6学級	7学級以上	総計
回答数	22	117	3	142
%	15.5%	82.4%	2.1%	100%



●中学校における望ましい学級数は、【4～6学級】と回答した教職員の割合が82.4%と最も高く、次に【1～3学級】が15.5%となっています。

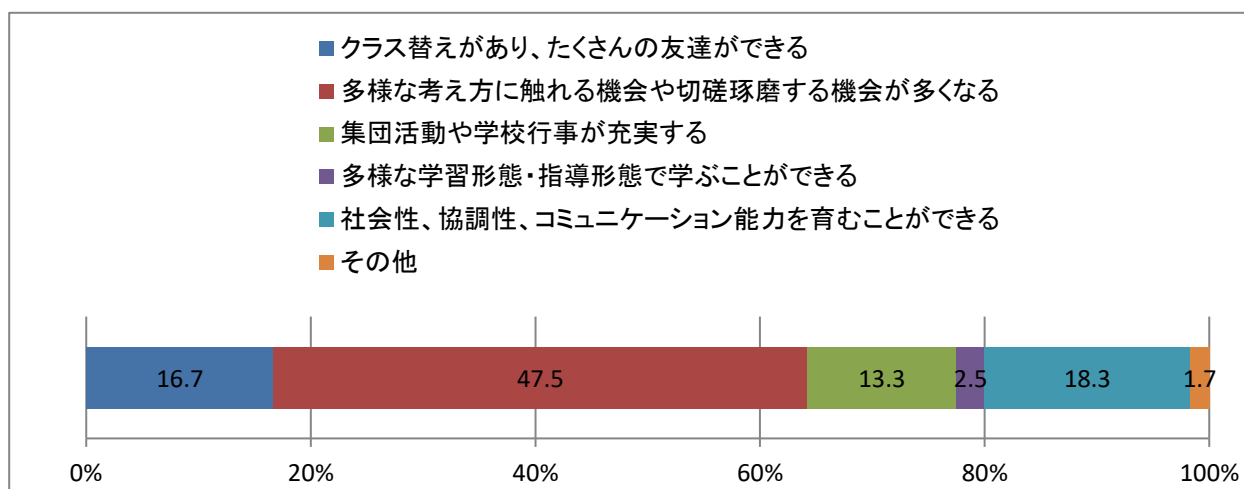
問8-1：問8で、1学年あたり「1～3学級」と回答した方は、そう思う一番大きな理由をお答えください。（1つに○）

	一人一人に目が届きやすく、きめ細かな指導を受けやすい	学校行事や部活動等で子どもたちに活動機会・活躍の場が多くなりやすい	施設や教材が余裕を持って使える	体験学習や校外学習を機動的・臨機応変に行うことができる	子どもたちの人間関係が深まりやすい	異学年間の交流機会が多くなりやすい	保護者・地域との連携が図りやすい	その他	総計
回答数	16	1	2	0	1	0	0	2	22
%	72.7%	4.5%	9.1%	0%	4.5%	0%	0%	9.1%	100%

●1学年あたり「1～3学級」と回答した教職員22名のうち、一番大きな理由を【一人一人に目が届きやすく、きめ細かな指導を受けやすい】と回答した教職員が16名となっています。

問8-2：問8で、1学年あたり「4～6学級」または「7学級以上」と回答した方は、そう思う一番大きな理由をお答えください。（1つに〇）

	クラス替えがあり、たくさんの友達ができる	多様な考え方に触れる機会や切磋琢磨する機会が多くなる	集団活動や学校行事が充実する	多様な学習形態・指導形態で学ぶことができる	社会性、協調性、コミュニケーション能力を育むことができる	その他	総計
回答数	20	57	16	3	22	2	120
%	16.7%	47.5%	13.3%	2.5%	18.3%	1.7%	100%



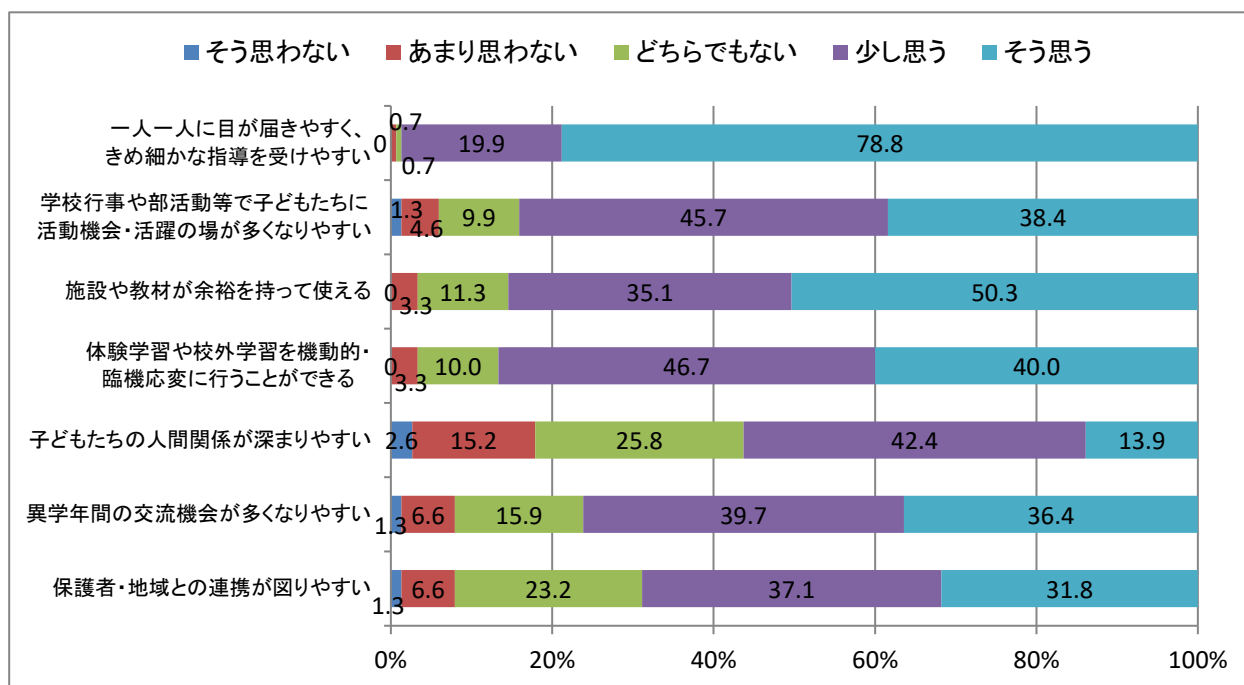
●中学校「4～6学級」または「7学級以上」と回答した一番大きな理由としては、【多様な考え方に触れる機会や切磋琢磨する機会が多くなる】と回答した教職員の割合が47.5%、次に【社会性、協調性、コミュニケーション能力を育むことができる】が18.3%となっています。



問9：1学年あたりの学級数が少ない、または1学級あたりの人数の少ない小規模な学校の教育活動におけるメリット・デメリットについて、あなたのお考えをお聞かせください。（項目ごとにあなたの考えに近いもの1つに○）

【メリット】

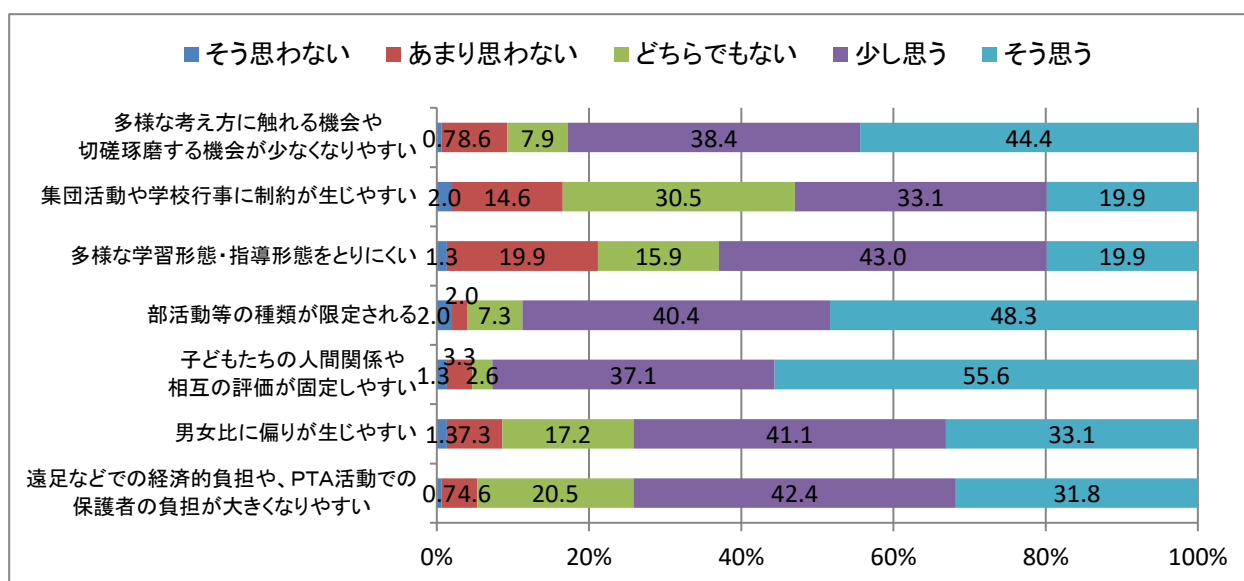
メリット		そう思わない	あまり思わない	どちらでもない	少し思う	そう思う	総計
一人一人に目が届きやすく、きめ細かな指導を受けやすい	回答数	0	1	1	30	119	151
	%	0%	0.7%	0.7%	19.9%	78.8%	100%
学校行事や部活動等で子どもたちに活動機会・活躍の場が多くなりやすい	回答数	2	7	15	69	58	151
	%	1.3%	4.6%	9.9%	45.7%	38.4%	100%
施設や教材が余裕を持って使える	回答数	0	5	17	53	76	151
	%	0%	3.3%	11.3%	35.1%	50.3%	100%
体験学習や校外学習を機動的・臨機応変に行うことができる	回答数	0	5	15	70	60	150
	%	0%	3.3%	10%	46.7%	40%	100%
子どもたちの人間関係が深まりやすい	回答数	4	23	39	64	21	151
	%	2.6%	15.2%	25.8%	42.4%	13.9%	100%
異学年間の交流機会が多くなりやすい	回答数	2	10	24	60	55	151
	%	1.3%	6.6%	15.9%	39.7%	36.4%	100%
保護者・地域との連携が図りやすい	回答数	2	10	35	56	48	151
	%	1.3%	6.6%	23.2%	37.1%	31.8%	100%



●小規模な学校の教育活動におけるメリットについては、全ての項目に対して、【そう思う】・【少し思う】を合わせた回答が過半数を超えており、メリットとして認識されている結果となっています。特に【一人一人に目が届きやすく、きめ細かな指導を受けやすい】は、98.7%となっており、【そう思う】の割合も最も高いことから、最大のメリットと感じている結果となっています。

## 【デメリット】

デメリット		そう思わない	あまり思わない	どちらでもない	少し思う	そう思う	総計
多様な考え方に触れる機会や切磋琢磨する機会が少なくなりやすい	回答数	1	13	12	58	67	151
	%	0.7%	8.6%	7.9%	38.4%	44.4%	100%
集団活動や学校行事に制約が生じやすい	回答数	3	22	46	50	30	151
	%	2%	14.6%	30.5%	33.1%	19.9%	100%
多様な学習形態・指導形態をとりにくい	回答数	2	30	24	65	30	151
	%	1.3%	19.9%	15.9%	43%	19.9%	100%
部活動等の種類が限定される	回答数	3	3	11	61	73	151
	%	2%	2%	7.3%	40.4%	48.3%	100%
子どもたちの人間関係や相互の評価が固定しやすい	回答数	2	5	4	56	84	151
	%	1.3%	3.3%	2.6%	37.1%	55.6%	100%
男女比に偏りが生じやすい	回答数	2	11	26	62	50	151
	%	1.3%	7.3%	17.2%	41.1%	33.1%	100%
遠足などでの経済的負担や、PTA活動での保護者の負担が大きくなりやすい	回答数	1	7	31	64	48	151
	%	0.7%	4.6%	20.5%	42.4%	31.8%	100%



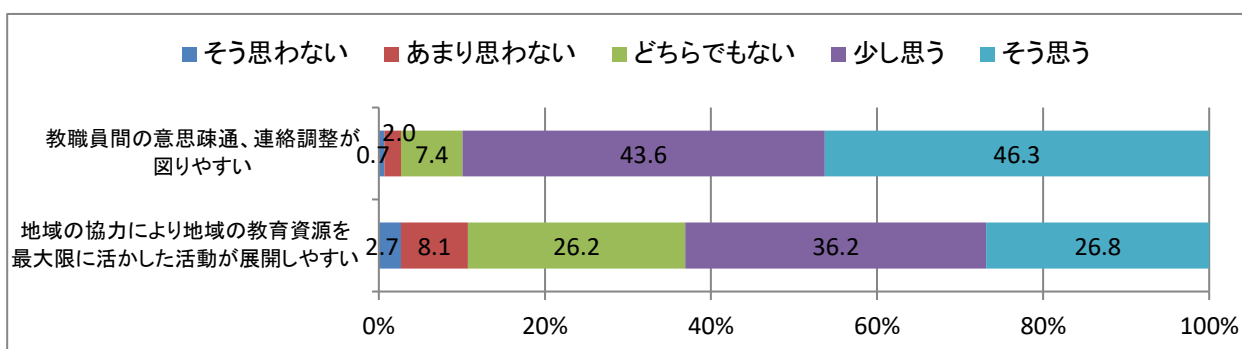
●小規模な学校の教育活動におけるデメリットについては、全ての項目について、【そう思う】・【少し思う】を合わせた回答が過半数を超えており、デメリットとして認識されている結果となっています。

特に、【そう思う】・【少し思う】を合わせた回答割合から、【子どもたちの人間関係や相互の評価が固定しやすい】、【部活動等の種類が限定される】、【多様な考え方に触れる機会や切磋琢磨する機会が少なくなりやすい】などをデメリットと感じている教職員が多い回答結果となっています。

問 10：1 学年あたりの学級数が少ない、または 1 学級あたりの人数の少ない小規模な学校の学校運営上のメリット、教員が少なくなること等による学校運営上のデメリットについて、あなたのお考えをお聞かせください。  
 (項目ごとにあなたの考えに近いもの1つに○)

【学校運営上のメリット】

メリット		そう思わない	あまり思わない	どちらでもない	少し思う	そう思う	総計
教職員間の意思疎通、連絡調整が図りやすい	回答数	1	3	11	65	69	149
	%	0.7%	2%	7.4%	43.6%	46.3%	100%
地域の協力により地域の教育資源を最大限に活かした活動が展開しやすい	回答数	4	12	39	54	40	151
	%	2.7%	8.1%	26.2%	36.2%	26.8%	100%



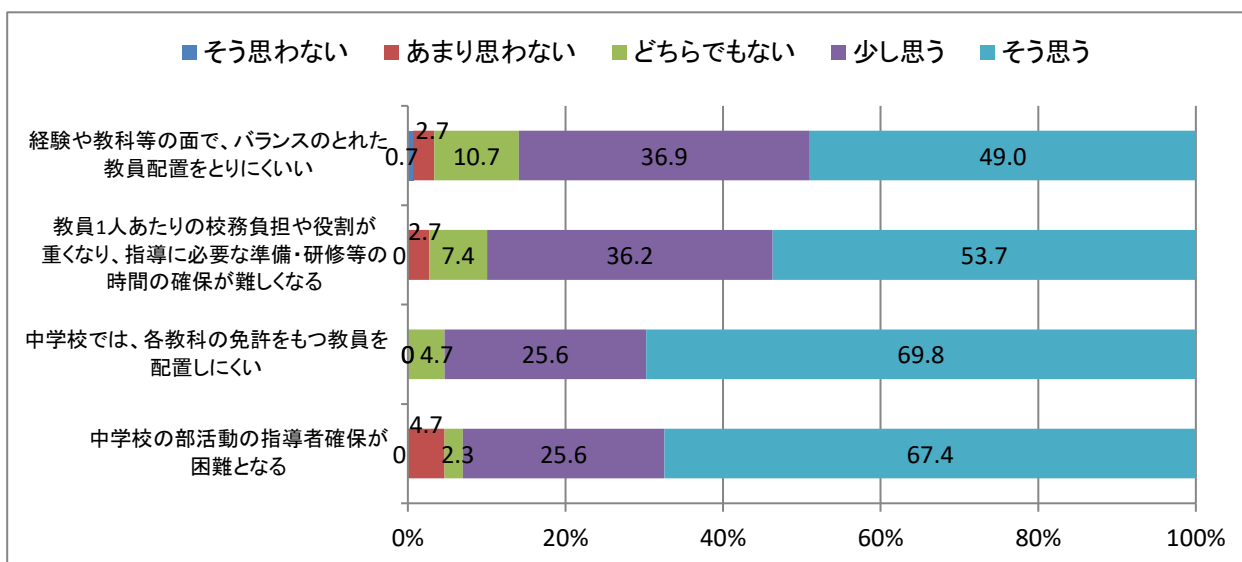
●小規模な学校の学校運営上のメリットについては、【教職員間の意思疎通、連絡調整が図りやすい】に対して、【そう思う】・【少し思う】を合わせた回答が89.9%と高くなっていますが、【地域の協力により地域の教育資源を最大限に活かした活動が展開しやすい】に対しては63%にとどまっています。

### 【学校運営上のデメリット】

デメリット		そう思わない	あまり思わない	どちらでもない	少し思う	そう思う	総計
経験や教科等の面で、バランスのとれた教員配置をとりにくい	回答数	1	4	16	55	73	149
	%	0.7%	2.7%	10.7%	36.9%	49%	100%
教員1人あたりの校務負担や役割が重くなり、指導に必要な準備・研修等の時間の確保が難しくなる	回答数	0	4	11	54	80	149
	%	0%	2.7%	7.4%	36.2%	53.7%	100%

### 【学校運営上のデメリット（※中学校の教職員のみ回答）】

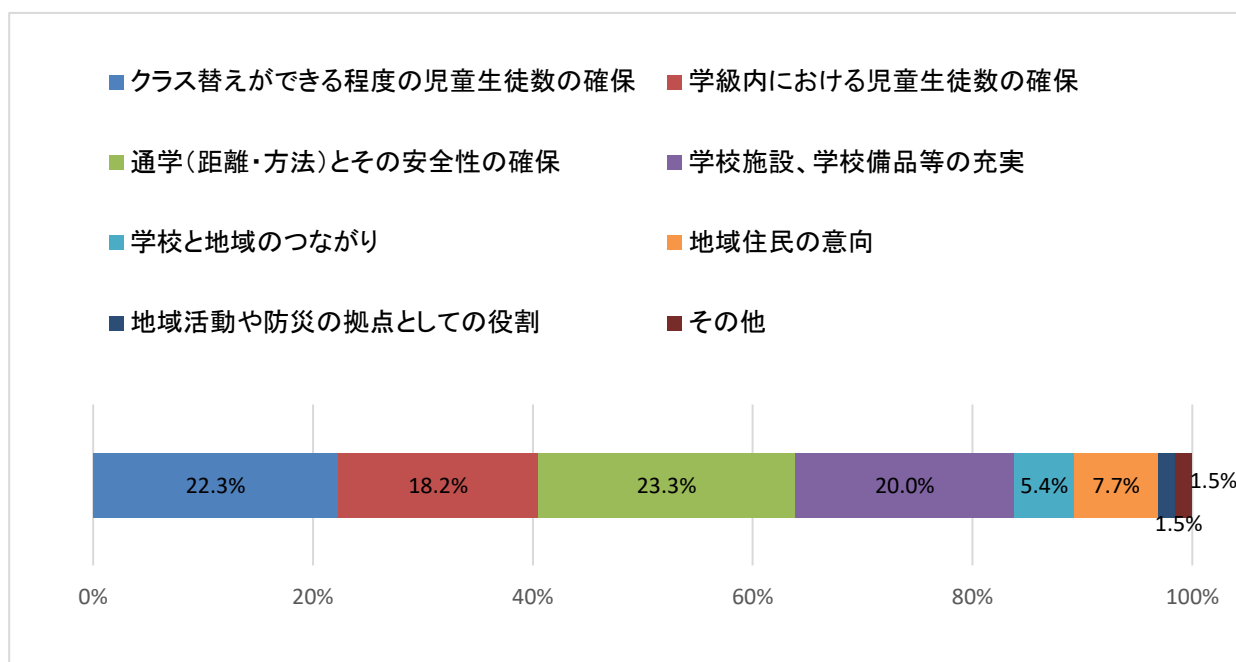
デメリット		そう思わない	あまり思わない	どちらでもない	少し思う	そう思う	総計
中学校では、各教科の免許をもつ教員を配置しにくい	回答数			2	11	30	43
	%	0%	0%	4.7%	25.6%	69.8%	100%
中学校の部活動の指導者確保が困難となる	回答数		2	1	11	29	43
	%	0%	4.7%	2.3%	25.6%	67.4%	100%



●小規模な学校の学校運営上のデメリットについては、全ての項目について、【そう思う】・【少し思う】を合わせた回答が9割前後となっており、デメリットとして認識されている結果となっています。

問 11：学校の適正な規模や配置を検討するにあたり、特に配慮すべきことは何ですか？（3つ以内に○）

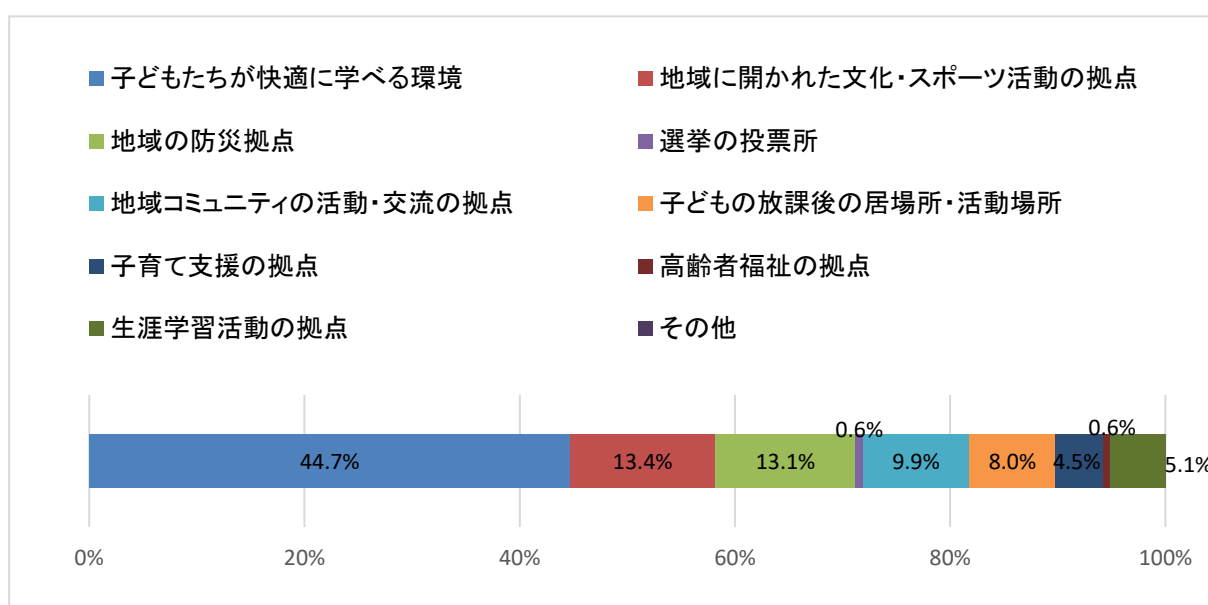
	クラス替えができる程度の児童生徒数の確保	学級内における児童生徒数の確保	通学（距離・方法）とその安全性の確保	学校施設、学校備品等の充実	学校と地域のつながり	地域住民の意向	地域活動や防災の拠点としての役割	その他	総計
回答数	87	71	91	78	21	30	6	6	390
%	22.3%	18.2%	23.3%	20.0%	5.4%	7.7%	1.5%	1.5%	100%



●学校の適正な規模や配置を検討するにあたって特に配慮すべきことは、【通学（距離・方法）とその安全性の確保】と回答した教職員の割合が最も高く 23.3%となっています。次に【クラス替えができる程度の児童生徒数の確保】（22.3%）、【学校施設、学校備品等の充実】（20.0%）、【学級内における児童生徒数の確保】（18.2%）と続いています。

問 12：今後、地域において学校に期待される役割や機能のうち、特に重要なものは何ですか？（3つ以内に○）

	子どもたちが快適に学べる環境	地域に開かれた文化・スポーツ活動の拠点	地域の防災拠点	選挙の投票所	地域コミュニティの活動・交流の拠点	子どもの放課後の居場所・活動場所	子育て支援の拠点	高齢者福祉の拠点	生涯学習活動の拠点	その他	総計
回答数	140	42	41	2	31	25	14	2	16	0	313
%	44.7%	13.4%	13.1%	0.6%	9.9%	8.0%	4.5%	0.6%	5.1%	0.0%	100%



●地域において学校に期待される役割や機能のうち特に重要なことは、【子どもたちが快適に学べる環境】と回答した教職員の割合が最も高く 44.7%となっており、次に【地域に開かれた文化・スポーツ活動の拠点】（13.4%）、【地域の防災拠点】（13.1%）と続いています。

問 13：学校の適正な規模や配置の検討に関してご意見があればお聞かせください。

(自由記述欄)

28名分(原文ママ)

1	各学校の児童数の差をなるべく少なくするように統合していく必要があると思います。国で定めている適正な規模の学校にすることは、子供たちにとってもプラスの面も大きくあると思います。いろいろな友達と触れ合うことで、より多様な見方や考え方も育つと思います。
2	教職員の数を単純に学級数に合わせて、統廃合をすると、多くの地域で職員:児童の比が低下すると思います。10人学級と20人学級で統合、30人学級になった場合、1:10と1:20だった比が1:30になり、両方にとって低下しています。その辺を「職員のがんばり」等以外の何でフォローするのか。教えて頂ければと思います。
3	教材や学ぶ教室環境などを充実させることが第一だと考えます。(人の配置も特に)
4	学習・生活支援員さんや無担の教諭をもっと数多く配置していただきたいです。
5	(学級数も重要だが)一人一人をきめ細かく見ていくためには、1学級の児童数の方が大切だと感じている。
6	・再任用職員の在り方 ・休職職員の代替教員の確保・町全体が他市町より遅れていると感じます。全体の業務の軽減化を求めます
7	学校の規模だけでいえば、2~3クラス(小学校)4~5クラス(中学校)が適正と思いますが、学校は地域の宝であり、歴史があると思います。また、地域住民の学校に対する思いもあります。単に数合わせの統廃合であれば、意味のないものになってしまうものではないでしょうか。学校規模の適正化については地域住民との対話を重ね、理解を得ながら慎重に進めていってほしいと思います。
8	・地域住民の方々の意見を十分に踏まえたうえで検討をお願いします。 ・学校規模の小規模な学校運営のデメリットとして「指導に必要な準備・研修等の時間の確保が難しくなる」として挙げていますが、これは学校規模の大小で言うことではないかと思います。この問題の根本的な原因は他にあると思います。
9	・高根沢町に小学校6校は財政の負担が重いのではないかと？・小規模特認校には本来の趣旨と違う目的で入ってくる保護者が少なくないと感じる。(その為にバス・タクシー代の負担が増えていると思う。) ・後継者のいない農地を住宅地に転用しやすくすれば、子どもを増やせる地区もあるのではないかと。
10	やはり単学級だと子どもそれぞれの立場や学級での位置付けが固定されやすいと思う。そうした意味からもクラス替えができ、多くの友だちに触れる機会が多くあるということは重要であると思う。ただ本町の場合、地域それぞれの学校という意識が強いと思われるので、地域の方々の理解が大切だと思う。それが、今後統合した後も地域の方々が学校にしっかり協力してくれるようになるための鍵だと思う。
11	難しい問題の検討、ありがとうございます。そして大変、お疲れ様です・・・。
12	学級数や児童生徒数に対する教員の配置ではなく、児童生徒の実態に応じて教員数が確保されるようになるとういなど感じる。
13	・クラスの人数が少ない方が、机の間かくをとれてコロナ対策をしやすい・担任一人だけでは、配りよの必要な児童がどのクラスにもいる現状の場合、指導が難しいので、どのクラスにも副担が入れる(理想)と、指導の充実が図れるの思っています。
14	1学級35人は多すぎだと思います。
15	小学校の低学年は(TT配置も含め)35人学級よりも1クラス20人前後であると指導が通り、安全に授業できると思います。手がかかる、サポートが必要な新1年生(中1)には人数や教員(副担)の配置に慎重に手厚くサポートできるのいいと思います。
16	1学級35人でも、教育活動を行う時に、目が届きにくいことがあります。最大30人の学級になると、充実した活動が行えるのではないかと思います。

17	1学級あたりの人数について検討が必要かと思います。高学年35人は教室内ギチギチです。目配り気配りも十分にしたいところですが難しく感じます。担任ではないクラスは特にです。少なすぎるのも・・・と思いますが35人は多く感じます。
18	1学年に複数学級ある事が望ましいと思うが、小学校であれば1学年20名前後、学校として120名程度の児童数がいれば特色ある学校経営は可能であると考えます。
19	グラフからも分かる様に中学校区で町民の生活環境が2分割されている状況があります。その中で児童の生活も2分割され、町民の少ない地区の意見がはんえいされているのかいないのか疑問に思うところもあります。ただ、同じ広さの教室に10人のクラスと35人のクラスを比較すれば、現在のこのコロナ禍では35人学級は一斉授業に適しているも感染リスクで考えれば危険確実。3蜜をクリアできていない状態での授業は、ある意味虐待ではないでしょうか？
20	集団不適応児童、授業に参加できない児童が増えている中、どのような規模、教員配置であつてもていねいな支援ができるようにした方が良い。
21	教員の数が減少傾向にあり、個に応じた指導の限界を感じることもある。子どもの特性も多様化し、多岐にわたる要望があるので、個別指導や支援、生徒指導、教育相談等を充実させるためにも人員を増やして頂きたい。
22	統廃合により、児童生徒に不利益が生じることのないよう丁寧に対応していくべき。
23	各教科の専門の教員が授業を行うことができることが大切です。臨時免許で対応することなく、1人の教員がゆとりある授業時間数を持てる教員数を確保することが、生徒にとっても有意義であると考えます。
24	・1クラス35人にするのであれば、快適に学べるスペース(教室の広々など)を確保してほしい・人数分必要な道具はそろえてほしい
25	早急に適正規模が図られることを期待しています
26	(問12)／で示した設問の回答を考えている時点で学校のあり方のかんちがいされていると思いますので関係法令をもっと学んで下さい。
27	小規模となった北中学区内の小中学校については、学年の生徒の合計が60～70人なので、合併も仕方がないかと思う。
28	以前、単学級の学校に勤務していたが、メリットもデメリットもそのまま感じた。生徒のことを考えると、たくさんの人と交流することがとても大切だと思うので、統合を考えていくべきだと考えます。





## 4 町民向けアンケート調査

- (1) 実施時期 令和4年1月  
 (2) 対象 住民基本台帳から無作為抽出した20歳以上(2,000名)  
 (3) 回答数 851名  
 (4) 回答率 42.5%

### 問1～問5【回答者の属性】

#### ■住所

大字等	回答数	%	大字等	回答数	%
飯室	10	1.2%	下柏崎	5	0.6%
石末	76	9.1%	寺渡戸	3	0.4%
太田	11	1.3%	中阿久津	12	1.4%
大谷	34	4.1%	中柏崎	4	0.5%
柿木沢	1	0.1%	西高谷	3	0.4%
上阿久津	1	0.1%	花岡	46	5.5%
上柏崎	6	0.7%	平田	57	6.8%
上高根沢	56	6.7%	伏久	14	1.7%
亀梨	4	0.5%	文挾	14	1.7%
栗ヶ島	1	0.1%	宝積寺	234	28.1%
桑窪	13	1.6%	宝石台	88	10.6%
光陽台	140	16.8%	合計	833	100%

#### ■年齢

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	総計
回答数	102	167	160	132	143	145	849
%	12.0%	19.7%	18.8%	15.5%	16.8%	17.1%	100.0%

#### ■お住まいの学区(小学校区)

	阿久津小学校	中央小学校	東小学校	上高根沢小学校	北小学校	西小学校	不明	総計
回答数	244	116	71	53	96	213	51	844
%	28.9%	13.7%	8.4%	6.3%	11.4%	25.2%	6.0%	100.0%

■卒業した小学校

	阿久津 小学校	中央 小学校	東 小学校	上高根沢 小学校	北 小学校	西 小学校	町外の 小学校	その他	総計
回答数	105	50	45	43	66	32	315	192	848
%	12.4%	5.9%	5.3%	5.1%	7.8%	3.8%	37.1%	22.6%	100.0%

■世帯員中の町立小中学校に在学または就学前の子どもの有無

	いる	いない	総計
回答数	160	688	848
%	18.9	81.1	100.0

※ 町民向けアンケートの回答者属性の特徴として、「町外の小学校を卒業した町民」の割合が37.1%と高くなっています。

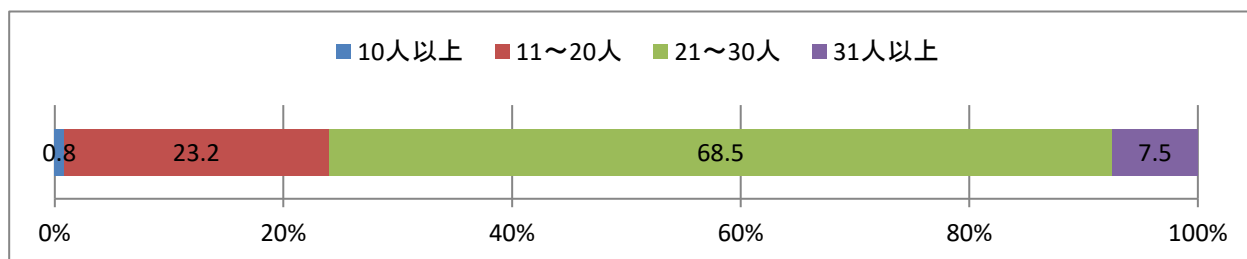
問6：栃木県内の小学校・中学校では、1学級35人を上限に学級を編成しています。例：

1学年35人の場合 ⇒ 1学級

1学年36人の場合 ⇒ 18人ずつ2学級

現状、町内では、各学校の規模により1学級6人から1学級35人まで、様々な学級がありますが、教育環境として1学級の人数はどの程度が望ましいと思いますか？（1つに○）

	10人以下	11～20人	21～30人	31人以上	総計
回答数	7	196	578	63	844
%	0.8%	23.2%	68.5%	7.5%	100%

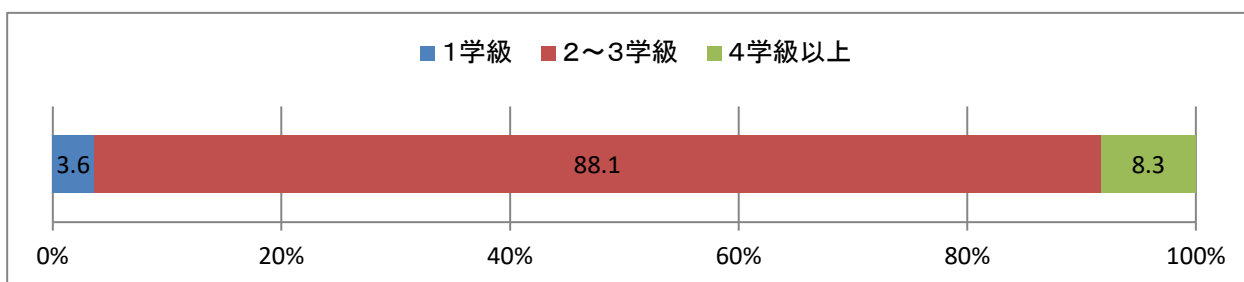


●教育環境として望ましい1学級の人数は、【21～30人】と回答した割合が68.5%と最も高く、次に【11～20人】が23.2%となっています。

《小学校の学級数》

問7：小学校の学級数は、法令では「1学年あたり2～3学級（1学校あたり12～18学級）を標準とする」となっていますが、1学年の学級数はどの程度が望ましいと思いますか？（1つに○）

	1学級	2～3学級	4学級以上	総計
回答数	30	741	70	841
%	3.6%	88.1%	8.3%	100%



●望ましい「1学年の学級数」は、【2～3学級】と回答した割合が88.1%と最も高くなっています。

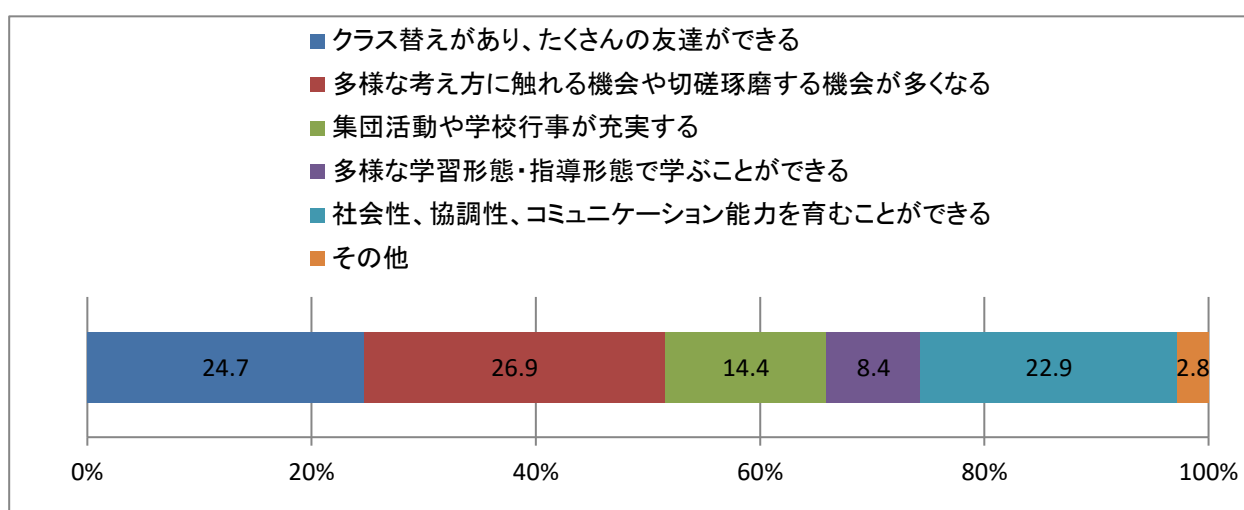
問7-1：問7で、1学年あたり「1学級」と回答した方は、そういう一番大きな理由をお答えください。（1つに○）

	一人一人に目が届きやすく、きめ細かな指導を受けやすい	学校行事や部活動等で子どもたちに活動機会・活躍の場が多くなりやすい	施設や教材が余裕を持って使える	体験学習や校外学習を機動的・臨機応変に行うことができる	子どもたちの人間関係が深まりやすい	異学年間の交流機会が多くなりやすい	保護者・地域との連携が図りやすい	その他	総計
回答数	19	0	0	0	7	1	1	2	30
%	63.3%	0.0%	0.0%	0.0%	23.3%	3.3%	3.3%	6.7%	100%

●望ましい「1学年の学級数」を「1学級」と回答した30名のうち、そういう一番大きな理由としては、【一人一人に目が届きやすく、きめ細かな指導を受けやすい】が19名、次に【子どもたちの人間関係が深まりやすい】が7名となっています。

問7-2：問7で、1学年あたり「2～3学級」または「4学級以上」と回答した方は、その思う一番大きな理由をお答えください。（1つに〇）

	クラス替えがあり、たくさんの友達ができる	多様な考え方に触れる機会や切磋琢磨する機会が多くなる	集団活動や学校行事が充実する	多様な学習形態・指導形態で学ぶことができる	社会性、協調性、コミュニケーション能力を育むことができる	その他	総計
回答数	201	219	117	68	186	23	814
%	24.7%	26.9%	14.4%	8.4%	22.9%	2.8%	100%

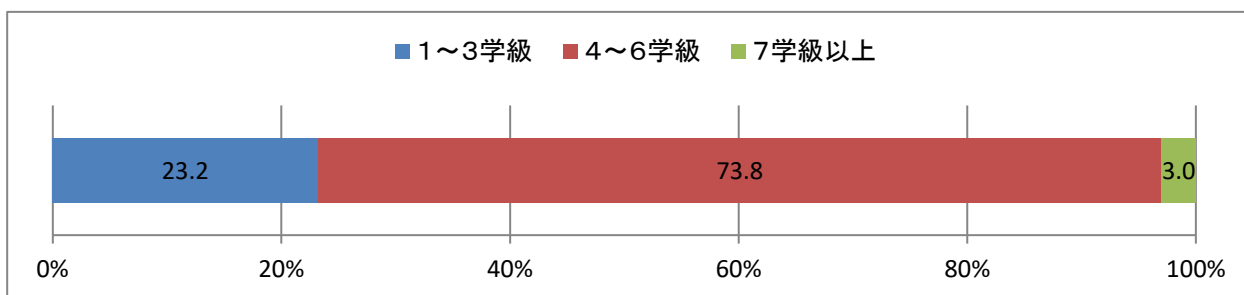


●小学校「2～3学級」または「4学級以上」を望む一番大きな理由は、【多様な考え方に触れる機会や切磋琢磨する機会が多くなる】で26.9%、次に【クラス替えがあり、たくさんの友達ができる】(24.7%)、【社会性、協調性、コミュニケーション能力を育むことができる】(22.9%)と続いています。

### 《中学校の学級数》

問8：中学校の学級数は、法令では「1学年あたり4～6学級（1学校あたり12～18学級）を標準とする」となっていますが、どの程度の学級数が望ましいと思いますか？（1つに○）

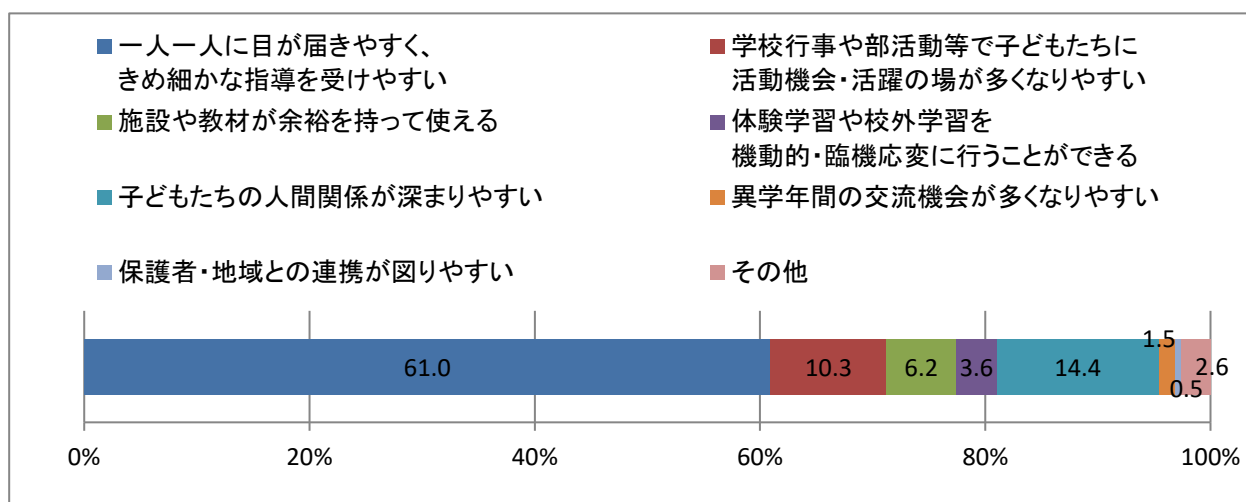
	1～3学級	4～6学級	7学級以上	総計
回答数	194	617	25	836
%	23.2%	73.8%	3%	100%



●望ましい学級数は、【4～6学級】と回答した割合が73.8%と最も高く、次に【1～3学級】が23.2%となっています。

問8-1：問8で、1学年あたり「1～3学級」と回答した方は、そういう一番大きな理由をお答えください。（1つに〇）

	一人一人に目が届きやすく、きめ細かな指導を受けやすい	学校行事や部活動等で子どもたちに活動機会・活躍の場が多くなりやすい	施設や教材が余裕を持って使える	体験学習や校外学習を機動的・臨機応変に行うことができる	子どもたちの人間関係が深まりやすい	異学年間の交流機会が多くなりやすい	保護者・地域との連携が図りやすい	その他	総計
回答数	119	20	12	7	28	3	1	5	195
%	61%	10.3%	6.2%	3.6%	14.4%	1.5%	0.5%	2.6%	100%

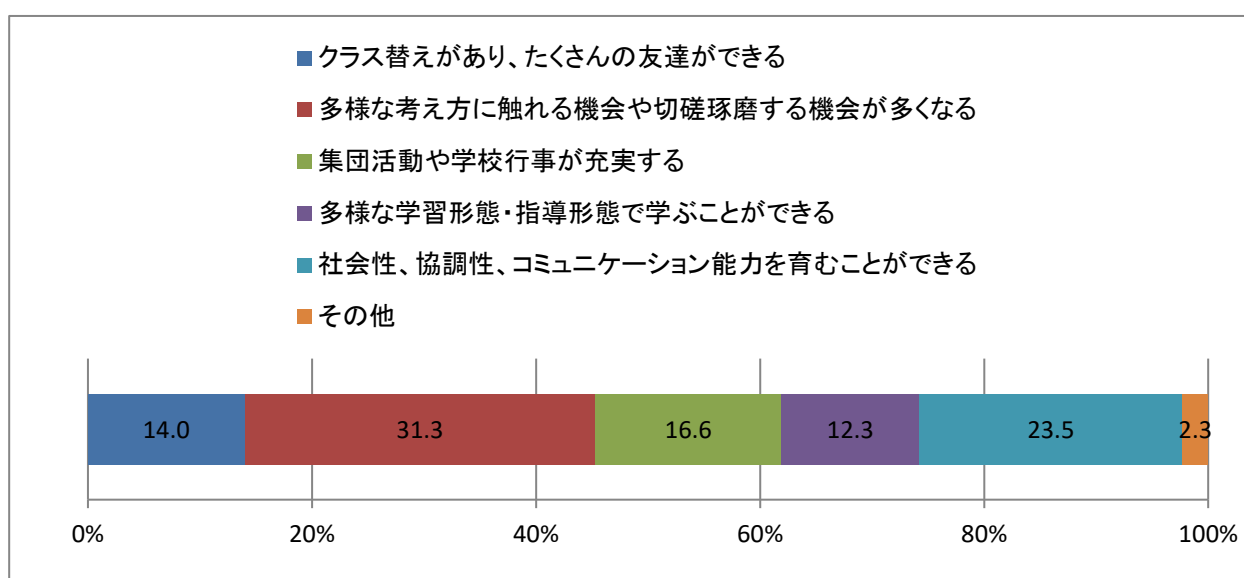


●中学校「1～3学級」を望む一番大きな理由は、【一人一人に目が届きやすく、きめ細かな指導を受けやすい】で61.0%、次に【子どもたちの人間関係が深まりやすい】で14.4%となっています。



問8-2：問8で、1学年あたり「4～6学級」または「7学級以上」と回答した方は、そう思う一番大きな理由をお答えください。（1つに〇）

	クラス替えがあり、たくさんの友達ができる	多様な考え方に触れる機会や切磋琢磨する機会が多くなる	集団活動や学校行事が充実する	多様な学習形態・指導形態で学ぶことができる	社会性、協調性、コミュニケーション能力を育むことができる	その他	総計
回答数	90	201	107	79	151	15	643
%	14%	31.3%	16.6%	12.3%	23.5%	2.3%	100%

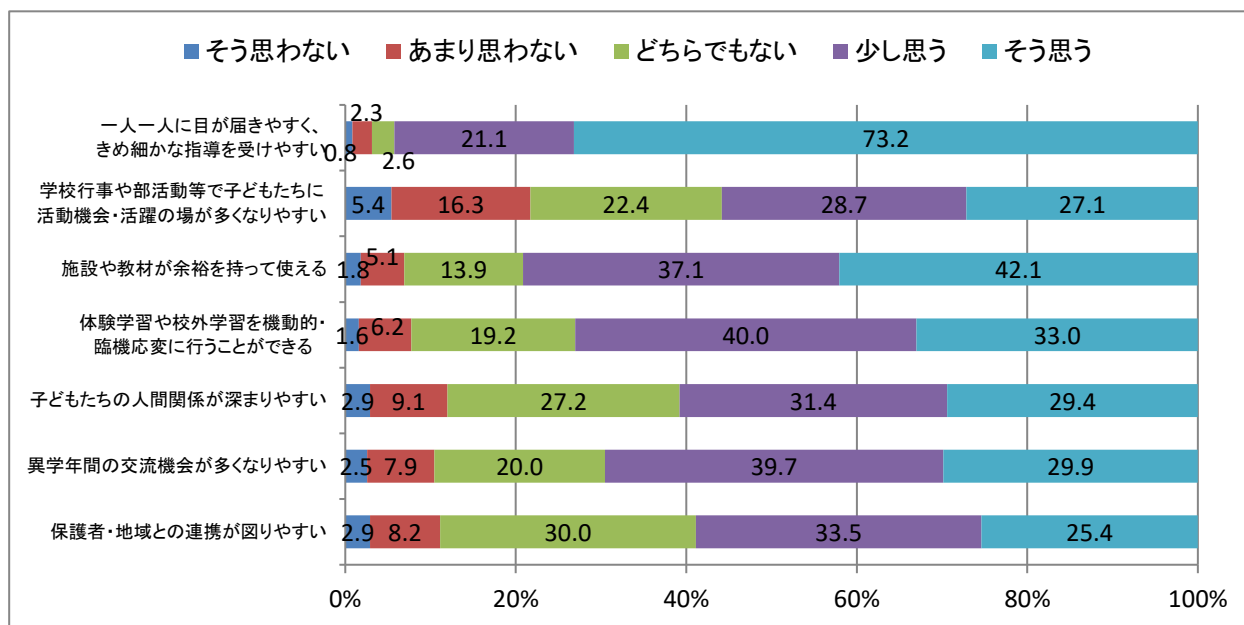


●中学校「4～6学級」または「7学級以上」を望む一番大きな理由は、【多様な考え方に触れる機会や切磋琢磨する機会が多くなる】で31.3%、次に【社会性、協調性、コミュニケーション能力を育むことができる】で23.5%となっています。

問9：1学年あたりの学級数が少ない、または1学級あたりの人数の少ない小規模な学校のメリット・デメリットについて、あなたのお考えをお聞かせください。  
 (項目ごとにあなたの考えに近いもの1つに○)

【メリット】

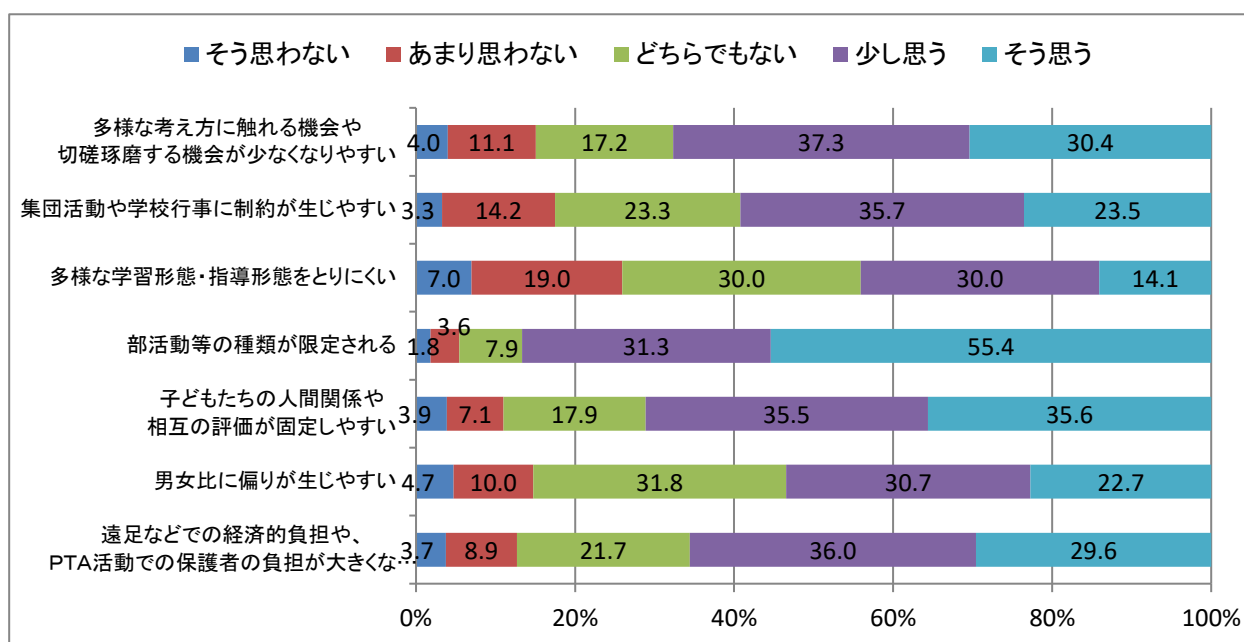
メリット		そう思わない	あまり思わない	どちらでもない	少し思う	そう思う	総計
一人一人に目が届きやすく、きめ細かな指導を受けやすい	回答数	7	19	22	176	611	835
	%	0.8%	2.3%	2.6%	21.1%	73.2%	100%
学校行事や部活動等で子どもたちに活動機会・活躍の場が多くなりやすい	回答数	45	135	186	238	225	829
	%	5.4%	16.3%	22.4%	28.7%	27.1%	100%
施設や教材が余裕を持って使える	回答数	15	42	115	306	347	825
	%	1.8%	5.1%	13.9%	37.1%	42.1%	100%
体験学習や校外学習を機動的・臨機応変に行うことができる	回答数	13	51	159	331	273	827
	%	1.6%	6.2%	19.2%	40%	33%	100%
子どもたちの人間関係が深まりやすい	回答数	24	75	225	259	243	826
	%	2.9%	9.1%	27.2%	31.4%	29.4%	100%
異学年間の交流機会が多くなりやすい	回答数	21	65	165	327	246	824
	%	2.5%	7.9%	20%	39.7%	29.9%	100%
保護者・地域との連携が図りやすい	回答数	24	68	248	277	210	827
	%	2.9%	8.2%	30%	33.5%	25.4%	100%



●小規模な学校のメリットについては、全ての項目に対して、【そう思う】・【少し思う】を合わせた回答が過半数を超えており、メリットとして認識されている結果となっています。  
 特に【一人一人に目が届きやすく、きめ細かな指導を受けやすい】は、94.3%となっており、【そう思う】のみの割合も最も高くなっていることから、最大のメリットと感じている結果となっています。

## 【デメリット】

デメリット		そう思わない	あまり思わない	どちらでもない	少し思う	そう思う	総計
多様な考え方に触れる機会や切磋琢磨する機会が少なくなりやすい	回答数	33	92	143	309	252	829
	%	4%	11.1%	17.2%	37.3%	30.4%	100%
集団活動や学校行事に制約が生じやすい	回答数	27	117	192	294	194	824
	%	3.3%	14.2%	23.3%	35.7%	23.5%	100%
多様な学習形態・指導形態をとりにくい	回答数	57	155	245	245	115	817
	%	7%	19%	30%	30%	14.1%	100%
部活動等の種類が限定される	回答数	15	30	65	258	457	825
	%	1.8%	3.6%	7.9%	31.3%	55.4%	100%
子どもたちの人間関係や相互の評価が固定しやすい	回答数	32	59	148	294	295	828
	%	3.9%	7.1%	17.9%	35.5%	35.6%	100%
男女比に偏りが生じやすい	回答数	39	83	263	254	188	827
	%	4.7%	10%	31.8%	30.7%	22.7%	100%
遠足などでの経済的負担や、PTA活動での保護者の負担が大きくなりやすい	回答数	31	74	180	298	245	828
	%	3.7%	8.9%	21.7%	36%	29.6%	100%

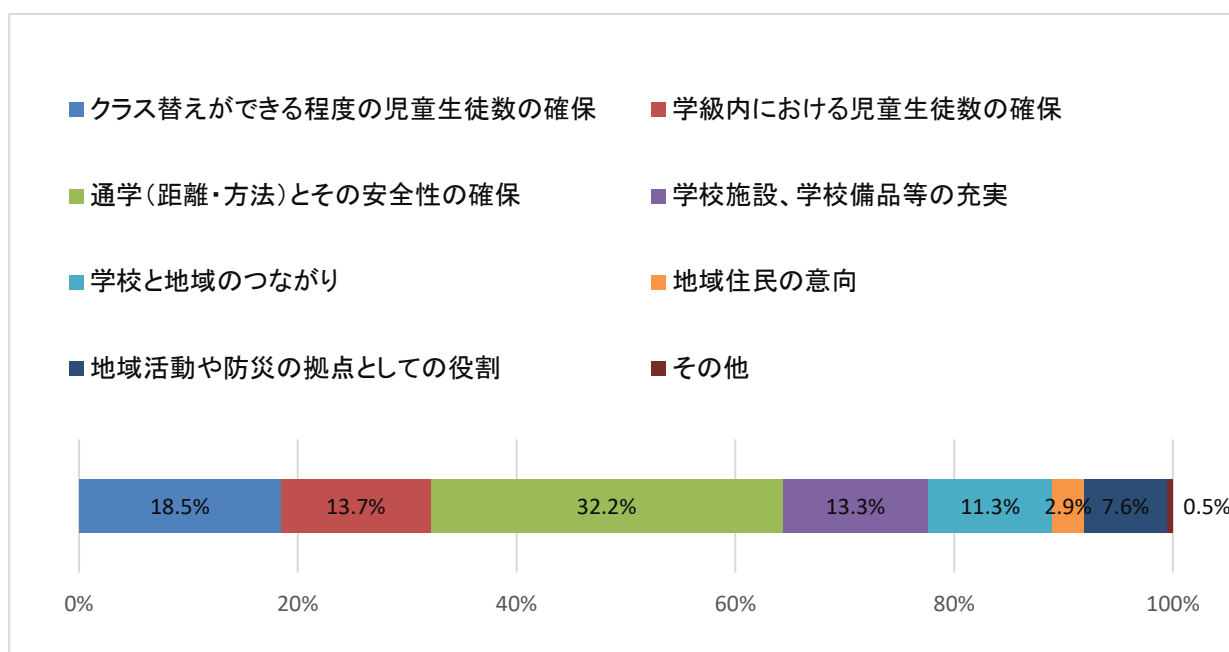


●小規模な学校のデメリットについては、【多様な学習形態・指導形態をとりにくい】の項目を除き、【そう思う】・【少し思う】を合わせた回答が過半数を超えており、デメリットとして認識されている結果となっています。

特に、【そう思う】・【少し思う】を合わせた回答割合から、【部活動等の種類が限定される】、【子どもたちの人間関係や相互の評価が固定しやすい】、【多様な考え方に触れる機会や切磋琢磨する機会が少なくなりやすい】などをデメリットと感じている町民が多い結果となっています。

問 10：学校の適正な規模や配置を検討するにあたり、特に配慮すべきことは何ですか？（3つ以内に○）

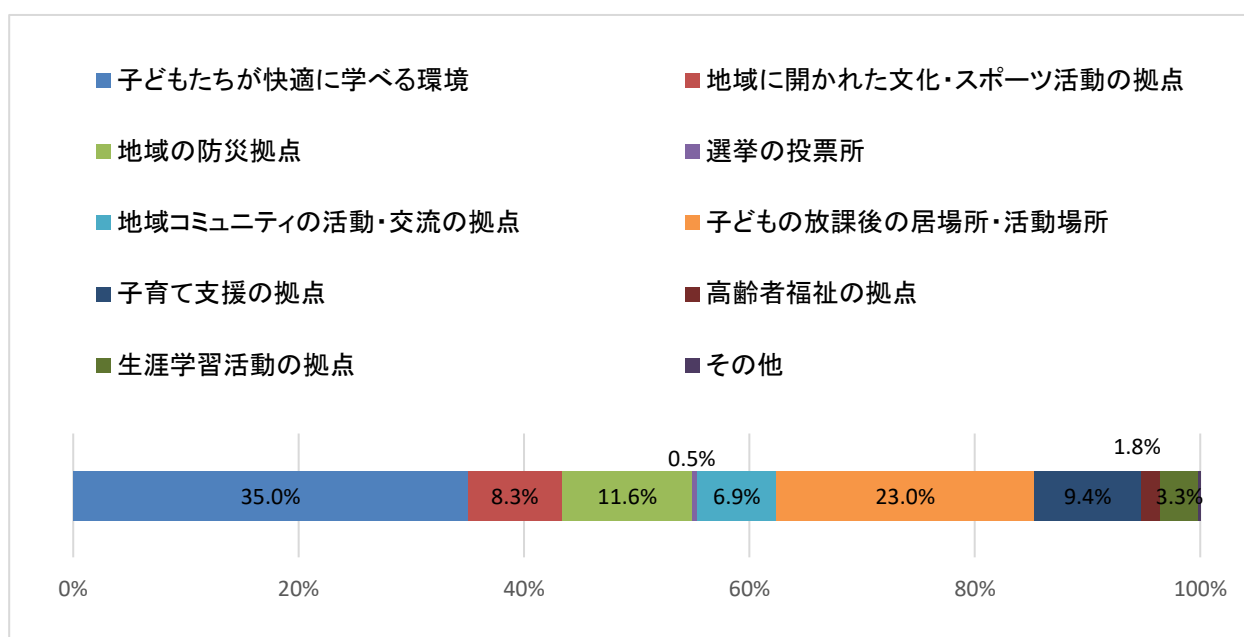
	クラス替えができる程度の児童生徒数の確保	学級内における児童生徒数の確保	通学（距離・方法）とその安全性の確保	学校施設、学校備品等の充実	学校と地域のつながり	地域住民の意向	地域活動や防災の拠点としての役割	その他	総計
回答数	412	305	717	297	252	65	169	12	2,229
%	18.5%	13.7%	32.2%	13.3%	11.3%	2.9%	7.6%	0.5%	100%



●学校の適正な規模や配置を検討するにあたって特に配慮すべきことは【通学（距離・方法）とその安全性の確保】の項目が最も高く32.2%となっています。次に【クラス替えができる程度の児童生徒数の確保】(18.5%)、【学級内における児童生徒数の確保】(13.7%)、【学校施設、学校備品等の充実】(13.3%)と続いています。

問 11：今後、地域において学校に期待される役割や機能のうち、特に重要なものは何ですか？（3つ以内に○）

	子どもたちが快適に学べる環境	地域に開かれた文化・スポーツ活動の拠点	地域の防災拠点	選挙の投票所	地域コミュニティの活動・交流の拠点	子どもの放課後の居場所・活動場所	子育て支援の拠点	高齢者福祉の拠点	生涯学習活動の拠点	その他	総計
回答数	769	183	255	10	152	504	207	39	73	4	2,196
%	35.0%	8.3%	11.6%	0.5%	6.9%	23.0%	9.4%	1.8%	3.3%	0.2%	100%



●地域において学校に期待される役割や機能のうち特に重要なことは、【子どもたちが快適に学べる環境】と回答した割合が最も高く 35.0%となっており、次に【子どもの放課後の居場所・活動場所保】が 23.0%となっています。

問 12：学校の適正な規模や配置の検討に関してご意見があればお聞かせください。

(自由記述欄)

189 名分 (原文ママ)

1	子供の人数が減っていても、これ以上学校は減らさないでほしいです。また、部活動の種類もとっても重要です。子供達がやりたいと思ったことをできなくされては困ります。また、学校はみんなが通しやすい場所にあるべきだと思います。
2	今後統廃合は止むをえない流れとなっていくかもしれないが、その際は通学バスの確保等子供の安全を考慮してほしい。また、他市等と比べ子育て政策で劣る部分があると実感しているため、学校問題としてではなく町の政策としても見直してほしい。(子育て世代が住みたい町となれば児童の減少傾向も緩やかになると思われるため)
3	人口減少が影響して子どもたちも一部の地域を除いて減少傾向になると思います。学級35人程度を基準に5年又は10年毎に見直しをしてもらいたい。特に高根沢町は市街化地域と調整地域に区別されているので、調整区域の学校は益々減少するでしょう。地域のシンボルである学校が無くなるのは寂しいがやむを得ません。
4	少子化が進む中、この様な検討も大切な事と思います。しかしこの事以上に、子どもたちと向き合う教員の質の向上を願います。
5	検定の試験会場になってほしい。
6	子供達の教育は重要であります。規模、配置等もありますが、教育等の内容も検討していただきたい。
7	統廃合する事にならなくても、登下校時の安全確保に向けスクールバスをご検討いただけると助かります。高齢化社会では自動車操作がしやすい方が増えますが公共交通機関が少ない土地なので、車を手放せない方も多いと思います。
8	高齢者が低学年とふれ合い。保育園児童と高学年とふれ合い活動。中学生が惜しまれつつある文化交流(例、しめ縄等)。食に対する注視(手作り味噌、豆腐、たくあん等)
9	私は茂木町出身です。茂木町は過疎がすすみ、人口が減少しています。私の卒業した小学校も廃校になり、小学校が統合されました。高根沢も出生が減り児童生徒数が減少しつつあるなら、統合などの案もありだと思います。
10	宝積寺駅周辺の道がせまく、通学が危険なうえ、災害時の移動に不安がある。道路インフラの整備、開かずの踏切対策も必要に感じる。
11	・家の近く(徒歩20分くらいまで)のところに小・中学校があるのが理想です。それより遠くなる地域にはスクールバスを配備してほしいです。 ・家の近くに阿久津中があります。朝、晩、中学生が自転車で通学しているのがすごくあぶないです。道もせまく住宅街なので車もそれなりに通ります。スクールバスなどは考えてないのでしょうか？(関係ないことで失礼をしました)
12	もちろん学校を運営する上で多大な費用がかかるため、1学年2～3学級程度の規模はあるといいと思う。しかし、これから統合等で近くの学校に通えなくなることで、保護者の送迎等の負担が増えることなどを続けることなどが難しくなるため、統合するのであれば子ども達の居場所の確保などをしっかりと検討していただきたい。また検討委員に町長が入っていないことを疑問に思う。学校を統廃合することより、小規模校周辺に子育て世代を呼び込む努力をしてほしいと考える。子育てに力を入れる町を実現するのであれば、徒歩で通える範囲に学校はあるべきだと思う。
13	同じ町内に設置されていながらも、学校同士の交流の機会はあるのでしょうか？小中校間だけでなく町内においてお互いの学校を訪問したり、合同で行事を行うなど人数が減る中だからこそ広がるものもあると思います。
14	あまり人とかかわりがなくなってきているので小規模でない方がいいと思う。1クラス20人くらいで3クラスくらいがちょうどいいと思う。
15	小学校は、現状で良いと思います。中学校は一校で統合すべきだと思います。
16	子供たちの意見が十分に取り入れられるような学校づくりをしてほしい。(気持ちの尊重など)
17	特に小学生の場合の通学方法で、スクールバス利用はある程度遠距離の場合はやむを得ないが、あまりにも遠距離になる場合、通学だけで疲れてしまうこともあると思われます。統廃合の場合の通学距離について配慮していただきたい。
18	部活動の自由な選択や充実した活動をさせてあげたい。PTA役員や保護者会の親の負担を減らしてほしい。

19	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適正な規模や配置により、小規模校の教諭の校務分掌の軽減につながり、そのことが児童、生徒との貴重な時間を作ることが出来ると思います。</li> <li>・町内の学校の削減が目的ではありません。適正規模により、教育費に対する経費が平等に各校に配分され、利用されることが望まれることと考えます。</li> </ul>
20	このアンケート調査を実施することによる効果、意味、意義について疑問を感じます。学校教育に対し、素人であると思われる2000人の町民の選択回答において得られるものは、ただの町民統計であり、そこには無責任な回答も多数含まれると推測されます。正直に申しまして効果は薄いかと。様々な意見から新たな発見を見出す・・・というのであれば意味もあるかと思いますが、それならば選択回答よりも記述式が理想です。また、我が家の様に子ども達が中学校を卒業してしまうと、真剣に回答しないケースも考えられます。もうすでに実施しているとは思いますが、全国の統廃合を経験された先生や保護者の御意見を優先的に参考にすることが望ましいと考えます。
21	適正な規模や配置も大切ですが、それにあう先生やスクールカウンセリングの体制の充実を求めます。人数多い少ないはいいん悪い点もありますが、様々な経験を教える、伝えるフォローできるバックグラウンドをきちんと整備して下さい。先生たちのケアももちろん
22	町内の小中学校に規ポの差(生徒数)が大きく感じるので、通学方法などの確保ができれば、町内交換留学的な他校体験などできると楽しいと思います。
23	今後、生徒数の減少がさらに進むと予想され、子供の教育環境を考えれば、学校の適正な規模は必要だと思う。
24	学校の規模や配置、統廃合を検討する前に高根沢町の在り方を検討する事が先決だと考えます。宝積寺周辺の開発に重点を置くのではなく、上高根沢の調整区域の見直しを図り、LRT終点駅を踏まえた開発を行うことにより町の人口が増え、上高根沢小学校も児童数が増え、町の活性化に繋がると考えます。2000人中の1人の意見ですが、これからの町を考えて書かせて頂きました。是非反映していただければ幸いです。
25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童数が少ない地区で統合できないか？(別の学校と)</li> <li>・通学距離が遠い場合はバスでの送迎により安全対策とする。</li> </ul>
26	1クラス20名ぐらいで生徒にとっても先生にとってもコミュニケーションがとれて目のとどくはんいで先生と生徒の関係が充実かつ信頼がとれると思います。
27	学校の適正な規模とはなんでしょう。子供達にとっては、人数が多い少ないはどうでもよいことで、関係ないように思います。行きたくなるような学校の環境、学校生活の充実、通学の安全、学びやすさなどが優先と思います。
28	法令にとらわれすぎず、子ども達の事、地域に合っている事、聞く耳を持ち実行出来る事が必要と思います
29	安全な通学路
30	学力別のクラス、学区外のオンライン専用集団活動、スポーツに特化したクラス個性的芸術的クラス全員同じ学校じゃなく、将来を見据えた配慮ある所が有るといいと思う。自分の長男は小六で中学の数学公文で終了していたので授業がつまなくわからない子に合わせるのがしんどかったみたいで中学は宇短附にしました。中学の同級生も英検1級持っている子と同じ授業との差がありすぎて出来るクラス別があって、長所はのび出来ない英語頑張って学年1位になったりやりがいがあり生々していました。
31	「子供は将来の自分と思い」地域で育てて行かないと思います。教員の目が届く人数は20人位(一クラス)と思います。子供の個性を把握し、その子供に適応した指導が出来るのがこの人数とされます。子供は生まれも境遇も違いますから集団生活の大切さを教えながら、個人を尊重し指導して行くことが必要と考えます。
32	特に小学校は、通学時の安全性が求められると思う。一学級の人数や学級数の確保のために、小学校の合併なども今後あるかもしれない。その時に、公立の小学校でもスクールバスを運行することや、放課後児童クラブの預かり時間を延ばす(働いている親が無理なく迎えに来れる)などの対応が必要だと思う。
33	過小規模校は無くすべきと思う。
34	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人数の少ない小学校は統合すべき！</li> <li>・東小、上高小、北小、中央小など ・中央小と西小など</li> <li>①東小・上高小・北小、②東小・上高小、③北小・中央小、④東小・上高・北小・中央小、⑤中央、西小、⑥中央、西小、阿久津</li> </ul>
35	地域住民の希望が叶い、学生は安全に通学が出来、親は安心して働くことが出来る様にしなければならない。

36	私には3人の子供がいます。上の2人は2学級でクラス替えがありそれなりに楽しんでいましたが、3人目の子は1クラスで1年から6年まで同じ顔ぶれで誰が何が得意だとかすべてわかりきっていました。できれば25人前後で2クラス以上はほしいですね。ただ、それよりもまず、人口を増やすことを考えた方が良いのでは？農振地域が多いこともあり、他からの転入がむずかしく人口は減る一方です。若者はみなゆいの杜などへ行ってしまいますから・・・
37	子どもたちが主体の規模、配置であってほしいと思います。卒業した後も、楽しい思い出となるような学校であれば、今の時代の学校の目的をかなえているのではないのでしょうか。子どもが少ないからこそ、1人1人をよく見て、ていねいに育てることのできる規模、配置が何より優先していただきたいです。
38	1学級30人程度が、理想と私は思いますが、子供が減っているからこの様なアンケートをしないといけない、町の少子化対策が見えてこない。近隣のさくら市、宇都宮市が子供を生み育てる環境が良く見える。子供を育てる魅力が高根沢町にはないと思います。子供が増えれば、規模を増し、小・中学校の開校も考えれば良い事
39	災害時の地域の人のひなん場所としてのせつびをもっと整えてほしい。
40	農村地域(北中)、と街地域(阿中)との人数の差が多くなり、バランスが悪いと思う。中央小に通っていた小学生は(石末、赤堀、大谷、柳林)北中に通った方がよいのでは？と考えます
41	阿小学区や西小学区はどんどん人口が増え学校も”適性規模校”となっているが、それ以外の地域は”市外化調整区域”等で、新しい人口が増えるということが少ない。農業を守ることも大事なことだとは思いますが、人口を(特に若い世代を)増やす工夫が必要だと思う。両立できる方法もあると思います。人を集めるために、魅力的な町づくりをしてほしいです。
42	今後生徒数の減少で、学校が棟配合などで減少すれば通学に支障が出る生徒が現れる為、スクールバスの導入。災害が学校生活の中で迅速に対応出来るように何らかの医療機関が最寄に有れば良いと思われる。
43	当アンケートは町立小中学校の削減をどのように合意させるかが本質であり、きわめて無駄なものである。義務教育を担う行政サービスなのであるから、国から予算を確保し町内の少子化が進もうとも、学校施設の維持及び質の確保をすべきである。言葉遊びしかできない教育委員会など不要であり、浅学な委員は今一度、出直して勉強すべきである。
44	過疎、過密地域の差が大きいので、地域事情にあった学区の再編等も考えるべき。通学の安全性にしても、交通量も考えれば、無理して線路横断しなくても、坂道のぼらなくても良いと思う。
45	私たちの地域では、農業用地が占める割合が多く、新しい住宅が増える可能性は非常に低く、それに伴い子供の増加も期待がもてない状況です。また、当地域にマニーという新しい仕事の場も増えることから、それらの人を活用して行ってほしいと感じています。
46	子供たちにとって、先生から受ける影響は極めて大きい。多くの先生の多様な考えに接する機会を確保して欲しい。
47	通学のタクシー利用について。通学のタクシー利用が一部許可されていますが、農村地域の一軒家であっても距離指定外で利用できない地域があります。小学生の単独(一人)での通学は非常に不安ですので、タクシー利用の基準を広げて欲しいと思います。
48	私自身、過小規模校の出身で、小学校2年生から複式学級でした。そのため、全校生徒名前が分かり、学年関係なく仲が良かったです。先生も子どもに目が届き、先生と児童の距離が近かったです。みんなの個性がつぶされずにのびのびと育ったので、少ない人数の学校にとっても好感を持っています。個人的な意見ですが、大規模校よりも小規模校が多いほうが、いいと思いました。
49	良い面悪い面を考慮しながら柔軟に対応していただければと思います。
50	通常の学校に慣れぬ、適応できない児童、生徒に対する受け入れ校の設置。
51	地域性や格差がないようにと思います。また、中学校入学後少人数だった小学校卒業の子が、かたみの狭い思いをする事がないようにと思います。
52	自然豊かな町という事を活かし、子ども達のがのびのびと学べる環境作りや少ない人数だからこそ、他人とのコミュニケーションがとりやすいと思う。
53	デジタルツールによる子供のつながりをもっとつくってあげれば規模はあまり関係ない気がする。もっとグローバルに関係性をつくれる環境を作る必要がある。メリットデメリットはあるだろうが、ある程度の枠で。日本は地域の結びつきにこだわりすぎて世界との関わりを忘れていている気がする。小さいころから外国の人とふれればもっと大きな視点で考えられるのでは？
54	・子どもの学ぶ環境と、地域の防災拠点としての役割は別に考える方がよいのではないか？ ・小学校は通学バスが運行されているので、多少通学範囲が広がっても問題はないと思う。



	・学校をまとめることによって1つの学校の施設や備品が充実させることが出来るのではないかと思う。
55	最近、意味の分からない校則を作る学校が多い。大人ではなく、子供の立場に立った校則作りをしてほしい。子供のイジメや両親へのイジメがあると聞いた。もっと親も子も他の家庭とつながれるようにすると思う。
56	本町の児童生徒数の推移と将来推計からすると、学校の小規模化はさらに進むことは避けられない。そのため学校の統廃合があってもおかしくないように思えます。しかしだからと言って、学校の標準規模にとられる必要はないと思います。子どもにとっての望ましい環境や地域の事情を考慮し本町独自の教育環境整備を望みます。
57	・規模や配置以前の問題で、親の働く場所がないこと、住める土地がないこと、進学可能な高等学校等がないことなどが挙げられるかと思えます。 ・仕事、家、進学先を求めて、児童と共に引越してしてしまうのではないのでしょうか ・規模は一学年三クラス以上、配置はスクールバス等で解決可能なのではないかと考えます。 ・無理に学校を学校として使わなくてもよいのではないかと感じます。(避難所として充実させる、生涯学習の拠点として活用、フリースクールの場など)
58	・校内の環境づくり強化(学校離れ減少対策)・先生方の力量強化(授業内容、食指導外)・保護者との地域参加の企画充実強化
59	私は、少人数のクラスで学びましたがクラス内全員と今でも仲良く出来ています。少ない人数だからこそその人を助ける心や協力する心が持てるのではないかと思えます。その中で学校の設備を最新にしていけることが課題になっていくのではないかと思えます。町内学校の益々のご活躍をお祈り申し上げます。
60	・子供の負担を減らす・複数クラスの確保
61	担任の先生1人で、何人の子どもを見てられるか、ということを考えるべきだと思います。それに合わせてたクラス数、クラスあたりの生徒数にすればよいと。それで、クラスあたりの人数が少なすぎるなら、2クラス合同でイベント等は行うと、それはそれで楽しいと思います。子供が孤独を感じない学校であってほしいと、昨今の事件等を見て思います。
62	小学生だった大昔、母校の同級生は19名で町内では極小校。他校生に比べ、全体行動(整列方法他)で統制されずに劣等感があつた。学力面では劣ってはいなかった。適正規模については少人数が必ずしも”良くない”とは思わないが1クラス2、30人いた方が義務教育時代には良いのではと思います。
63	昔からあつた阿久津小学校は失くさないでほしい。一校だけにしぼるのであれば、ぜったい阿久津小学校が良い
64	学年学級にこだわらず、スポーツ、音楽等は別に考えても良いかも。特に小規模校。
65	スクールバス等の経費がかかるかも知れないが、町内においてはもっと学校を集約すべきと思う。現状部活もままならずさびしいかぎりである
66	四階建て
67	希望は小規模であっても大字に1校は存続させていただきたい。
68	ここ数年コロナの影響で行動が制限され、子供達の心に大きなストレスとなっています。学校の統廃合は子供達の日常を大きく変えるものなので、そこから大きなストレスをしいることになってしまいます。教育環境をより良くする事は大切ですが、子供たちの心に過度な負担となってしまわぬために、せめてコロナからおちつきをとり戻した後にご検討いただけたらと思いました。
69	80才以上の老婦です。若い人の意見を聞いて下さい
70	高根沢町が魅力のある町で、子育て世代が住みやすい町になってもらえるような努力が必要だと思う
71	教育活動が充実できるような統廃合は今後必要になってくるのではないかと思えます。そのため長期的な視点で検討し、教育の充実を希望します。県内で小中の統廃合の行われた地域があるので、それらを参考にしていくのも方法かと思えます(茂木町など)
72	各学年がクラス替えできるよう学年2クラス以上の規模で学んでほしい
73	将来の児童、生徒数を確保する為に、出産、育児に関する支援や手当を充実した町づくりをしていただけるとよいかと思えます。
74	まずは、子供の学習、クラブ活動の充実が優先だと考える。次に、子供のコミュニケーションに偏りが出ない人数配分(極端に少ないクラスは避ける)。そして、その子供の安全が確保できる移動方法が大切だと考える。
75	子供達の大切な時を充実した時期を大切にしたい

76	子どもが快適に、多様な教育を受けれるようにする。
77	人数や学級数は関係なく先生方や大人が子供達を1番に考え団結して協力して子供達等の為に愛情をもって接すれば楽しい学校生活を過ごせると思います。
78	学区で縛らずに学校を自由選択出来るが良い。
79	子ども減の表を見て、子どもの減少は充分考えられます。これは全国的な傾向でしょうか。何か手を打ち減少を止め子供の教育が地元で住民に見守られて成長できる環境を作ってほしい。減少＝統合、合理化と考えず、この町は宇都宮、首都圏その人達のベットタウンとして、「子育てするなら高根沢」をめざし人口増、住み良い町づくりの実現に取り組んでほしい。そして、町執行体制の徹底改革をはかり財源の確保が必要あると思います。
80	・1クラスあたりの人数が少ないのは、先生の目が行き届きやすく、何か問題(いじめなど)があった時に気づきやすいので良いと思う。 ・統廃合は子供の人数の減少に伴い仕方ないことだとは思いますが、それにより今まであった施設を大人数で使用することになり、勉強の妨げになるなどの不都合が生じないようにしてほしい。
81	統廃合を進めて、集中的に教員・施設の充実を図ったほうがよいと思う。分散していると、教員の負担・費用がかかり、結果どの校も、人・物ともに逼迫するのでは。学ぶ環境が低下する。通学と放課後が課題でしょうが、地域ごとに状況が異なるので、対応が難しいと思いますが、こちらを解決する方が、子どもたちにとっては良いと思う。
82	過小規模校出身で、非常に固定的な人間関係の中で育ったため、多様な考え方に触れる機会を増やす事は非常に重要だと考えています。過小規模でも外部からの講演会の機会を設ける等すれば、デメリットの改善も可能かと思いました。
83	1学年2クラス以上が良いのではないかと思います。活動の場も広がり、多くの友人との交わりで自分の考えも修正できる利点もあるかと思われます。
84	1学年1学級くらいの少人数の方が子供たちの仲が深まり、先生も一人一人により目が届きやすくなると思います。上高根沢小学校に入学予定なので、楽しみにしています。
85	大規模校が正義とは言えない。小規模でありながらも、他校や地域とのコミュニケーションにより学びはスケールアップ出来ると思う。将来的にも少子高齢は必然となるが、防災拠点やコミュニティの核となる為、無くす事は簡単であるが、次の代の為にも維持していく方向が望ましい。
86	小規模での小学校で個性を育み、中学校でより多くの友達とふれ合い、コミュニケーションや多様な考え方に触れる、切磋琢磨するなど、STEPで考えて規模や配置を検討していければと思います。
87	宇都宮の大規模校(小中とも)だったので小規模校が良い。現在の町内の配置の距離等からみて現状のままで良いのではないですか。
88	子供が少なくなっている現在、安全通学ができる環境であれば多少遠くてもいいのではないかと(バス利用とか)
89	学校において授業中、休み時間でも先生と生徒の会話が少ない様に思います(昔の事ですが、私が小学生の頃は、よく先生と世間や遊びを一緒にしたものでした)
90	地域の住民の家の数等を考えて、あまり遠くから通わなくても良いように、地域の中央に学校が位地するように、建ててほしいです。中学校など通学が遠くて大変な人もいますから。交通事故など(通学時に)おこらない様な安全な場所に。
91	高根沢町内の学区を無くし各学校の特色を造り、子供達が自由に学んだり活動出来る教育を目指してほしい。
92	「学校の適正な規模や配置の検討」もそうだが、先生の質の向上を望みます。
93	地域に開かれた施設として、その学校に通学生がいる、いないに関らないオープンな場所。やがて学校生になる年齢の子供達、既に卒業した子供達が、そこに行くことで出発できたり、こういう学校生になるんだなというような夢やあこがれを持ってもらえるようなところになるといいなと思います。大人も通えるように図書室を大きく作って蔵書を増やすといいと思います。
94	・子供が安心、安全に登下校出来る環境作りをしてもらいたい ・20年、30年後を見据えて、適正な規模を考えていって欲しいです。
95	児童生徒数減少に伴い、少人数だからこそできる1人1人の持ち味、個性を伸ばす事ができるような指導をしていただく事を期待しています。

96	学校の適正な運営は大切だが、根本は子どもたちが学べる環境を整える事が重要。特に通学を含めた安全性が大切です。また、今回のアンケートは児童数減による学校運営から出されていると思うが、根本は少子化対策であり、近年住民数が増加し少子化対策に成果を上げている自治体も報道されている。取り入れる部分も多くあると思う。区画整理などの公共事業に目を向けるより、福利厚生を充実させ住みやすい町を目指すべきと考える。
97	児童数が少ないと、予算ももらえない等の不平等が発生しないようにして欲しい。備品や校外学習などの充実も必要と思います。また、特色のある学校作りも期待したいです。
98	あまり人数が少ないと競争相手が少ないと、能力が伸びないのでは。やはり、競争心がないと…。地域内の学校の方が、友達もでき、何かとメリットがある様に思う。
99	子供たちが、小中学生の頃は、20年以上も前になりますので、あまりお役に立てないと思います。申し訳ありません。
100	小学校の規模が小さい校がありますが、子どもたちの通学を考えると、合併はきびしいと思います。高根沢町の少子化が、こんなに進んでいるとはおどろきました。
101	学区内の子どもの人数によるが、教員1人が何人であれば負担が軽いと思うのか、適正人数を以て学級編制をした方が良いと思う。(教員の数にもよると思うが)
102	友達は一生の財産です。どんなにお金をかけても得られるものではありません。クラス替えができる程度の児童生徒数は必要だと思います。保護者のPTA活動での負担の面でもその様に思います。
103	子供の数が減少し、学校そのものの存続が不可能で有れば統合するしかないと思います。スクールバスの運行の方が教員を多数かかえるよりは、経費も少なくてすむと思います。パソコン、タブレット等の専門職員を充実させ、教員の質の向上を望みます。
104	地域のこどもの数を増やすべく大胆な町の運営をお願い致します。
105	小学校は小規模でもかまわないと思うが中学校はこれから大人になって社会に出ることを考えると学級数が多い生徒数が多い方がいいいろんな考えをもった人との関わりがもてていいと思う。部活や学校行事等の団体行動も必要と考える。大人になってしまうと経験できないことを学生の時に経験してほしい。家庭での学習もだいたいが勉強に関してはテストで成績が出るので生徒数が少ない多いにかかわらず弱いところを補習してほしいと思う。子どもの数が減って学校の統合も必要に迫られることもあると思うがのびのびと学べる場所であってほしい。
106	小規模な学校出身ですが、保護者(親)と一緒に様々な活動や経験が出来たのでとても楽しかったです。児童の人数が少なく、担任の目も行き届いており、当時クラス内のイジメ等の問題もすぐに発見して頂き、とても助けられました。自分の出身学校は、今後も同じ場所でこれからも地域の子育て支援、子どもが学習する場として残り続けてほしいです。
107	私は教育者では有りません。先生の力を延ばす力を信じ立派な教育者を育てて下さい。
108	学年3人～10人ほどしかいない僻地で育ちましたが、一人一人にきちんと向き合ってくれようような教師はいませんでした。自己中心的で世の中を知らずに育ってしまったので、子供の頃は出来るだけ多くの人と関わり多様な考え方に触れる機会があった方が良くと思います。※「人数が少ないからみんな仲が良い」はありえません。少人数でもイジメ、いやがらせはありました。教師からも。
109	・問7-1/8-1に関し、一人一人にきめ細かな指導ができるのは、学級数よりも一学級あたりの人数に左右されるのではないか。 ・また、児童・生徒数だけでなく、十分な教員数の確保も重要ではないか。
110	どんな場所でも、子どもたちの学校なので、それを第一に考えてほしい。勉強などの学習だけでなく、社会性を見につけていく大切な場所であることを忘れず、地域の大切な子どもたちとして考えてくれるのが一番。国の配置基準がすべてではないと思う。
111	登下校時の並列を徹底し事故のないよう教育をしてほしい(運転者として)
112	適正な規模や配置の前に地域として高根沢町として魅力ある町としてどうあるべきか。人口減少の歯止めを楔を打つ具体的「策」を検討するのが先の様に思われます。
113	いじめ等の根絶を最優先に考えてほしい。
114	私は50数年前に桑窪小学校(20名)を卒業し、北高根沢中学校6クラス(40～43名)に入学という経緯ですが、平均しても1クラス3名程でとても心細く感じた事を記憶しております。時代と流れとはいえ、配慮して頂けたらと思います。
115	登校拒否等の増加が考えられるので、学ぶ環境に変化対応出来ることが大事。又、親の教育も必要なこともあり、PTAの充実がPointではないと思います。

116	・集団生活を学ばせる上でも児童生徒数の確保は大切だと思います。 ・ただ新しい考え方や仕組み等が今の時代にマッチするならどんどん取り入れてもらいたいです。(学校同士の交流を多めに取り入れるとか)
117	子供達が安全に通学できるよう、また楽しく学べるようもっと地域の中の連携やイベントを増やして交流を深めたいと思っています。
118	このアンケートは行政が答を持つある提案のうらづけになる為のものかと考えます。よい方向をモサクすることはとてもこんなんであり、さらに決断はむずかしいと思います。未来の高根沢のいくすえが良いものになることをキタイします。
119	地域により生徒の数に差が出ているので何とかしてほしい。例えば農地が余っているのだから市街化調整区域にも住宅を建てられるよう町であっせんしてほしい。
120	「ここから〇〇小学校へ通学？」と思った事があります。学区の分け方も再考してもよいのでは・・・と思います。
121	土・日・祝日等に、地域の住民が利用出来る仕組みが出来たら良いと思います。(地域住民の手で責任を持って行える仕組み)
122	財政面を考えて配置することは当然考えることが必要であると思いますし、ただ「地域性」も大切に検討をしていただければと思います。
123	いまのままで良いと思う
124	問10の①クラス替えがないと、イジメられる児童と、イジめる児童がずっと一緒だから。 問10の⑧学区外の児童の保護者の学校、PTA等の役員に含んでほしい。学区外だから、学年秀長や、PTA等の役員を、地域外でわからないからできないとか、なくしてほしい。 ※学区内、学区外を問わず、平等に保護者の方には協力が必要。特に学区外からの保護者は、役員とか積極的に参加してほしいです。
125	この町に生まれ、保育園、小、中学校を過ごし今にいたっています。小、中学校の生活では、良い思い出はありません。小学校低学年の時は宿題を忘れたからと言って、残され教室で午後6時ごろ(秋のころ)までいましたが、先生は一度も見に来なかったです。家族の者が迎えに来て分かったのです。1年から6年まで、クラスではいつもいじめられっこでした。体が小さく、性格はおとなしい子だったと思います。運動は好きではなく、本を読むことだけが楽しみでした。クラスで読書カードを出しながら、昼休み図書室で過ごすことが日常でした。でも、係の先生がはカギをかけてしまいました。あまり本を読みすぎるからという理由でした。中学校の時は登校拒否で一週間入院(岡本の病院)したことがあります。あとで担任の先生に知らなかったと言われました。(でも私はこの町が好きです。頑張って生きていきます。)
126	地域の人口、小供の人口も減少するので適正規模の検討は必要です。調査だけに終わらず実行して下さい。
127	・1クラス40人規模だと快適に学べる環境とは言えない。授業中でもザワつきが多く集中できないと思います。 ・個人的に経験したことだととても周りに敏感な子だと30～40人規模のクラスは行きにくいと考えます。この時代の子供は不登校になり学校に行けない子が多いと聞いたことがあるため「不登校学級」等の個別で対応してもらえると学業も進みやすいと思います。
128	多くの学校を置くより、人数が少ない学校は統廃合を進めてもよいと思う
129	人数の少ない下4校は1つに(スクールバス)空いた学校は民泊等
130	人口動態から、統廃合は必要とおもわれる。趣旨が異なるか、町として人口を増やす取り組みも進めてほしい。
131	これから小学校に上がる子供(現在2才)がいる母です。少子化が進み、小学校、中学校の合併は仕方のない事だとは思いますが、もしそうなった場合の、子供たちの通学方法の安全確保をお願い致します(私の地元ではスクールバスがあります)
132	私は小学生の頃は、ずっと1クラスでした。生活するにあたり弊害を感じる事はありませんでした。友達は6年間かわらないのでいい意味でも悪い意味でも変化はなかったなと感じます。小規模でも悪いことばかりではなかったなと思います。
133	人数規模の違いにより経費効率などの問題はあるかと思いますが、学校教育に対する町の考え方がおかしくなければあまり規模のことは気にしなくても良いと思います(統廃合すれば良いと言う意図です)
134	校長等人事の適材適所
135	大人の都合ではなく、子どもたちの最善の利益と、そこで働き子どもたちと密接に関わる先生方が安心してお仕事のできる環境ができればと思います。(具体的な提案は出来ませんが・・・)実際に学校

	に関わる”現場”で混乱や負担でふりまわされないよう調整しながら行って欲しいです。”変わる”ことは大変ですが
136	統合することで、スクールバス等を利用せざるをえなくなり徒歩での通学が無くなることによる児童生徒の体力低下が心配です。PS 市外から転入しましたが、高根沢の子どもたちは見知らぬ大人にもあいさつをしてくれて、とても嬉しいです。
137	・通学路の整備をしっかりと行って頂き、子供達が安全に学校に行ける環境を作ってください。 ・子供達が学校に行くのが楽しみな環境を作ってください。
138	これを聞いて何になるの？と思いました。(このアンケート)それよりも子どもを産み育てたいと思える環境の整備をしてほしい。行きやすい公園がほしい。おむつ購入の補助がほしい。
139	高根沢町の場合、どうしても西小と阿小に人数が集中し、過疎地域の子供達のコミュニケーション能力や教育が伸び悩むのではないかと不安。学校の配置よりも、全部の学校が集まってできるイベント事などを設けると良いと思う。Webで開催するオンライン合同授業など。小学生のうちに他校の生徒の雰囲気や考え方に触れ、考えることで児童の成長に繋がると思う。それに多少配置を変えたところで、上高根沢小学校の児童数が大幅に増える事は、絶対ない。
140	私は、過小規模に該当する上高根沢小学校を卒業しました。当時、全生徒合わせまして100名を切っている状況でした。過小規模学校を卒業した者の立場から言えるメリットは少人数であることから、教師と生徒の関係性が築きやすく学問または部活動においても個別指導に近い環境で過ごせる事。その為、教師・生徒側においてもお互いに人権を尊重し合い尚且つ生徒側は、大人に対する態度を幼少期に学ぶ事ができそれらが良き人格形成に繋がると思います。度々ニュースに取り沙汰される教師と生徒の関係性が崩れた事例の様には、なりづらい傾向にあると思います。生徒同士でも同じ事が言えます。学年・年齢問わず交流する事で、思いやりの心を培ったりできます。適正規模校では、一学年の人数が多く他の学年との交流を取らなくても人間関係が成立する為、心の成長が遅れるのではないかと推測の域ですが、そう考えています。もちろん適正規模校にもメリットがあるのは事実です。多数の人間と接する機会のある適正規模校なら将来の糧になる情報が得られるチャンスが多いとも考えられる。ですが、小学校・中学校で将来の糧になる情報が得られても適正規模校の人数にあった考え方が生まれるとは限りません。むしろ考え方の違いが多くなり孤立する事が、小規模学校より多いとも考えられます。私の体験になります。冒頭でも記載しましたが小学校は小規模で敬う心を学び、中学校ではその事を活かし同学年と入学当初は交流を深めて参りましたが、部活動の入部が少々遅れた事が理由でいじめに発展しました。同じクラスの方達は、私を擁護してくださりましたがいじめを行っている当人の味方には、出身小学校が同じ先輩(部活動)が味方に付き、誰も巻き込みたくなかったので一人で抵抗しましたが、私の力では当人と言い争うのが精いっぱい抵抗でした。良き親であるが故に心配かけまいと相談できませんでした。精神的に辛くなり保健室登校や早退する日々が続きましたが支えてくれた友達がいました。それが小規模学校の仲間です。今現在でも交流があり、どうしたら高根沢町が良くなるか考えています。おこがましいですが…。関係のない話を長々と大変申し訳ありません。もう少しお付き合いを…。私には夢があります。それは高根沢町で起業して税金を納め従業員を高根沢町に誘致して家族を持って頂き、育った町に小さいながらも貢献したいと考えています。ボランティア活動の検討もしています。私も機会がありましたら、結婚して子供を授かり、子供の意見を尊重しますが、上高根沢小学校に通わせたいと考えています。以上の事から、小規模学校と過小規模学校の存続を希望します。誤字脱字ありましたら大変申し訳ありません。高根沢町に居住する子供達がいい町だと言える様になる事が願いです。お忙しい中、お読み頂き感謝します。極寒の候ではございますが、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。
141	コロナが身近になったこの世の中で、コロナが出た学校は、学年へいさやクラスへいさの措置しかとらないことに疑問をいただきます。子どもの接しよくはげんかひがあり、大丈夫だろうという少しゆるいはんだんなんだと思ってしまいます。本当に子どもの安全や家庭内感染をとめたいなら学年とかクラスだけでなく学校じたいを1回しめて落ちつくまで対応をしていただきたいと思います。家庭のはんだんでは働きたい人は学校をいかせて休める人は学校をいさせるなど子どもにとってもよくないし。1人が感染したらもつとじゅうだいに考えてほしいです。それができるのも町のはんだんだと思う。このごじせいにあった授業のやり方などをしっかり考えてほしいです。
142	一概に小規模とそうでない学校とどちらが良いかは言えないと思いますが、その子供に合った学校を自由に選べるような環境だといいなと思います。
143	学校の統廃合、クラス編成等はこれから先、致しかたないでしょう。統廃合となれば大半の登下校時の安全の保障、親子子供の送り迎えになります。スクールバスとなればそれも学校、家庭等々の負担になる訳です。何かを変える為にはお金が掛かるのです。教育は未来への投資です。教育は本当に大事な大切なものです。生きるヒント、手助けになる教育をお願い致します。お願いです。日本にはこの国の美しい影色をやさしく映す心に響く言葉で表す数々の愛唱歌が多く有ります。子供にはむつか

	しい文章を読み解いて心豊かな心の財産を、この国の美しい風影と、言葉を残してあげて下さい。的はずれな事を書いたようです。ごめんなさい。
144	子供達が安心して学べる環境を作って頂きたい。
145	私には子供がいないので、今の学校の有り様は分かりません。ただ、昔に比べ子供の数が少なかったり、親の所得に差があったりと、子供ながらに人間関係が大変そうに思えます。そこでつまずいた時にも、きちんと通えるにはいいというところを考慮して欲しいで
146	私は小、中学校と一学年一クラスしかない所で育ってきました。高校生になるまでこれが普通だと思っており、高校の一学年7クラスもあることに動揺しました。小、中学校は皆顔見知り、友達状態だったので高校の卒業するまで話したことがない子をアルバムで見つけた時は何となく悲しかったです。ほどよい数の中での生活が1番かと思います。なので1学年3、4クラス程がいいのかなと思います。体育祭など盛り上がる方がいいですね…。私の小学校はもはや、幼稚園児も一緒に運動会してました…。今、3ヶ月になる子を育ててますが自分の母校に通わせたいかと聞かれたらイヤだと言います…。同じ思いはしてほしくないんです…。(人数少なくてバカにされたことがあります)
147	朝の登校の際の自転車通学の子が狭い道路にも関わらず並列で走っていたり、左右にいたり、止まらず突然道路を横断したり、大変危険な場面も多く見かけ、出くわします。学校で指導して頂きたいです。
148	年々、児童・生徒が少なくなってきた、将来学校の統合、廃校を考えなくてはいけない事は現実的になってきて、地域にとっては寂しいことですが、子供たちにとっては小規模より大規模で学べることはとても多いと思います。実際、芳賀町でも小学校は9校から3校になりました。小規模ならではのメリットもありますが、高校、大学と進学したときに大規模で学んだ力が発揮されると思います。
149	保育園に通う娘がいますが、娘が小学校や中学校に上がった時に、良き友達に出会い、お互いに意識しながら成長出来る環境があることを望みます。そして、色んな友達から色んな刺激を受けて育てほしいと望みます。そのための適正な規模がどれくらいかはわかりませんが、ある程度の規模は必要かと思います。ただ、配置についてですが、うちは共働きのので、小学校への送り迎えは出来ません。なので、やはり歩いて行ける距離にあってくれると助かります。歩くことで、体力がついてくれることも、歩いて行ける距離にある利点かと思います。
150	・教育にお金を使わなければ、地域の未来どころか、国の未来もないと思います。 ・子供同志が認め合うことの出来る学級数、学級人数はある程度必要と思います。「～ちゃんはかけ足が速いんだよ！大会で優勝したんだよ！」とか。本者であれば子供達はその才能のすばらしさをきっと先生に話すものと思います。子供とは、そういう者だと思えます。本者を見抜く力は、子供同志の方があるかもしれません。その位の人数は必要かもしれません。
151	学校の統廃合の場合、通学方法・安全性等検討する必要あり
152	子供達の創造力やコミュニケーション能力の育成に寄与する為、阻害要因を排除した進行が必要。地域住民の意向も無視は出来ない。協同で進める事が重要。
153	クラス数が少ないと友人と深い関係性になれると思いますが、多様性は失われ、いじめがあった場合の逃げ道がなくなるマイナスイメージの方が強いです。(私自身、西小3クラス、阿中7クラスの中で育ってきたので、勝手にそう思っているだけかもしれませんが)その代わり町の習い事の種類を増やすなど、学校以外の友人を作る場があれば、また違うと思います。
154	これからは必然的に児童・生徒数が減少してくるが学校の統廃合とかは考えず、各学校がもっと交流出来る環境(スポーツ、学習等)をたくさん作って頂きたい。
155	この先、子供の人数がふえることはあまり考えられないので、小学校をへらして1学年の人数をふやすのもアリだと思う。
156	「学校の適正な規模や配置の検討に関して」これに関してではないかもしれませんが、児童生徒数の減少を止めたいなら、町に定住してくれる人を増やすべき。となりのさくら市は子供の数が増えている。住みやすいからだと思う。高根沢町は、土地の価格が高い。チェーン店等の商業施設がなさすぎる。この辺を変えていかなければ、若い人は高根沢町に住もうとはなかなか思えないのでは？そうすると出生数も減る一方。
157	子供の数が少なくなる予測のもと、学校の規模等を考えることに重点を置くのではなく、高根沢町として住みやすい環境や利点を増やしていくことで”子供の数を増やす”努力をして欲しい。
158	登下校の安全を確保するために、スクールバスを通してもらえたら安心だと思います。適正な規模という点では、4つの小学校を1つにするという事もいいのかとも思います。
159	子供の事を第一に考え、大人や防災といった観点でごまかさないう様、ご検討下さい。

160	学校と家庭(親)のコミュニケーションが大切です。子どもの教育は家庭での教育が大切、重要と考えます。教員ばかりの教育となっているように思います。先ずは親です。そう理解してもらうには学校と家庭(親)のコミュニケーションです。
161	学校関係者・検討委員会の皆様におかれまして日頃より御尽力を頂き感謝申し上げます。私個人としての意見としましては、学校教育においては机の上、教室の中での勉強だけが教育ではないと思います。自然の中での感性を育てたり体験・経験の中で覚えたり、地域とのふれ合いの中で見て、聞いて考えたりすることも教育ではないかと考えます。町の事情などいろいろあると思いますが、少子化になっても現在における学校位置にあってほしい。それぞれ地域によって特徴があります。統廃合はあまり考えないでほしいと願います。
162	当町の人口減や年代別・男女別の年齢構成及び現町長が最初に立候補の時の公約人口4万人は実現可能なのか聞きたい
163	この少子高齢化の時代及び若者の流失の時に一クラスの人数や学級数を問うのはおかしいのではないか。たとえ希望はあっても実現出来ないのではないか。当町を見ても光陽台や宝積寺方面ではある程度実現出来ようだが、その他は無理ではないか。自分が子供の頃ほどこの家にも子供がいたが、今はそう言う家は少なく、子供の姿は余り見ない。居るのは高令者が殆んどである。この状況では統合も仕方ないと思うが、可愛想なのは子供達(少いが)で通学距離が遠くなり父兄の負担も多くなる。
164	・中学校は2校の学区の見直し ・小学校は上高は現状のまま。東小、北小、中央小の合併
165	市街化調整区域が多すぎる。家を建てられない。商業地もないと人が集まらない。
166	少子化の流れが進むので、広い範囲の子どもが通いやすいシステムをとり入れて欲しい。学校と地域の結びつきが強くなるよう、保護者だけでなく地域の人達が学校行事に参加できるようにして欲しい。
167	小規模であっても、地域には必要な場所であると思います。子供からお年寄りまで、みんなが集まれる場、地域を活性化する為にも必要だと思います。
168	校舎の古い学校は建て替えても、生徒数が減るなら別の利用方法を考えた方が良い。生徒は小学校の合併も仕方ないと思う。
169	若い人が高根沢に住みやすい・子育てしやすいように、住居を建てる土地を増やして高根沢に移動しやすいようにして下さい。でないと今後、若い人はどんどん高根沢から出ていってしまい子どもの少ない(いない)町になっていくと思います。高根沢の田舎の方は独身の人が多いので、その辺も関係していると思います。
170	子どもたちが楽しく学び、交流できる場をまず考えて頂きたい。さらに、学校が地域と子どもたちのつながりを重視して頂きたい。
171	本当なら A 小学校の方が近いのに地区名(学区)で縛られて B 小学校に通学しなければならないと言ったお子さんもいると聞いたことがあります。どちらの小学校も通学可能と言う場合があるのであれば選択を与えて通学場所を決めてもらっても良いのではないかと思います。
172	学校の規模に関らず、教職員の十分な人員数の配置も考慮していただけるとよいと思います。
173	子ども達の将来の可能性を最大限引き出す、快適に学べる環境、というような視点で検討していただければ問題ないと思います。
174	現在、中学校は2つありますが、町の中央部に1校にすれば良いのではないかと？また小学校の少人数校は、統合すべきだと思う。
175	・時代の流れ ・財政負担 ・先生の質 職業意識にてカバー出来る
176	子どもの人数が減って来るのはしかたのないことなので、今ある学校を無理して維持せず、統廃合していくことも必要だとは思いますが、町内のどの地域に生活していても、通学の際に親への負担(送迎)がなく、スクールバスでどこからも通えるなどの配慮も必要だと思う。
177	各学校の違いがありすぎる。それによって子どもの学力差や学校生活に支障ができています。「地域のつながり」を重視するあまり子どもにしわ寄せが起きていると思う。さくら市のように中学1校にし、更に小学校を全てまとめ、多人数で子どもたちが切磋琢磨できるようにしたほうが良いと思う。
178	子供の減少にあたって、閉校に追いこまれる地いき、学校もあり、いろいろとむづかしい問題があるかと思いますが、いづれにしても子供達が学びやすい環境を整えてほしいと願います。

179	子供だけでなく、先生方の働きやすさの視点も入れて検討して欲しい。子供が減って学校の統廃合や学級数を減らす事が出て来るかもしれないが、今の「先生対生徒」の比率のまま、先生の数を設定するのはやめて欲しい。授業の準備や部活等、先生方は残業しながら多くの業務に対応していると思う。先生方の負担を減らす事も考えて欲しい。教師という仕事を働きやすい、魅力あるものにしないと、将来のなり手も減ってしまうと思う。
180	市街化調整区域を緩和し、宅地を増やす。
181	1学級の人数を2人ペアを組ませて1人余りもしくは2回やる人が居ない数で、バドミントンなどのダブルスで2回やるペアが居ない数が望ましい。28人居れば14組ペアが出来て、7対7で回すことが出来る。少なくとも児童が少なくなった学校どうして合併し、学校から遠くなる子は町で送迎バスを出すなどをしてほしいと思います。距離によっては自転車通学。私の地元秋田県美郷町はそうでした。
182	東小学校の様に中学校と小学校を一緒に敷地にした事は良い事だと思うが、小規模な為、1学年2クラスになる位の人数確保があるともっと良いと思います。他の市や町のように、団地みたいな所が新たにできると、もっと人口も増えるのではないかと思いますので、対策を考えていただきたいと幸いです。
183	小学校の規模は小さくて良い。→目が行き届くメリット。中学校=自我の目覚めの時、多感な時期、人を豊かにする大切な時間、規模は出来るだけ大きく。
184	子どもたちが学校に行きたい、学校で学びたいと思える環境作りが大切かと思えます。また、安全第一は最優先かと思えます。
185	卒業生や地域の方の思いも(特に統廃合を予定している学校区など)丁寧に聴いてほしいです
186	問7について。1学年の学級数を標準数にこだわらず、学年が上がるにつれ学習内容が難しくなり、又、人間関係が深まって、悩んでくる学年なので、一人一人に目が届く、1学級あたりの人数の少ない4学級にしても良いのでは。
187	将来的には阿久津小・西小以外の小学校の合併は不可避のように思えますので、どのような方針を取るか、提示していただきたい(パターン等)。複式学級が生じてしまうのはできれば避けたい。何かあったときにクラス替えができるような規模に小→中で別の学校に分かれるというのはあまりない(中央小)。あまりこのパターンにならないように。
188	子どもが「生きる力」を培うことが出来る学校教育を将来にわたり保障する観点から学校の適正配置について検討してほしい。
189	小規模校は経費が割高で非効率だから学校統廃合するという理由だけで、そうする事は反対です。通学距離が遠くなり、バスでしか通えないのでは、家に帰った後遊ぶ友達がいない。校庭は遊び場としての意味を成さない。地域社会とのつながりがなくなる。小規模だから切磋琢磨できないという事はない。教員の指導・考え方しだいであろう。居住地から小・中学校を遠い所になると、農村地はもっと子育てし難くなり過疎化が進む。若い人たちは出て行ってしまふ。部活が小規模校では限界があるというなら、放課後、町単位で活動できるようバスを町で運営し、複数校で募って活動できるよう考えれば良い。小規模だからこそその特色ある学校・できる事があると思う。



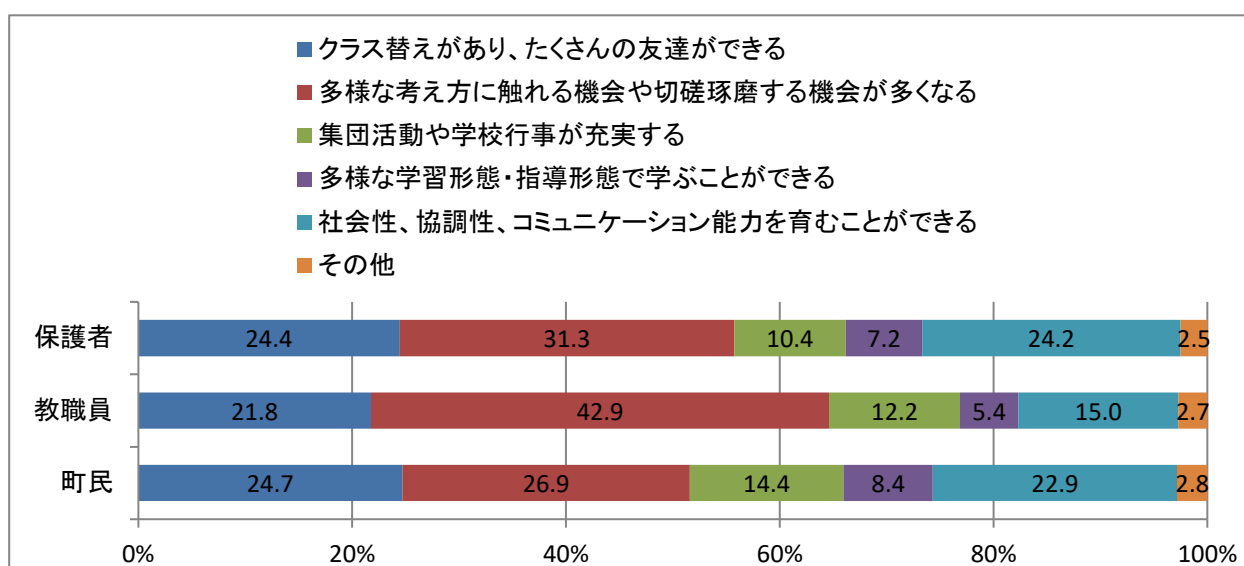


## 5 共通設問の比較

### (1) 比較内容

「保護者向けアンケート」、「教職員向けアンケート」、「町民向けアンケート」の共通設問について、3者の比較を行い、回答傾向の違いの大きいものを掲載しています。

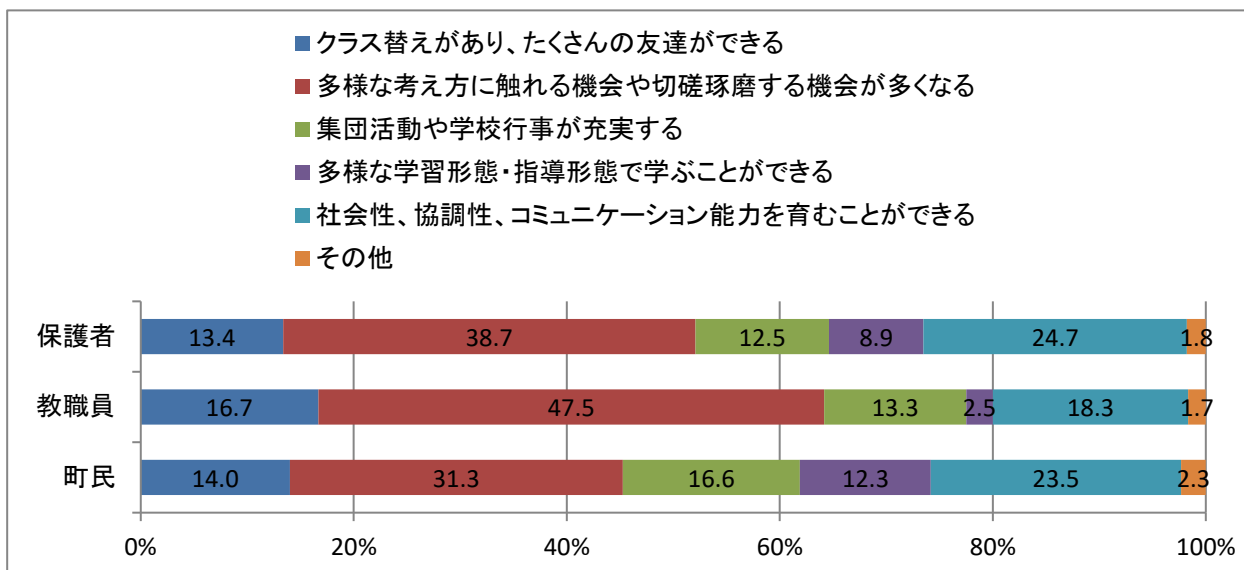
■問：(小学校の望ましい学級数について) 1学年あたり「2～3学級」または「4学級以上」と回答した方は、そう思う一番大きな理由をお答えください。(1つに〇)



●小学校の望ましい学級数について、1学年あたり「2～3学級」または「4学級以上」と回答した一番大きな理由については、【多様な考え方に触れる機会や切磋琢磨する機会が多くなる】と回答した割合が最も高く、2番目が【クラス替えがあり、たくさんの友達ができる】となっているのは、3者共通の結果となっています。

また、【多様な考え方に触れる機会や切磋琢磨する機会が多くなる】と回答した割合は、教職員は保護者・町民よりも高く、教職員がより強く感じている結果となっています。

■問：(中学校の望ましい学級数について) 1学年あたり「4～6学級」または「7学級以上」と回答した方は、そう思う一番大きな理由をお答えください。(1つに〇)



●中学校の望ましい学級数について1学年あたり「4～6学級」または「7学級以上」と回答した一番大きな理由については、【多様な考え方に触れる機会や切磋琢磨する機会が多くなる】と回答した割合が最も高く、2番目が【社会性、協調性、コミュニケーション能力を育むことができる】となっているのは、三者共通の結果となっています。

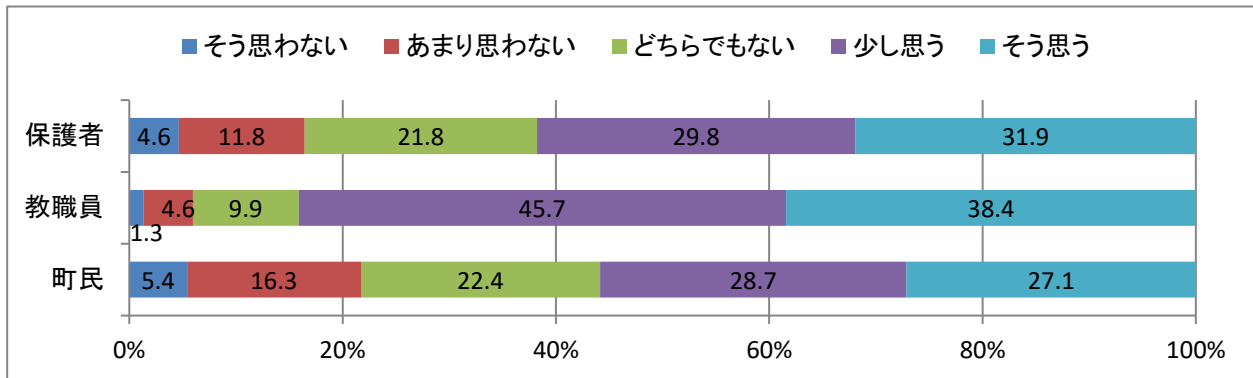
なお、前頁のとおり、「小学校の望ましい学級数について、1学年あたり「2～3学級」または「4学級以上」と回答した理由」の2番目に多い回答が、【クラス替えがあり、たくさんの友達ができる】となっており、小学校と中学校では異なる結果となりました。

また、【多様な考え方に触れる機会や切磋琢磨する機会が多くなる】と回答した割合は、教職員は保護者・町民よりも高く、教職員がより強く感じている結果となっています。

■問：1 学年あたりの学級数が少ない、または 1 学級あたりの人数の少ない小規模な学校のメリット・デメリットについて、あなたのお考えをお聞かせください。

【小規模な学校のメリット】

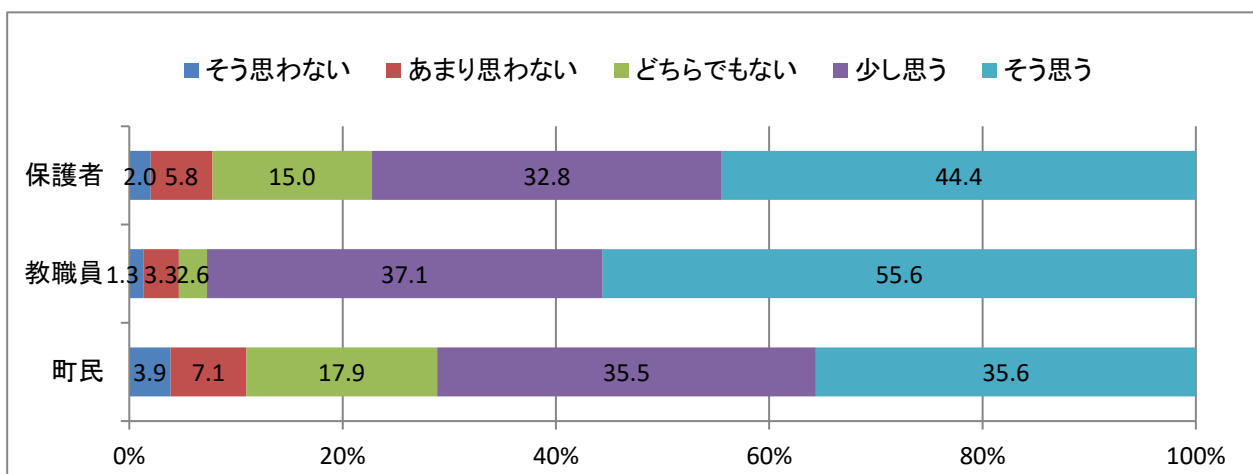
(2) 学校行事や部活動等で子どもたちに活動機会・活躍の場が多くなりやすい



●上記の項目については、「1 学年あたりの学級数が少ない、または 1 学級あたりの人数の少ない小規模な学校のメリット」として【そう思う】・【少し思う】と回答した割合が、教職員は保護者・町民よりも高く、教職員がより強く感じている結果となっています。

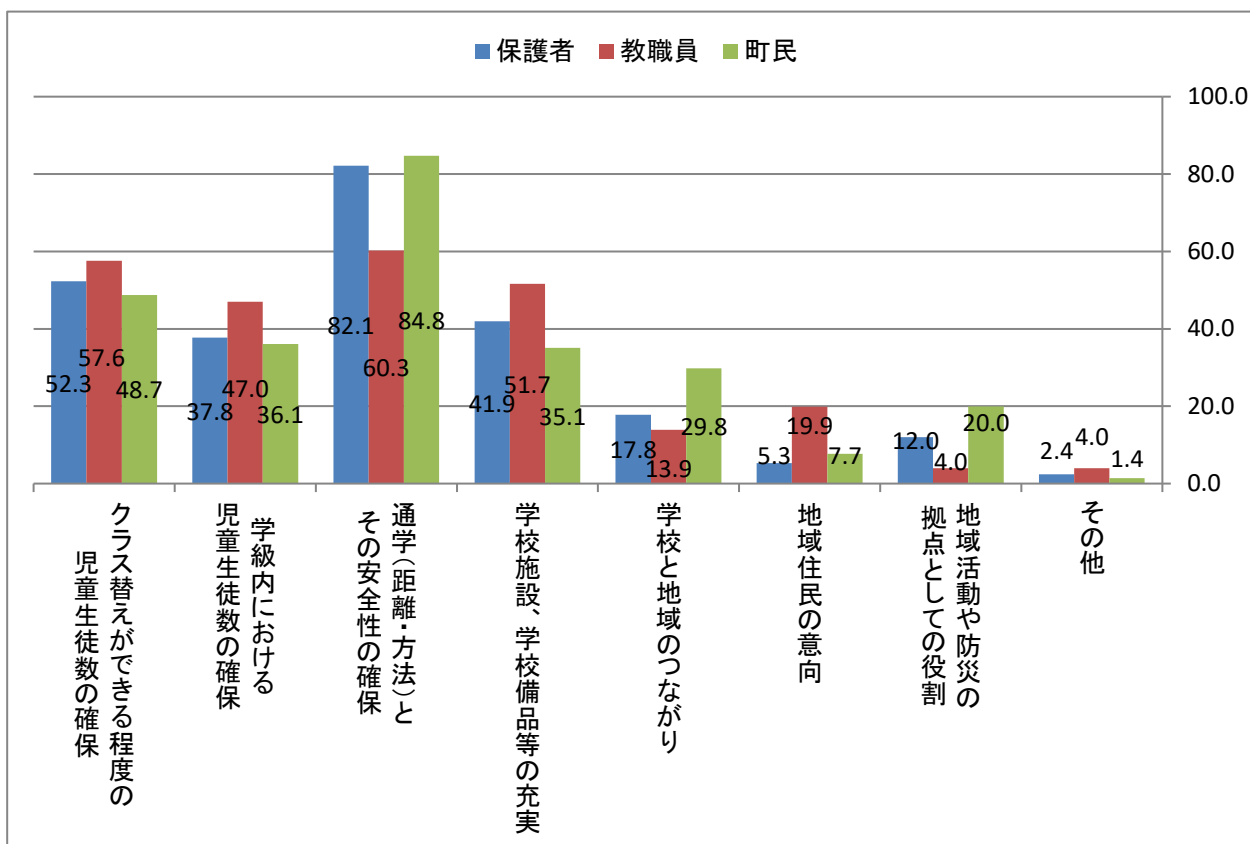
【小規模な学校のデメリット】

(5) 子どもたちの人間関係や相互の評価が固定しやすい



●上記の項目については、「1 学年あたりの学級数が少ない、または 1 学級あたりの人数の少ない小規模な学校のデメリット」として【そう思う】・【少し思う】と回答した割合が、教職員は保護者・町民よりも高く、教職員がより強く感じている結果となっています。

■問：学校の適正な規模や配置を検討するにあたり、特に配慮すべきことは何ですか？  
（3つ以内に○）

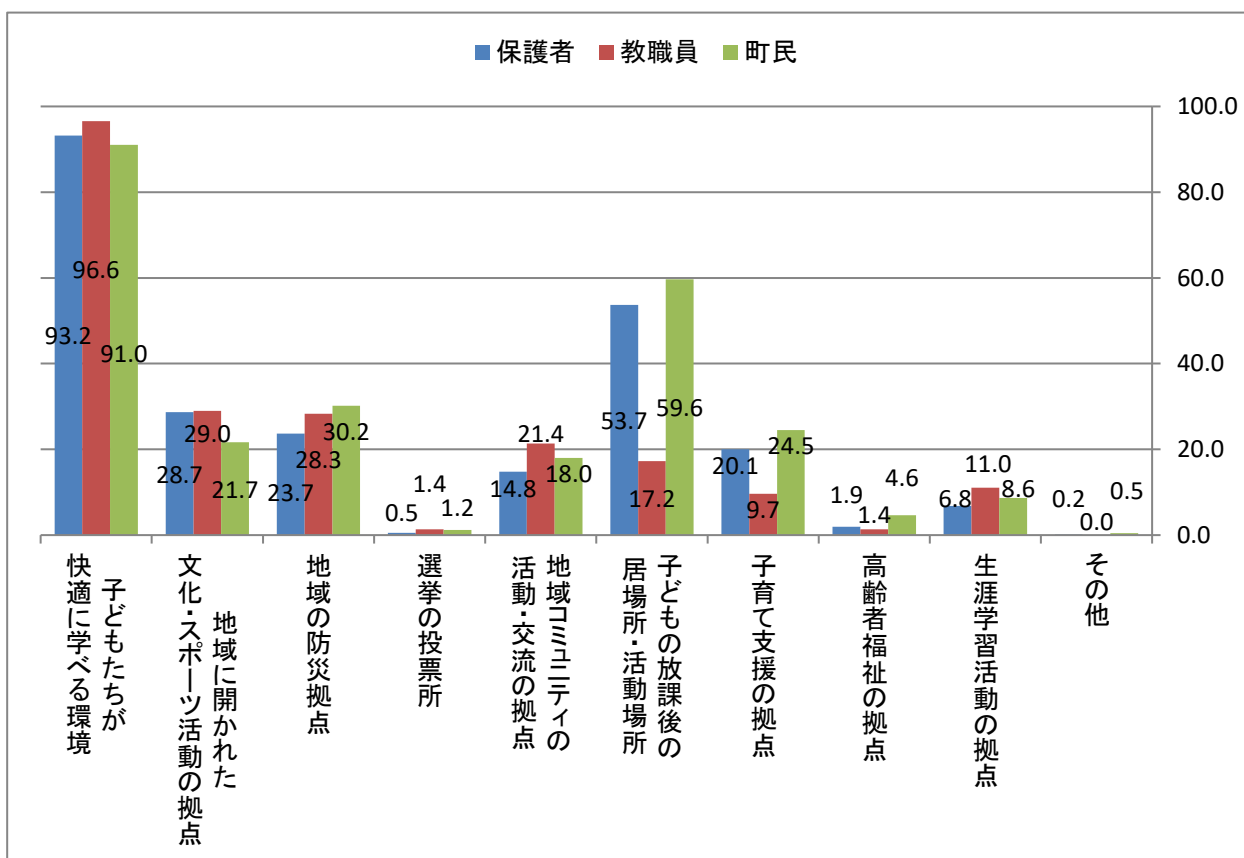


●適正規模・配置を検討するにあたり、特に配慮すべきことについては、「通学（距離・方法）とその安全性の確保」と回答した割合が、3者共に最も高くなっています。

回答項目のうち、教職員が、保護者・町民よりも回答した割合が高くなっている項目は、「クラス替えができる程度の児童生徒数の確保」、「学級内における児童生徒数の確保」、「学校施設、学校備品等の充実」、「地域住民の意向」となっています。

逆に、教職員が、保護者・町民よりも回答した割合が低くなっている項目は、「通学（距離・方法）とその安全性の確保」、「学校と地域とのつながり」、「地域活動や防災拠点としての役割」となっています。

■問：今後、地域において学校に期待される役割や機能のうち、特に重要なものは何ですか？（3つ以内に○）



●今後、地域で学校に期待される役割・機能のうち、特に重要なものについては、「子どもたちが快適に学べる環境」と回答した割合が、3者共に最も高くなっています。

そのほか、教職員は、「子どもの放課後の居場所・活動場所」、「子育て支援の拠点」を重要であると回答した割合が、保護者・町民と比較して特に低くなっています。

## 6 集計結果まとめ

### (1) 望ましい1学級の人数

望ましい1学級の人数は、各アンケートにおいて【21～30人】を望む回答が7割前後と、最も多い結果となりました。

### (2) 望ましい学級数

望ましい学級数は、小学校で【2～3学級】を望む回答が9割前後、中学校で【4～6学級】を望む回答が8割前後と、極めて多い結果となりました。

また、小学校で【2～3学級】、中学校で【4～6学級】を望む理由は、どちらも【多様な考え方に触れる機会や切磋琢磨する機会が多くなる】が最も多く、そのような環境が求められている結果となりました。

### (3) 小規模な学校のメリット・デメリット

小規模な学校のメリットとしては、特に【一人一人に目が届きやすく、きめ細やかな指導を受けやすい】で100%に近くなっており、共通した認識となっています。

小規模な学校のデメリットとしては、【子どもたちの人間関係や相互の評価が固定しやすい】、【部活動等の種類が限定される】、【多様な考え方に触れる機会や切磋琢磨する機会が少なくなりやすい】の3つのデメリットが、最も強く感じられている結果となりました。

### (4) 学校規模適正化の検討で特に配慮すべき事項

検討に当たって特に配慮すべき事項は、各アンケート共に【通学（距離・方法）とその安全性の確保】が最も多く、2番目が【クラス替えができる程度の児童生徒数の確保】という結果となりました。

### (5) 今後地域において学校に期待される役割・機能

今後地域において学校に期待される役割・機能については、【子どもたちが快適に学べる環境】の回答が9割を超えて最も多い結果となりました。

また、教職員を除く保護者・町民の回答では、【子どもの放課後の居場所・活動場所】としての役割・機能を期待する回答が2番目に多くなっています。